

卒業生が語る

合格への  
軌跡 2016年

WAY TO SUCCESS

順天堂大医学部 2次合格  
 昭和大医学部 2次正規格(1期)  
 日本医科大 2次合格  
 杏林大医学部 2次正規格  
 愛知医科大 2次正規格

苦手分野は、前期のテキストを  
何周もやり基礎固めをしました。

順天堂大医学部進学 大谷真佑奈さん(東洋英和女学院卒)

## 将来どんな医師になりたいですか？

今技術が凄い進歩しててデータだけ見て診察もできるし、データに頼りがちなんですけど、そういうのだけじゃなくて患者さん一人ひとりとコミュニケーションをとることによって安心してもらえる医師になりたいです。

## 大学生活はどうですか？

順天は帰国子女が多いかも。英語の授業がめちゃくちゃ多い。英語でディスカッションしたりしますし、教科書も英語です。クラスはA～Eまである。私はAクラスです。順天は1年生だけ寮なんですけど、凄い田舎で周り何もなくて駅まで徒歩20分かかります。だから皆で自転車買って色んなところに行ったりします。全然フィールドの違うスポ研の人たちとの寮生活楽しいです。男子寮、女子寮で分かれてて16人一部屋で毎日ワイワイ過ごしてます。私の部屋が一番仲良しですよ。

## 代官山 MEDICAL のよかったところは？

代官山 MEDICAL の先生たちめっちゃ好きだった！私はマンツーマン結構とってました。イチオシは池永先生。私は課されたものはちゃんとやる人だったから、先生から凄い量のプリントもらってました。夏は140問くらい一気に解いたかも。精神的に辛いときも相談にのってもらってました。DSに見えて凄い優しい(笑)。

物理は本当に嫌いだった。現役生の時のマンスリーテストなんて17点取ってたし、何点満点のテストだよって。ずっと苦手だったけど寺澤先生に『名問の森』をやれって言われて、参考書を頭からやるんじゃなくて力学・熱・波動を均等に解いてました。苦手は苦手だったけど選抜クラスの人に囲まれて寺澤先生も全体的には出来る方だよって言ってくれたし。基礎はできるようになってました。難しい問題は解けないけど日医、昭和あたりは解けるようになりました。直前の寺澤先生のマンツーマンが凄よかった。これ出たら終わりだなっていう所を徹底的にやってもらって、そしたら順天の入試で出た。感動(笑)。

物理は年間通してマンツーマンとってました。平パン(平野先生)のマンツーマンでもやった所が入試で出ました。数学はこんな解法あったんだ！って発見もあって良かった。平パンと薄先生は数学を嫌いにさせない授業っていうイメージ。モチベーションも上げてくれる。数学が一番伸びました。現役生の時は模試も全部E判定だったけど浪人して最後の模試の結果が良くて嬉しかった。結構その結果の通りになったし。

石井先生の授業は特別。今当てないでっていう時に当てられます(笑)。授業は前の方に座ったほうが良いと思う。昨年の座談会で石井先生が合格者は前から3列目までに座ってるって言ってたから、その通

りにしてました。他の予備校って学院長とは接点ないし、関わりないと思うけど、授業あるから引き締まるし相談もすぐできる存在でした。

## 校内テストについて

ウィークリーテストは英文丸暗記するくらいやってました。毎日電車の中で暗記をすることを徹底してました。マンスリーテストは自分がどれくらいの所にいるか分かるし、一番取ったら嬉しいし、毎月、毎月あって良かったと思います。高3のときから代官山に通ってるけど、当時は一度もランキングに載ったことなく、最終回だけ端にちよろっと載ったくらい。浪人生になって最初に載った時はビックリした。めちゃくちゃ嬉しくてそれで勉強してた。数学でよく出た小問は、自分が最初スタンダードテキストからスタートしたから鍛えられて途中から安定していきました。

## 代官山 MEDICAL での勉強方法はどんな感じでしたか？

日曜日の活用。日曜日に一気に復習してましたね。1学期はスタンダードテキストだったけど3～4周はした。夏期のハイテキストも2周。入試の直前にまた1周したりして、かなり使ってました。現役生の時は友達作らずにいたけど、浪人生になって1年間ここにずっといるから精神的な支えとして皆がいるのは心強かった。情報交換もできるし。

私は夏までは代官山 MEDICAL が21時半に終わってその後家では何も勉強せずテレビ見たり息抜きしてたんですけど、9月からは外部をシャットアウトして帰宅してもセミナーを何周かやってみたり。自





分の中でこのままじゃまずいなって思って。自分が浪人してみるとただ勉強してるだけじゃ上がらないなって思ったし、もう一年あるかもってよぎって。周りも凄い勉強してたし切り替えてやってみました。私は留学してた事もあって遊ぶことが大好きだったから、石岡くん(石岡直留・順天堂大学医学部進学)みたいに籠って365日勉強するのは無理だなって分かってたから、息抜きしつつきちんと切り替えてマイペースで勉強していました。



|           |        |
|-----------|--------|
| 日本大医学部    | 2次正規合格 |
| 杏林大医学部    | 2次合格   |
| 岩手医科大     | 2次合格   |
| 聖マリアンナ医科大 | 2次合格   |

自分の時間を大切に！  
をモットーに勉強は  
できるだけ一人でやりました。

日本大医学部進学 吉田仁美さん(磐城高校卒)





## 2年間通ってみてどうだった？

一浪目の時はやる気満々でしたけど、それまで勉強全然やってなかったから、こんなにするんだあって思ってたほんとカルチャーショックでした。二浪目になってからはやっと慣れたというか、自分に合ってるやり方が見つかったから、気持ちを楽にして、先生との距離感とかも大事にしてやれました。最後、緒方先生とかめっちゃ心配してくれてた。でも、普段はよく怒られました。小林さん(日本大医学部進学)とかは褒められてたんですけど、私は怒られて伸びるタイプって。先生ってよく見抜いてますよね。友達との距離感も大事。普段は別々にやってて、たまにモチベーション高めるために話して、なんか、テスト前の友達っていうか、テスト友達ですね。一番いい友達関係ですよ。高め合っていました。成績も同じくらいで意識し合える感じ。ランキングも自分のを見た後に必ずその人のを探してみましたし。

## 一年目と二年目で意識は変わった？

変わった、変わった。A1だったから、受かるかなあって。一年目は、A7で。2号館に行けて。上の人いっぱいいるし、これくらい出来なくてもいいのかなあみたいな感じの一年目とちがって、二年目は「いや、出来なきゃダメだ！」みたいな。知識とかめっちゃ詰めて詰めて。

## 緒方先生ってノートまとめてやって、って話してたよね？

それは人に合わせてやってたかな。小林さんとかはやらなくていいって言われてて。すぐ飽きちゃうからなのかな？でも、仁美はやれって言われて。やってみましたね。それ、今でも使ってますよ。テスト前

とか、一般教養とか。資料集のめっちゃ隅までメモってたから、それ開いて「あ〜」みたいな。

## ランキングを見る目も変わった？

変わったかも。ガチになりましたね。一浪のときは、ここでいって思ったけど、ここじゃなきゃダメだ！みたいな。特に二浪目の時は変動激しかったから。上の面子が固まってなかったから、食い込めるし、食い込めないしみたいな。でも、入ってなかったら「うわあ〜」みたいな感じ。こんなもんかなっていうのじゃなくて、こうじゃなきゃダメだ！みたいな。理想がちゃんとしっかりしてた。

## 慣れるのは大変だった？

一年目は、まず、そもそもの自分の知識がなくて。だから、復習を他の人よりやんなきゃいけないのに、終わらなくて。結局、終わってないのが溜まっていて、ダメだったってのがあったんですけど。二浪目、春に結構やったんですよ。2月3月チョーやってて、そこで結構穴が埋まってきて。それを土台にして、二浪目入ったから、復習もスツていくところが多くなって、回るようになってきて。生物とかも、基本知識以外にも見る余裕出来て、それがけっこう自信になったかも。二年目、初回のマンスリーめっちゃ良かったです。

## 一浪から二浪目へ向けて、立ち止まらずにやれた？

一浪の最後は、伸び途中で、知識も溜まってる実感がでてきたんだけど、でも伸びきる前に受験だったから落ちたんだと思った。だから、一浪終わったとき今やれば逆に差をつけられるぞ！って思って。吉田匠(日本医科大進学)とかも二浪するってなって。いや、匠に追いつかないとヤバいって思って。それでやれた、やった。あと、五十嵐先生にプリントもらいに行って、同じプリントを2枚以上もらって、やって。話もして。そうやってモチベーション保っていました。乗り越えました。長岡鈴佳さん(東京慈恵医科大進学)なんかも声かけてくれたし、他にも、チューターの人たちも声かけてくれて。そういうのが凄く大きかった。

## ランキングの変動があって、復習とか割り切り方ってどうやってた？

スランプがあっても、自分に波があるの分かってたし、その波が上の時に受験できるようになってことしか考えてなかったですね。落ち込んだら落ち込んだで仕方ないって。いつか上がるべ！みたいな。自分を認めてあげるっていうか。自分がどういうタイプかっていうのも。まとめる派かとか、まとめられたものを見る派かとか。まとめられたものに書き足していく派とか。あとは、朝型とか。朝めっちゃ早く

来てた。6時半とか。二号館で一番早く来てたのは、小川さん(藤田保健衛生大医学部進学)と石黒さん(東邦大医学部進学)。石黒さんは早いし、ずっと続けた。そういうの見て、やべって。この人は受かるんだろうなあって。実際受かって、努力は報われるんだなって思った。

## 先生達の言葉で心に残ってる言葉ってある？

石井先生が“水は低きに流れる”って。友達選んでました。二浪目はマジで選んでた。友達があんまりやる気ないと「ちょっとねえ…」って引いてたし。お昼とかもみんなとずらしたりしてた。周りからは突っ張ってる風に見えてたみたい。よく言えば自分があるっていうか。気分屋だっただけかもだけど。二浪目は丸くなった気が自分ではします。成長過程にいるわけだから、その辺を気づいてどう立て直していくかってのは大切だし必要。浪人して良かった。現役で大学行ったらヤバかったかも。まだ尖ってたかも。ここ来た最初は心配されてたみたいですけど。周りに合わせちゃってるっていうか。「行こう」って言われると、「あ、行く〜。」みたいな。二浪目は、ちゃんと自分のルールっていうか、自分の考えに則ってやれてたかなって。心配になってくると先生たちのところに行つて話をして涙流してストレスも流し…みたいな(笑)。そういう、自分をきちんと立て直すためのやり方っていうのを、二年かけてちゃんと出来るようになったのかなって。二浪して良かった。代官山 MEDICAL で良かった。代官山 MEDICAL 好き！大学でも、周り友達いるのに、身内ネタ始まっちゃうし。テスト終わって、「代官山行くかあ！」って急になったり(笑)。



## マンスリーテストって、自分を勉強の方に向かせるのにどうだった？

大森先生とか、めっちゃ構ってくれるんですよ。仁美どうした？って声かけてくれて。良かった時は会うたびに「良かったな」「頑張ったな」って言ってくれて。記述も見てくれて、「良くなった」って声かけてくれて。だから頑張れました。全員の記述見て、なおしてくれるんですよ。凄いですよね。先生達も頑張ってるんだなって。夏とか凄いスケジュールだし。マンツーマンとかいっぱいだし。朝岡先生とか質問する人多いし、栗原先生も。栗原先生の長文はホント分かりやすかった。ただ読んでもうだけじゃ意識できないようなことを明確にまとめてくれて。説明文だったらコレとコレとコレから考える、ココをチェックする、みたいな。そういうのを明確にやってくれてから。しかも、そういうのが出来てるかどうかチェックもしてくれて。休み時間にすれ違ったときとかに「逆接のあれって何？」みたいな。栗原先生は語彙マスターだから、単語とかも聞きに行ってた。行くと、クイズみたいにしてくれて。それを、暗記ノートみたいな私作ってて、それに書いて、寝る前に見て覚えた。

## どんな医者になりたい？

地元に戻ろうかなと思ってて。戻った時にいろいろ出来た方がいいから、総合診療やれたらいいなって思ってます。



卒業生が語る

合格への  
軌跡 2016年

WAY TO SUCCESS

聖マリアンナ医科大 2次合格  
金沢医科大 2次正規格

分かるまで説明して下さるので  
先生方を信頼し、  
勉強方法の相談や質問が  
気軽に出来ました。

聖マリアンナ医科大進学 国生華奈さん(日比谷高校卒)

### 聖マリの今年の代官山 MEDICAL 同期の人とは話す？

小野ちゃん、葵ちゃん、高良くん、山本くんがいますね。高良くんは出席番号が前後なので、実習の時とかよく一緒になってよく話しますね。授業はほとんど全員でやってます。英語だけ分かれているんですけど、それも出席番号順です。成績順とかではないです。

### 代官山 MEDICAL に来たのは？

2浪目の時です。1浪目の時は河合塾に行っていました。代官山 MEDICAL はお父さんが調べて見つけてくれました。私は2浪目も河合塾に行く気だったんですけど、河合塾じゃダメなんじゃないかって言って急いで探してくれました。お父さんの仕事の都合で探すのが遅れてしまって、ホントにギリギリで入ったんです。4月のはじめぐらいでしたね。

### 入った時の成績はどんな感じだった？

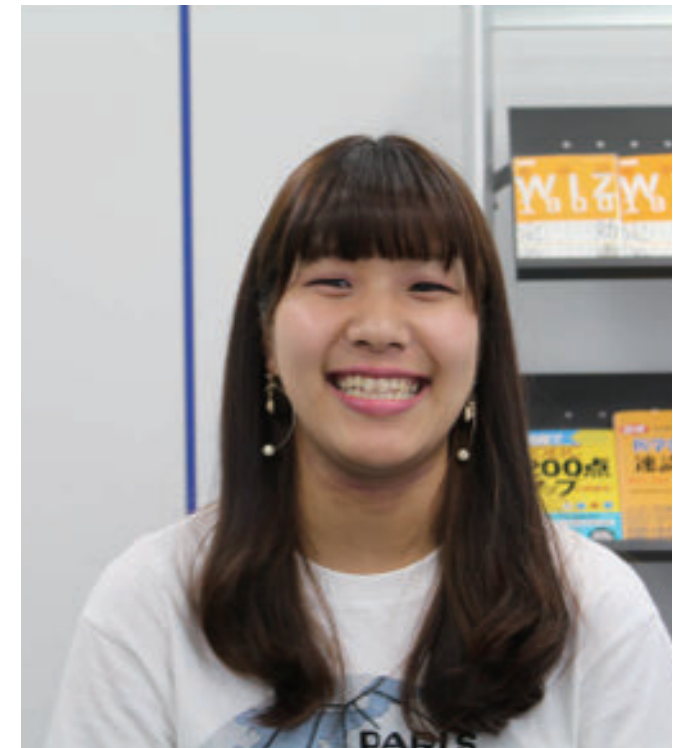
英語が凄く出来て、生物がまあまあ出来て、化学が普通よりちょっと下ぐらいで、数学がヤバイ！って感じでした。現役の時とか1浪目の時とかは…あんまり勉強していませんでした。なめてました、って感じですね。ここだと1日中拘束されるけれど、河合塾だと4時に授業が終わったらあとはフリーなんです。だから即座に家に帰ってパソコンしてました。ダメでしたね。今考えるとホントありえない。落ちたにしても、どこで落ちたのかを分かっていなかったんです。もう一歩のところまで落ちたのかなって思ってた2浪したら行けるでしょ、って思っていました。あのままだったら2浪しても…何浪しても行けなかったですね。

### 1浪目の受験と2浪目の受験で違った所は？

私は2浪でダメなら他学部に行こうと思っていたので、だから今年1年は集中しようって思って、友達づきあいとかもあまりせずに孤独に頑張ろうって思っていました。私は友達作っちゃうと楽しんじゃってできなくなる人なので、だから、あえてここでは作らないってしていましたね。

### 代官山 MEDICAL で朝から夜まで授業なのは最初どう思った？

代官山 MEDICAL を選んだ理由の一つに、時間を拘束されるっていうのがあったんです。私は自分に甘いので、ガチガチに固められた方がいいなって。それを父に話して、じゃあここがいいんじゃないかって言ってくれて。それがここを選んだ大きな理由だったので、授業が詰まっているのはそこまできついとは思っていませんでした。ふり返ると、ありがたかったです。



### 代官山 MEDICAL で一番伸びた科目は？

数学です。マンスリーの点数最初はランキングにも載っていませんでした。最終的には載ったり載らなかったりになりましたね。載るときはランキングにギリギリ入ったみたいな位置にいました。河合の模試も変わりました。判定が全部Eだったのが、BとかCとかになっていきました。聖マとか。河合塾いたとき「Eでも勉強していれば最後に伸びるから大丈夫」って言われていて、お父さんにもそういう風に伝えていたんですけど、2浪目の(BとかCになった)結果を見せてお父さんに怒られました。「ほら！伸びたら変わるんだよ！こういう人が受かるんだ」ってなんか叫んでました。

### 数学はどの先生にお世話になりましたか？

五十嵐先生ですね。五十嵐先生が授業中に「ここら辺わかんなかったらプリント出すよ」って言ってくださったので、自信ないところは自分で貰いに行き、それで解いて答え合わせして…ってやってました。授業の内容をちゃんと聞いていれば理解できました。授業ノートを見ながらもう一回見直して、それを何も見ないで書けるか、っていうのをずっとやってました。先生に聞きに行く時間があったいなって思っていました。授業内でなるべく理解しよう、質問は作らないって感じです。予習と復習は復習メインでやってました。

### 数学以外の科目は？

英語は岩瀬先生のプリント。テーマごとに大事なことがまとめてあるのが束になったのがあるんですけど、それを持ち歩いてそれだけを見てました。文法とか書いてあるんです。表とか絵とかが入っていて。



気さくな先生なので、授業中でも質問しやすくて。前の予備校では全然文法とか単語とか気にしてなかったんです。感覚で解いてて。文法分かってたらこんなに簡単に解けるんだって思いました。

生物は緒方先生。緒方先生の後期の特訓授業、受けてたんです。朝にテストするやつ。0限で(笑)。それを取ってから緒方先生ととても話しやすくなって、いろいろと聞きに行っていました。緒方先生優しくて細かいから。プリントもいっぱい出してくれるし。化学は…私あまり化学出来なかったんで、平均より少しできるようになればいいかなって思っていました。授業を聞いて理解を深めて、あとはセミナーを解いて基本を完璧にしようとしていました。応用には手を出さないで。みんなが落とさないところを落とさないようにしよう、取れないところは捨てよう、って感じでした。

数学の復習に力を入れていたので、化学まで全然追いつかなくて、夏休みにまとめてやりました。苦手な所を優先して、セミナーで基礎問題だけを解いたり、テーマによっては応用問題も解いたりしました。大事なことは化学のハンドブックに書き込んで、受験会場まで持っていきました。受験会場に今まで使ってたテキストとか持っていくと、これだけ頑張ったんだから大丈夫って気持ちになります。

### 集中力続くほうでしたか？

朝早く私は来れなかったんです。9時ぐらいに来て、夜9時になったらそそくさと帰るって感じを秋ぐらいまで続けて、秋ぐらいからはさすがに頑張らないって思う時は早く来るようにして。あと2号館に移った時は、本館だと頭いい方に入っていたけれど、2号館では自分が下だからもっと勉強しなきゃって思って、6時45分ぐらいに来てました。2号館の人ってすごく頑張ったりするので、「こんな頭いい人が頑張ってるのに、私は何をやっているんだ」って思って。だから、ここにいる時間は休み時間もずっと自習室にこもったり、お昼ご飯も人と一緒に食べないようにしていました。

### 5月に合格者座談会あったと思うんだけど、何か思ったことはある？

先輩方が去年なんで合格しなかったかを明確にして、どう乗り越えるかっていうのをちゃんと決めることが大事みたいなことを言っていたんです。1浪目の時私は、数学の授業ノートをあまり復習していなかったんです。それがダメだったなって思ってたので、ここでは数学の復習絶対やるって決めてたんです。だから先輩がそう言っているのを聞いた時によし、自分間違っていない、このまま突き進もうって思ったのが印象的でした。数学の復習は5～6回は回していました。数学の教科書の問題の上の□に日付を書いて、解けたらをつけて、解けなかったらそのま

まで、次いつ解くかを□の下に欄に書いていました。ノートには出来なかったみたいなチェックは入れなかったのきれいなままでした。授業の復習も裏紙とかでやってたので、出来なかったところを確認したら捨ててました。量が増えてかさばると收拾がつかなくなってしまったので。

### 石井先生の授業は？

私、あんまり、当たるのが怖かったんで、いつも後ろの最後尾のところの、だけど端に行ったらダメだと思うから真ん中にいたんです。一応石井先生の視界には入ろうみたいな。で、他の子があてられたとき、自分があてられてる感じで聞かれたことの考えは頭で思い浮かべたりとかしててそれはまあ良かったんじゃないかなって思う。入試のエピソードや合格者の体験ストーリーみたいな話をしていただいて、印象に残っています。あと毎回先生が気持ちをこう、上げてくれるので、ああ勉強しなきゃ！みたいな気持ちにさせてくれるので、毎週あるじゃないですか、石井先生の授業って。すごいいい良かったです。モチベーションが、だいたい先生の授業で上がって、一週間毎でだんだん下がって行って、石井先生で上がる、みたいな。でもふり返ると、私はほんと優しく扱われてました。あんまり…こう、いじられることはあんまりなかったです。

### ここでの1年間で気持ちの波は？

夏休み前に、自分だけクラス上がらなかったのがすごいショックで、クラスが、確かマンスリーの直後ぐらいに発表されたんですけど、結構みんな残って勉強してたんですけど、私帰っちゃって。ずーんってなりながら。ちょっとショックで…みたいな。あとは…でも夏にけっこう成績上がって、秋から2号館移れて、2号館に行ってから結構勉強しなきゃって思ってモチベーションは高くて。

### 何故、夏クラス上がったと思う？

夏は、1学期の復習をホント徹底的にやったんですよ。何回もやって、それがほんと定着したんだ、っていうか脳にインプットされて、それが河合の模試ですごい出せて。すごいいい成績上がって、マンスリーも名前出るようになって、みたいな感じですかね。ほんと、結構夏勝負だっと思います。夏頑張らないと、夏以降のところで頑張れるところってあんまりないと思うんですよ。普通に授業もある中で頑張るって…内容も重くなるし。基礎はほんと夏までに仕上げるっていうか。仕上げるっていうかインプットするっていうのが大切です。

卒業生が語る

## 合格への軌跡 2016年

WAY TO SUCCESS

順天堂大医学部 2次合格  
 昭和大医学部 2次正規格(1期)・特待  
 日本医科大 2次合格  
 杏林大医学部 2次正規格  
 聖マリアンナ医科大 2次正規格

浪人すると覚悟した日から  
 今までの自分は  
 捨てる気でした。

順天堂大医学部進学 石岡直留君(昌平高校卒)



## 順天堂大学医学部医学科に 一浪で合格しました

親戚で慈恵出身の人がいて、予備校を決めるって時に「最近慈恵に来た子がどこの予備校行ってたか」を聞いたら、**代官山 MEDICAL** の名前が出てきて。少人数とか授業でガッチリ固めるってところが高校っぽかったんで、ここに決めました。

### 石井先生に相談、 数学のレベル変更がはまった！

現役の時は塾には通ってなかったけど、高校で演習を多くやっていたせいか、同期のなかでスタートは悪くなかったと思います。

**代官山 MEDICAL** に入ってから、数学が一番伸びました。授業では薄先生に一番お世話になって、個人的には啓寿先生にお世話になりました。薄先生はド基礎から教えてくれるから、土台をしっかり固めて、啓寿先生はそれを使った応用を出してきて。二人の先生に個人的に課題問題をもらいに行くと、薄先生は、これは落としたいけない！これは落としたいくない！って問題をくれるし、啓寿先生は思考的な問題をくれて。もとから先生にガツガツ質問行くタイプだったけど、ここは特に聞きに行きやすかったんで、最初から行ってましたね。数学はトップで始めたんですけど、ずっと8割くらい間違えてて、それでハイに落としてもらって。そしたら余裕ができて、啓寿先生の問題とかやり出して。それが上手くはまったってというか。レベル変えたのは正直言って賢明でしたね。

理科は高校から得意にしてたけど、穴も大きかったんで、伸ばさなきゃって思ってた。物理は4科目の中で特に得意だったんで、自分で基本的にはやってて。英語と数学がやばかったのもあって、理科はとにかく早めに完成させたくて、さきどり課題でもらった問題を2～3周くらいやり込んで授業に臨みました。でも、化学はあんまり暗記できてなくて、授業内でしっかり積んでいく感じで。物理は分野ごとに差があったんで、下の部分を上げていく感じでやってって。名問3周くらいして、寺澤先生とか小澤先生に質問に行ったり問題もらいに行ったりして。それで、東大とか東工大の問題とかをやったりしたら、だんだん繋がってきて、結局1番の武器になったのが物理でした。

夏までは成績が安定しなくて、何回か降格者リストに載ったんですよ。でも、数学は夏もトップで、このままいくとそのままトップなんじゃね？と思って、石井先生に相談しに行って、ハイに決めました。時間割もかぶってなくて、数学だけ下げるとかできて。マンツーマンは2学期から取るようにしました。英語が伸び悩んで、とにかく触れる機会を増やさなきゃと思って、阿里先生を取りました。英語は現在進行形で苦手です。最終的に順天受かったっていう意味



で、英語の先生で合ってたっていうか、お世話になったっていうのは丸山先生と朝岡先生。英作文がめっちゃ役立ちました。いやあ、たぶん僕、順天受かった人の中で英語は最下位ですよ(笑)。最近呼び出しくらいしましたもん。5月くらいに急に声かけられて。入試の点数悪すぎたから授業大丈夫かって。確かに、自己採点でもマーク部分は4割くらいで。で、英作とマークのところの差も激し過ぎて言われて。だから、たぶん、マークが凄く悪いのに、英作文だけめっちゃ出来てたってことですよ。順天受ける人は、基本的にはマークをさっと終わらせて、余せた時間で英作文をやるって感じだったんですけど、僕は英作文にきっちり15分とか時間とってからマークに行くって方式でやって。しかも、その時の問題が「5年前に戻ったら何がしたいか」みたいな問題だったんで書きやすくて。朝岡先生とか丸山先生に教えてもらった型をそのまま書いて。大学の人に先に英作やってからマークに行ったんですけどっていうと、そういうことかって。ま、入れたんだから大丈夫だよって。呼び出しといてそれかい！って思ったけど、英語やばかったんだなあって思って(笑)。僕は太谷(順天堂大医学部進学)みたいに自由に書けなかったから、とにかく型で。質問きたら、すぐ答え、理由とそのわけ、理由とそのわけって書いて。

石井先生の授業は、毎回指されるのをビビってました。いま！?って時に指されるんですよ。分かるから当たるならここがいいなあってところは指されなくて、だいたい「やばい分かんない…」ってところを指されるんですよ。分からなくても表情は変えてなかったんですけどね。授業中に面接の話とかいろいろしてくれてたんですけど、印象に残ってるのは、勉強の姿勢の話で。こういう人は落ちる、こういう人は

受かるっていう話で、自分に当てはまるかどうかって聞いてましたね。

一学期は、一番時間をかけたのは数学ですね。予習は1集ごとに一コマ絶対取ってて、復習もほぼ同じ数だけ取ってたんで。英語は、毎日7限終わってから9時半までがその日の復習で、その日やった内容はその日のうちにつて、毎日触れるようにやってて、暗記は通学の時間を使ってやってました。電車の中は英語が一番ですよ。数学は揺れて無理でしたね(笑)。

夏はレギュラーと、マンツーマンを少し取って、たしか、150コマくらいだったかな、自分の時間があって。現役の時は、自習とか復習しろって言われても何をしていいか分からなかったんですけど。とにかく一学期のテキストは夏の間に復習するっていうのをやって。何周もやりました。二学期って、冬期はそんなに長くないし、しかも内容が重くなるから、特に。

### 寮生に負けない！がモットー

家ではほとんど勉強してなかったですね。最終的には5時半に起きて11時半に帰ってきて風呂入って寝るだけって生活になって。睡眠時間は人それぞれで、僕はそれくらいで回せたんで。

性格的にルーティーンが好きで、無駄なことに時間を使いたくないし、勉強はとにかくルーティーン化して取り組んでました。何が出来なかったかっていうのが如実に分かるのもでかいです。漠然としていると、今日やる予定だったところが終わらなくても、明日やるかってなるだけで、効率が上がらないし。それが、きちんと一週間決まってるって、次の日には次の日にやることもあるから、困っちゃうんですよ。だから、やることやらないと進めないっていう負荷をかけた方が、効率が上がるのかなって。夏も空きコマ全部書き出して、あと、自分で0限と8限を作って、この時間はこの科目、この時間はこの科目って決めてましたね。やっぱり、時間がないってのがあって。最初は8時に来てましたけど、7時半に来るようにして、日曜は早く寝れるから、月曜は7時に来てってしてました。寮生に負けないってのがモットーだったんで。自分より下のクラスの人も早く来てやってて、7時とかには来てて。下がやるなら上はもっとやらなきゃって思って、せめて月曜日だけは寮生に負けないように始発で来るようにしてました。4時半に起きて、5時18分の電車でしたね、たしか。冬はまだ暗かったです。あとは、歩く時も基本的に小走りとかなんですよ。時間がもったいないんで。大概と歩くと、あいつめっちゃ遅いんですよ、歩くの(笑)。でも、あいつは歩きながら単語覚えてたんで。一緒に帰る時とか、一緒に帰ってるか分からないくらいの距離感で話してましたよ。歩く歩道の人と同じ速さで歩くってのも僕のモットーでした。あの人たちが抜くっていうのが毎日の運動でした。帰りも

乗る電車の5分前に学校出て、ダッシュ。乗る位置も決めてたんで、ダッシュしてましたね。大概に「それ疲れないの？」って聞かれたんですけど、僕は電車乗り遅れるのが一番やばいんで、その方がタイムロスがでかいんで。百瀬(杏林大医学部進学)に言ったら、そのペースで歩く歩道を歩くのが一番効率がいいって言われましたけどね(笑)。

### 心のターニングポイントを経て

現役の時、自分の発表が他の友だちより早くって、自分だけが浪人するんじゃないかって怖くて。あの時が心のターニングポイントでした。もうやばい！ここで変わるしかない！って。第一志望に受かっていくやつはそれ相応の勉強してて、受かっても第一志望じゃない人もいて、やっぱり真面目にやしないと第一志望は行けないなって思って。やるしかないなって。180度意識が変わりました。

って言っても、4月の初めころは終わったらすぐ帰りたくて、ダッシュで帰ってたんですけど。一回、石井先生の授業が延びたことがあって、その時に寮生で9時半まで残ってる人いるじゃないですか。それを見て「やってる人いるんだなあ」って思って、5月から残るようになりました。他の人の自主性っていうか、姿に影響受けるってありますよね。でも、他人と自分に優劣はつけませんでしたね。物理は得意でしたけど、大石橋(日本医科大進学)とかもって出来たし、太谷は英語出来るし。現役の時は数学も得意って思ってたけど、もっと出来るやついて打ちのめされたし。でも、「浪人してる時点で自分と一緒に。優劣はない。」って自分に言い聞かせて。

代官山の座談会も大きかったですね。座談会で、野崎さん(東邦大学医学部の先輩)がSNS全部やめたとか言ってて、その話が5月の頭だったんで、そこで気持ちが変わりました。

受験期の直前は、こもるようにしてました。人に差をつけるには、ここではみんなやるし、喋ってる時間とかにやらないと差をつけられないなって。M教室で自習してて、自習室から出てこない奴はほんとに出てこないんですよ。見習うしかないなって。他人のいいところは全部もらっていききました。

### 結果はあくまでもその時の自分

マンスリーテストはガチでやってましたね。ランキング掲示されますし。クラスが関わってくるのもあったし。前半で一回1位なったんですけど、245点くらいで。この点数で1位は恥ずかしいなって思って。みんなは順位見てワーキヤー言っていましたけど、ここで井の中の蛙になっちゃったらやばいなって、僕は危機感しかなくて。最終的にみんな300超えてくるのに。だから、結果はその時の自分であって、最終的な自分ではないと思って。ここでのテストは指標であって、結果ではないと思ってやってました。



復習はちゃんとやりましたが、結果には囚われなかったですね。

### 現役生から浪人生へ、意識の変化は？

浪人して、受験に対する意識が変わりました。現役時代は、解けない問題にぶつかったときに、「あ、これ、みんな取るんだなあ」って思って、やばいなって印象しかなくて。一浪してからは、「僕が解けないんだから、周りも解けない」って思えるようになって、そんな気概でテストに臨めました。だから、難しい問題を気兼ねなく捨てられたっていうのはありますね。それくらいここで勉強したから、自信がついたっていうか。

あとは、この1年で大人になったっていうか。客観視できる自分がもう一人いるみたい。感情的になっても、感情的になってる自分を見る自分がある。今の自分がやばい方に向かってたら、引き留めてくれるし、調子に乗ってるときも、「足下すくわれるぞ」って。試験の後にやばいと思ってガーツでやっても、一日で終わったら意味なくて。それなら、ちょっとプラスの状態ですとやれた方が結果的にプラスになるんで。気持ちがぶれずにやるってことが大事だなって。メンタルが強くなったのは、浪人決まった時の気持ちというか、絶望をいつでも思いだせるから、また味わうのは嫌だなって。気持ちはずれずにいられました。

### 後輩たちへメッセージ

僕はマンツーマンに頼らないようにしてました。ドアに「マンツー組に勝つ！」って貼ってました。取る取らないじゃなくて、取ったら効率いいのは分かってたし、取らないなら結果を残さないといけないうて。後期でマンツー取った時も貼ってました。マンツー組に勝つってことは、自分にも勝つってことだって。ある意味で精神論者だったのかも。気持ちのブレでパフォーマンスが低下するのが一番もったいないって思ってたんで。瞑想もしましたし。

前期は、特に、数学と英語は予習しないと意味がないし。予習だけは絶対にして、復習はもし手が回らなかったら夏に感じていいと思います。僕は実際そうでした。物理が1、化学が2、英語が4、数学が3みたいな配分。得意科目は夏前に伸ばすものじゃないんで、とにかく苦手科目に時間割いてましたね。伸ばすより、穴を見つけて潰していく感じ。伸ばすのは後期、それがベスト。得意科目に時間を割くのは、苦手科目からの逃げになっちゃうことがあるんで。向き合わないとダメかな。

あとは、時間を上手く使えてことですかね。人と同じ生活してたら差は埋まらないってのは念頭に置いておいた方がいいです。差をつけるには違うことしないと。勉強って、天才型じゃない限り、やっぱり努力で決まると思うんですよ。もちろんそこには

効率もあるけど、量をやるのも大切。

ただ、唯一出来なかったのが、移動中にテキスト読むのが出来なかったんですよ。石黒さんとかやってたんですよ。どこに行く時も化学のワークブック持って行ってたんですよ。エレベーターで一緒になった時も読んでるんですよ。あそこまでストイックになれなかったのが唯一…。コンビニ行く時も持ってるんですよ。あそこまで出来なかったのが悔しかった。見習いたかった。

勉強できる人に言いたいけど、勉強できるから、上の方にいるからって下を見ないんじゃないで、上にいるからこそ上に行こうとしてる人を見て、そこから学ぼうとした方がいい。上の方にいて、先頭走ってる後ろって見えないじゃないですか。けど、周り見た時に、どうにかして上に行こうとして試行錯誤してやってることってあるじゃないですか。それって、自分で気付かなくても、人から盗める状況なんだから、自分より上とか下とか関係なく、使える術は全部取っていく。合う合わないはやってから決める。なんでも人目を気にせずに試してみるってのが大事。

ここでは一緒に勉強してますけど、試験会場行けば敵だし。精神論者って話しましたが、この一年、いろんな言葉を机に貼ってたんですよ。たとえば、今年1年は自己チューになるって貼りました。自分が受かることだけ考えるって意味で。あとは、一に勉強、二に勉強。三・四が無くて、五に勉強。部屋のドアにも貼ってて、復唱してました。

他には、負けたくない人の存在かな。負けたくない人を作っておくといいですね。僕の場合、吉川(帝京大医学部進学)とか。吉川とか大槻と出会えて良かったなって。友達を作りに来てるわけじゃないけど、自分を映す鏡みたいな。大槻(杏林大医学部進学)とか、つるんでるのが全員 M1だったんで、そうとう危機感持ってたと思いますよ。モチベーションに繋がってたのかなって思います。

もしみんながこの話を読んで、やばいって思ったとしたら、「いま気づけて良かった」って思ってもらいたい。新しい勉強法とかに出会ったときも、今で良かったって。みんな、頑張ってください。石井先生がテスト返す時、英語の点数があんなに低いやつでも受かったって言われるんだらうなあって思ってます(笑)。

卒業生が語る

## 合格への軌跡 2016年

WAY TO SUCCESS

|         |        |
|---------|--------|
| 東京女子医科大 | 2次正規合格 |
| 杏林大医学部  | 2次合格   |
| 日本大医学部  | 2次正規合格 |
| 帝京大医学部  | 合格     |

夏で全ての科目で60を超えた。  
秋には生物が70を超えた。

東京女子医科大進学 相葉南さん(東京女学館高校卒)



## 大学で部活入ってますか？

部活は卓球と、SP 研究会というものに入ってます。SP 研究会って言うのは、医療面接で聞かなきゃいけない項目があるですけど、オスキー（4年次にやるんですけど）の時に、表の中身を暗記した上で棒読みじゃなくて自然に話せるように研究するための部活です。

## 大学はどうですか？

学年119人いて、120人くらい入れる教室で受けています。ラットの解剖と細胞を顕微鏡で見るという実習はやりました。後は化学の実験が来週くらいにありますね。パワポを使ったプレゼン等の授業や、英会話の授業など医学以外の授業も楽しいです。

## 現役はどうでしたか？

YMS 通ってたんですけど、女子医の推薦をねらってたので受験勉強はほとんどしないで、学校の勉強に徹している状態でした。英語は偏差値が60くらいはあったんですけど、高校の数学も生物も先生が…？って言う感じだったので、苦手ということではなかったんですけど、????の状態になりました。推薦から一般への切り替えは、時間もなかったのでやらなきゃ！とすぐ持ち直しましたが、推薦を主に対策していたので、一般対策不足で全然駄目でした。

## 予備校はどうやって決めましたか？

まず最初に石井先生のお話を聞いたときに思ったことが、「この人すごい」。生徒全員の名前と進学先、得意科目や誰と仲が良かったかとか全部覚えていて、それだけではなく何年も前の人のことも覚えているのを見て、「この人なら信頼できる」と思った。もう一つの理由は薄先生の体験を受けたから。代官山は何といっても先生方がとても良かった。薄先生の授業は難しいことやわかりにくいことを、ただ別の言葉で言い換えるのではなくてわかりやすい、身近な言葉にしてくれる（先生曰く「5歳の息子がわかるように説明」）。ただ「教える」のでも「理解させる」のでもなく、「自分で解けるようにする」、つまり後で復習する時に無理のない発想や手順で、自分の力だけで先生が言ったことをそのまま再現できるようにするような教え方だと思う。平野先生は、一年間を通してお世話になった。私の中で相談といえばこの人。私のことをわかってもらっているという安心感があった。私は授業中にすべてを消化して、空いている時間はとにかくやったことをアウトプットできるようにすることに力を注ぎたいタイプの人間なので相性が良かったのかもしれない。私は授業内で消化したいタイプなので、4時で授業が終わって後は自分で自習してね、とかいうところは向かないな、と思ったんです。それでインターネットで結構調べたあと、体験授業で薄先生の数学を受



講して決めました。ホントに数学がすごく足を引っ張っていて困ってたんですけど、授業受けたら今までの教科書読んだだけの授業とは全然違って良かったので決めました。計画的に勉強できないのと、授業で拘束してくれる予備校を選びました。

## 授業はどうでしたか？

予備校に入ったきっかけは薄先生でしたが入った後は、数学は平パンにお世話になりました。ベーシックなのに解けなくて、先生に相談したら、復習メインで目を通して、やったことは完璧にしろって言われて。何を分からないかを認識して、授業を受けて分からないっていうのも、ノート写しながらどうやればいいのか全部頭に叩き込んでました。予習の段階で解けていたけど先生とやり方が違っているものは空きコマで習得しました。予習の段階でできなかったものは次の日の朝に早く来てダーーっつと解いていました。夜間とかでも復習して、次の週の授業の前に解いたりしました。このやり方で、予習、朝に2回、夜に1回、次の週に1回でテキストを5回は回せるんです。ものによっては7回くらい回したかな。1学期に隙間を無くして授業を入れまくって死にかけてたんですけど。親から一年間は好きにやっていいけど、1年でだめなら医学部じゃなくてその辺の女子大でも行ってくれって言われてて、だから隙間全部入れちゃえと思って。ぐったり…。でもやってみないと分からない、とりあえずやってみようと思ってとにかく入れた。数学はとにかくカスだったから、解けるものと解けないものの判断が速くて。解けないと思ったものは

授業でやって吸収してた。下手に難しすぎる問題には手を出さなかった。生物は夏に死にかけたんですけど、緒方先生の生物を取りまくった。緒方先生授業でめちゃくちゃ当てるんですよ。授業中に資料集に当てられてたものを全部書き込んでおいて、資料集が完成品になりました。これを飽きた時とか、少し見たりしてるくらいで、生物はほとんど完結していました。元々考察問題が好きだったんですけど、根底にある知識がなかったのがためだったんです。でも夏にその根底に必要な知識を結構入れられたので、秋以降の考察は、問題文、リード文読まなくても答えが選べるくらいになってました。生物と数学が夏期講習で伸びてたまに得意の英語を抜いたりしました。でも、化学が秋まで伸びなくて、石井先生に相談していろんな先生を紹介してもらったりしました。その紹介してもらった先生が、全然知らない初めましての池永先生だったんですけど正解でした！私は授業内で消化するタイプで、自習などで演習が絶対的に足りてなくて。最初の授業で大量のプリントドサッと渡されて。それを、消化不良にせず、授業中にやれって言うのが良かったです。私は、回りくどい解き方をしていたみたいで、直線的に解ける解き方で解けてなかったんですね。無駄に考えちゃったみたいなところがあって。だから量をこなして行くやり方が効果的でした。石井先生の英語の授業では、医学部の情報を授業の前半に教えてくれるで良かったです。私は、推薦で大学の分析をしていなかったのと、大学の情報を調べる暇もなかったので助かりました。



## 自習で心がけていたのは？

インプットは得意なのですが、アウトプットが苦手だったので、とにかく授業でインプットして、自習室では手を動かして問題をやり込んでいました。先生には分からない事を質問しに行ったりしていました。平パンのところに行き自分に足りない部分を聞いたりもしました。できない時期の私を知っているのでの確なアドバイスをもらえました。自分は取捨選択と、感情の切り替えが結構上手にできるので、これは私の技量を超えている問題だからとりあえずおいておく、その前の部分の基礎まではやり込む。これは、説明を読めば分かるからこれは、解けるまでやる。などキャパは超えない範囲で、できる事は確実にしていました。あと、無駄な事が嫌いなので、勉強以外は必要最低限の事しかしないようにして睡眠時間の確保にも神経を使っていました。授業でば一つとしたり、寝ちゃうという事は絶対しないようにしていました。自習中耳栓して集中したり時間を無駄にしないように切り替えしていました。携帯もいじらないし、ほとんど寝ないし、とにかく授業中に色々を消化したいしという子でした。

## 暗記方法におすすめはありますか？

暗記は得意だったのですが、英単語は前後の文脈で解読(実は国語が得意で国語が好きでした)しているところがあったので、単語をおろそかになっていました。現役で英語は、得意だったのに単語力はなかったかもしれません。英単語でもらっただじゃれプリントも馬鹿にしたりしていたのですが、意外と覚えられ、長文で助かった事もあります。自習室は声を出せないの、トイレに行く時とか廊下とかで声に出して英単語を覚えたり、気分転換に動きながら覚えたりしていました。窓の近くで風に当たりながら暗記ものをやるのも気分転換になって良かったです。

## マンスリーとウィークリーはどうでしたか？

ウィークリーはその週やった事なので100点とって当たり前。やった事ができないというのは怠慢だと思っていました。計算ミスとかの程度でないミスに関してはアウト！反省すべきだと思っていました。1学期中はA6だったのでマンスリーは載らなくて当たり前だと思ってウィークリーをきちんとやっていました。1学期中に関しては、マンスリーは夜間で解説してもらっても分からなかったところに関しては捨てました。2学期のマンスリーに関しては小問は確実に満点を取るという事を徹底していて、ランキングに掲載されるようになりました。女子医も小問は確実にとれてたと思います。薄先生にももらったプリントが試験に出てラッキーでした。他人と比較するのも重要だしモチベーションもあがるのですが、落ちたときに気分がめちゃくちゃにな



るのは意味がないと思う。一番は自分に負けないつもりで、手を抜いてないかとか、自分の手応えと実際の点数との差にも注目した方がいい。

#### 受験生の皆さんへ

私は切り替えが速く、合理主義者。無駄か必要か。できる問題かできない問題か？取捨選択を素早くして学習していました。そのため、メンタルをやられてもせいぜい1日で復活しました。焦らず、おごらず、淡々と。感情をコントロールできるように切り替えれるクセをつけておかないと受験の期間中の落ちたり受かったりの時期に、切り替えられなくて困ると思う。

1学期しか基礎を見つめ直す時間がないので、穴がないかを再確認してほしい。上位クラスの子は基礎ができていると思っているから、見落としがち。できて当たり前で、できてない事はヤバいと思ってちゃんと埋めていって欲しい。夏は焦りすぎちゃうんですけど一旦振り返って、自己分析をして状況を把握して苦手部分も見極めるべき。苦手なものはただやっても全然伸びないので基礎固めが重要。あと苦手分野には1学期までに比重を置いたやって方がいい。あまりに苦手分野ばかりやると、メンタル的にしんどいかもしれないけど、2学期はそんな余裕がなくなってしまうので放置したりする事のないように、気をつけた方がいい。あと、夏前位までには日曜日も来てないとヤバいと思う。もう日曜に勉強する習慣をこの時期辺りから付けておかないとヤバい。だんだんやらず、質の高い勉強をして欲しい。



|        |        |
|--------|--------|
| 日本医科大  | 2次合格   |
| 近畿大医学部 | 合格(推薦) |
| 北里大医学部 | 2次正規格  |

ライバルと競う事で  
一生懸命頑張る事が  
できました。

日本医科大進学 大石橋龍君(広尾学園卒)



## 日医どうですか？

大学は生徒の数が少ないんで、横とか縦のつながりが強いです。

代官山の卒業生、多いですね。日医。

新歓では井上佳弥乃さんや桐山さん、それと山口さんに会いました。

## 大学の授業はどんな感じですか？

大教室で、100人ぐらいで、予備校よりわかりにくいです(笑)。教養では、生命人類学とか哲学とか、僕は法学をとりました。部活はアイスホッケー部に入りました。同級生が3人です。ゼロからスタートなんで、みんな同じで。練習は授業後、深夜とか。

## 日医のここがいいとかは？

みんなワイワイして。一浪が半分ぐらいかなあ。現役が2割程度。まあ、現役、浪人は関係ないですね。2年から大変らしいですけど。今のところは楽勝ですね。

## 現役の時は？

河合塾に行ってました。河合は大人数なんで、わかんなくてもどんどん進んでいくんで。代官山は、わからなかったらすぐに質問に行けてよかった。マンツーマンは小論文と化学、物理をとってました。小椋先生、寺澤先生。わかりにくいことをわかりやすく教えてくれました。化学はたくさんの量をやるので、その中で知識の整理ができました。時間割で空いているところで、前日の復習とその日の予習をすると決めていました。

## アップアップしている人に対して、アドバイスは？

うまく回せば、必ずできますので、無駄時間をなくすことに尽きます。

マンスリーに悩む人が多いんだけど、まあ対策はないんで、日々の復習と予習を地道にやるだけです。

## ランキングとか気になった？

もうバリバリ。物理とかは絶対1位とると頑張っていました。ライバルも想定して。

## メンタルは？

近大の推薦とれてたんで、あと、どこまで高めの大学に行けるかだったんで、気楽でした。近大の推薦受けるかどうか、石井先生に相談してました。はつきり言ってくれるので安心して受けました。一浪で推薦にふさわしい人かどうかズバリわかるらしいんです。現役の時は河合では直前期なんかもう対策してくれなくて。河合は現役医学生がやるんですけど、プロじゃないんで全然ダメでしたね。ここはその点、石井先生をはじめ、プロ集団なんで。お任せでした。



## 石井先生の授業は？

緊張感あって。医学部情報は、どこにも聞けないような数字が聞けました。長文の内容と関連した話を広げてくれたり、大学のカラーの違いとか、いろいろな情報聞けて良かったと思います。

## 心がけていたことは？

最初は一人だけでやると決めていたんですけど、6月ぐらいから友達できて、わりと気楽になってきました。高めあう友人はやっぱり必要ですね。

高校の先生が勧めてくれて代官山 *MEDICAL* に来たんですけど、明るい印象で、即決めました。質問もしやすく、薄先生とかに質問してました。朝は早めに来て予習して、毎日、決まったような生活をしていました。

物理は寺澤先生のプリント、数学はひたすらテキストの繰り返し、化学もテキストだけかな。毎日の勉強時間を日記みたいにつけてて、それを試験前にみてて、これだけやったから、大丈夫だと自分を安心させてました。

## どの教科が一番伸びた？

全体的に伸びました。数学は最後に壁を越えた感じがありました。昭和後期あたりで、力がついたと実感できた。最後の最後まで頑張ることをお勧めします。

得意は物理、苦手は化学なので、後期は化学ばかりやってました。節田先生の理論とかわかりやすかった。池永先生にもお世話になりました。苦手科目を作らないことが合格の鍵です。

## 選抜クラスの雰囲気は？

上の大学に行こうという意欲がみんなあるんで。雰囲気はよかったですね。

リフレッシュは家で漫画を読むことかな。「ジャンプ」と「ヤングマガジン」は毎週読んでた。「ハイキュー」とか「銀魂」とか好きです(笑)。

## では最後に、日医志望者に一言。

日医は時間をかけて解く問題が多いんで、応用力をつけるのが大切だと思います。皆さんの健闘を祈ります。繰り返すという経験がすべてです。天才は必要ありません。





卒業生が語る

合格への  
軌跡 2016年

WAY TO SUCCESS

|        |        |
|--------|--------|
| 日本大医学部 | 2次正規合格 |
| 杏林大医学部 | 2次正規合格 |
| 愛知医科大  | 2次合格   |

1年目、石井先生にたくさん  
怒られたおかげで  
真面目にすごしました(笑)。

日本大医学部進学 小林桃子さん(秀明高校卒)

## 医師像を聞かせて下さい。

内科や病理医になって将来的には子育てと両立させたいです。

## 大学については

日大楽しいです。代官山 MEDICAL の卒業生も多くて。クラスは A・B に別れていて今日は医療単語の授業がありました。実習はもう始まってだんだん慣れてきました。

## 代官山での生活はどうだった？

代官山 MEDICAL 大好き！戻りたいくらい！(笑)。私は浪人生活楽しかったけど、大学で周りに話すと驚かれます。代官山 MEDICAL は授業で忙しいからメンタル病んでる時間もない。最初は A1 が悔しくてマンスリーテストは M1 の成績目指して頑張りました。Monthly Test の成績とかランキングはめちゃくちゃ気にしてました。多分、毎月の結果、今でも覚えている。順位悪いとマジで凹んでた。

## 気持ちの切り替えはできた？

一浪終わったとき。仲良くしてた子が皆合格して焦りました。追いつかなきゃと思って。私は苦手科目をなくす事を第一にしてた。数学と化学は安定してたから英語と生物に時間割いてました。でもやっぱりバランス悪いと夏に化学が下がってきちゃったりして、不安定な時期もあったけど、だんだん平等な勉強の割合にはなっていました。とくに授業中に絶対理解しようと心がけてた。

## 科目別にどのように伸びましたか？

英語は丸山先生と朝岡先生。丸山先生のマンツーマン受講してからめっちゃ英語伸びました。先生がくれる「やることリスト」が凄く細かくて量がめっちゃ多いけど、生徒に合わせてくれるからこなせる。丸山先生は勉強サボるとすぐバレる(笑)けど、ちゃんとやると褒めてくれる。私みたいにだらしのない人はやらなきゃいけない時はハッキリ言ってもらわないと動かないし、メンタルケアマンツーマンでモチベーション復活します。朝岡先生は説明が詳しい。ゆうか(杏林大医学部進学)も言ってた。数学は薄先生と平パン。数学出来ない人の味方(笑)。私は全部勉強法が暗記型だから、問題見てすぐに解法出てこなかったら終わりだったし。薄先生も平パンも皆が解ける問題は絶対解けていうスタイルだから、問題を取捨選択してくれて私には合っていました。1浪目は外行ってふらふらして、友達と喋ったり家で寝たり…よく怒られてました。今年は変わった。自習の集中力が続かなくても、とりあえず自習室に座ってることを徹底しました。これ、私みたいに集中力ない人にとっては凄い大切です。石井先生の授業は楽しかったです。自習ばっかりだと私はモチベ

ションさがってきちゃうので、石井先生の授業で上げてもらってました。

生物はゼロからだったから伸びた。緒方先生と金谷先生と大森先生にお世話になった。全員マンツーマンとってたし。金谷先生は基礎をまんべんなく全部教えてくれるから合ってて、一気に伸びました。緒方先生からプリントたくさんもらって解けなかったところをノートに書いて覚えた。量をこなしてた。でもやっぱり英語が一番伸びたかな。丸山先生に習ったら今までと全然違う。入試時も武器になったし杏林は英語ができたから受かったと思う。去年まで英語はどの入試でも2～3割しか取れてなかったけど、今年は6割以上は安定してとれてた。面接は話せる方だけど、志望理由とかテンプレートは考えて面接対策ノートは作りました。最初は緊張してたけど慣れてきて後半は大丈夫だった。

## 最後に後輩へ一言。

苦手科目をなくすことが一番。そういうのがあると絶対受からない。苦手をなくして尚且つ得意科目をすること。周りと比べて私は科目間のバランスは良かったから、打率が全然違いますよ。1次は東医以外全部受かって2次もまわってきたし、試験中ずっと安定してる。理科が一番得意だからその2科目で底上げしました。入試期間も変わらず勉強を続ける事も大事です。





卒業生が語る

合格への  
軌跡 2016年

WAY TO SUCCESS

|            |        |
|------------|--------|
| 日本大医学部     | 2次合格   |
| 大阪医科大(前期)  | 2次合格   |
| 東邦大医学部     | 2次合格   |
| 北里大医学部     | 2次合格   |
| 兵庫医科大      | 2次合格   |
| 埼玉医科大(後期)  | 2次正規合格 |
| 東北医科薬科大医学部 | 2次合格   |

ふり返って、  
私立医学部ならどこでもよいと  
思っていたのが  
試験を受ける上での  
一番の反省点。

日本大医学部進学 栗原尚哉君(秀明高校卒)

## 日大はどうですか？

日大は土曜日授業もあるのでかなり大変です。今日もテストだったし。  
1ユニット落とすと呼び出しがあつて4ユニット以上落とすとサヨナラ。  
パソコンが好きじゃなくて、パソコンを使わなきゃいけないことがすごく多くて。レポート、テスト勉強、宿題に追われる中、パソコン使わなきゃいけないのが、ストレスです。  
授業は朝9時から6時で早い時は3時で終わるんですけど、実習が始まって実習の時は遅いです。

成績やメンタルを  
どのようにコントロールしてましたか？

一度落ちたときもう落ちてもいいやと思ってました。あつ、正確にいうとどうでもいいということではないです。浪人生活が長かったので最初のうちは上がる喜びというのが確かにありました。ただ上がったそのあと、下がるとテンションも下がる。テンション下がると長びいちゃうんですけど、そういうのも何回か繰り返すと、そのうち下がったとしてもこれ以上は下がらないというラインが見えてくるから、なんか感情をコントロールできるようになって落ち着いた。  
自分のコンディションが悪い状態もわかるようになって、「あの状態でテスト受けたんだからこの点数でもまあいける。」みたいな感じがわかるようになってきた。自分の手応えと点数を意識するようになっていた。  
精神的にも色々あつて、その崩れそうになった時、勉強をする中でいい友達っていうのがいて、単純に勉強の話をするのが楽しくてそのためだけに続けてたっていうのも若干あるかなあ。実際こういう動きは理論上は成り立つんだけど、実際は成り立たないのか？とかそういう勉強の話をして、純粋にそういうのをしたら、学ぶことが楽しかった。  
本館から2号館に来る人たちを見て思ったのは、勉強する意識が高いなと感じたりした。やっぱり上がってきてるっていうのがあるから、先生への質問態度だったり、朝早く来るとか意欲を感じた。上がってきた後も安心してやり続けていたし、常に上がっていこうという意識を保てるのもすごいと感じた。

## 校内テストはどうでしたか？

石井先生も言ってたんですけど、他と比べるっていうのは、良くも悪くも大切なこと。  
別に比べすぎて、自分が潰れるって言うんだつたらやめたほうがいいと思うんだけど、模試と違って近い関係のところで、相対評価できるっていうのはマンスリーの良い点かなって思う。  
自分の場合は、得意科目とか定まらず、できない科目がローテーションしてて、何かができると何かを



ボツってました。得意不得意というより形で点数に出るのではなく、やる気が点数に、すごく反映されてました。

## 代官山 MEDICAL の授業はどうでしたか？

みんなも言ってるように分かりやすかつたし、少人数だから授業中も他のクラスの生徒の名前とかよく出てきて、すごい見てもらってるんだな一つて実感できた。大学は授業の人数が多いからそういうのはないから今改めて、良さを感じる。  
いろんな先生に習えるのが代官山 MEDICAL はいいと思う。一つの観点からだけでなく、多角的に学べたし、質問環境が充実していて、違うやり方だったり他の先生に聞いたりすることもできた。自分は授業料分は学ぼうと思っていたんで、実際自習室が一人に一つあてがわれているので、行かないで使わなきゃ損してるようなもんだと思った。土曜でも日曜でも先生は質問しまくって使おうと思った。性格的に質問しづらい人とかいるかもしれないけど、この良い環境を使わないのは受かる受からないに大きく関係してくることだと思う。

## 印象に残っている先生とかいますか？

自分は生物選択だったんですけど、代官山 MEDICAL のいいところは自分の選択していない科目でも聞けば教えてくれて、実際生物の問題でも物理の分野の視点から説明してもらったほうがわかりやすかつた部分があつて、物理の先生に教えてもらったことがあつた。寺澤先生がまさにそれでいろんな科目を丁寧に教えてもらった。気になったら聞くっていう姿勢は常に大学に行っても使えるから大



事。気になったことは受験にでないことも知りたいと思った。でも、これはあくまで余力があったらだけ。。。

五十嵐先生は丁寧で、基本に忠実だった。数学に関しては網羅性が高いのが平パン、深いのが啓寿先生だと思った。自分の探究心を満たしてくれるのは啓寿先生で、語って教えてくれて、本当にそうだと理解できたり興味も沸いた。思考のプロセスとか丁寧にじっくり教えてくれた。

### 入ってからの成績はどうでしたか？

化学と英語が伸びました。英語はいつの間にか伸びてました。偏差値で言ったら2倍になってました。現役は38とか37とかだったんで…。丸山先生のお陰で長文で言うところの読み方、解き方を習って読めるようになった。春なんにもやっていない段階で構文解釈とかの質問につきあってくれて、春の段階で構文の SVC の文型の取り方とか学んで文章に対して抵抗がなくなった。それでも解くとなると解けなかったんで、解き方を習ったら点数が安定してとれるようになりました。発音とアクセントはちゃんとやっていなかったですが、丸山先生は面倒見がいいので、マンツーマンとかやってない時でも添削とかやってくれてすごくありがたかったんで、すごく伸びました。マンスリーは31点とかだったんですけど、7割は普通にとれるようになってました。

化学は節田先生とかいろいろな先生にお世話になりました。モチベーションの扱い方とか、うまい問題の解き方とか早く解けるとか解き方をまず教えてくれて後から理屈がくつついてくるのがよかった。自分の思った事とか疑問に思った事を何でも答えてくれて、それが知識に結びついていってよかった。マンスリーはできたりできなかったりはしてたんですけど、入試では安定して解けました。難しい問題を頭使わないで解けるという事ができるようになってた。

石井先生の授業は、参加型というかある程度予習をしていかないといけないので、強制力があつたと思います。覚え方が雑だったのでそこを指摘された事もありました。理系の科目で周りが答えに行き着くプロセスというのを知れる事はあつたんですけど、英語の授業で周り人の回答が聞けて、思考プロセスが分かるのが石井先生の授業だけだったかなと思います。

典先生の授業は、別解とか聞いてくるので、結構面白くて、典先生の自分の解法とか聞いてもらうのが嬉しかった。

数学は考えるのすごく好きだったんで思考型タイプだったんですけど弱点があって、一回思考の歯車がズレちゃうと、パニックって持ち直しができないとか時間の制約中だし、緊張の中ではキツイとかがあつて思考もできるけど暗記重点人間になろうと思って

シフトチェンジをしました。ただ、丸暗記するというより、まずは一回それを使ってみる。覚える時も書いたり、印象に残ると覚えるタイプだったので、覚えてたものをコピーアンドペーストできて、この問題にはこれだっていうのがすぐできるようになってた。

理科系でも思うんですけど、暗記のやり方のメリットとしては、とにかく覚えると速いです。実際、入試本番である大学ではもう割り切ってどんなに正答率が悪くてもまずは終わらせようって思ったんです。考察問題で、過去に授業でちゃんと理解して解答を覚えていたものがあつたんで、本番では考察はしなくても解答をできました。そうやって時間を稼ぎました。もちろん考察は一回やっておく必要はあつて、理解はきちんとするんです。それをした上での解答の暗記は思考を省略してくれるんで、節約になったし便利。暗記によってストレスなく解ける部分が増えて余裕がもてた。

### 後輩に向けて一言。

予習と復習のバランスが崩壊して不毛な事態に陥る事もあるけど、日曜日の使い方とかうまくやって欲しい。おしゃべりしたり寝てたりして過ごすのも自己責任だから他人に迷惑かけなければ勝手だけど、勉強をやっている時間の密度を上げて欲しい。時間の使い方はきちんとして欲しいし、予習の貯金は作っておくべき。秋以降は基礎の段階ができている前提で演習中心だし、秋以降に何をやったかである程度決まってくる。秋以降は基礎が崩壊してくる人とかもいるんで、基礎は見直すべき。秋以降はひたすら演習みたいなのがあるんでね。

一度やった問題を100% やれるようになるというのは難しいと思うんですけど、一度やった問題でできなかった問題を放置して積んでいつつぶれる人とかいるんで確認はやって欲しい。アプローチの仕方さえ知ってれば時間かけずに出来る問題が入試では出たりするんで、やった事は出ないと思うんじゃないかってある程度出ると思ってやっておいた方がいい。暗記もただ暗記じゃなくて理解して考えて覚えるという事をして、暗記容量を減らして欲しい。理解しない、丸暗記は直前まで避けて欲しい。勉強法は他人にあまり左右されないで自分に合ったものを見つけて欲しい。

あと、勉強法というより、日曜日は、自習室に来てないとダメだと思う。日曜日やらないで受かるとか本当に稀だし、家で集中して勉強できるんなら予備校にも来てないと思う。勉強しないで家にいるなら絶対に学習室に来て欲しい。

結局最後は気持ちですよ。精神力とか体力とかになってくると思う。

卒業生が語る

## 合格への軌跡 2016年

WAY TO SUCCESS

聖マリアンナ医科大 2次正規合格  
岩手医科大 2次正規合格

この先生のもとでならやれる！  
と思い決めました。

聖マリアンナ医科大進学 小野晴香さん(桐蔭学園高校卒)



## 聖マリアンナ医科大学、どうですか？

一人暮らししています。歩いて通学です。結構、一人暮らしの人、多いです。聖マリは1年生が128人いて、女子が40人くらいかな。お昼は自分で自炊したお弁当を持って行ってます。バイトする余裕はないです。先輩方はやってますね。不思議ですね。学校、チョー忙しいです。予備校より忙しいかもです。忙しさの種類が違いますけど。

## 友達はできました？

はい、たくさん。代官山 *MEDICAL* の同級生は、山本君、国生さん、伊藤さん、高良君。先輩の桑野さんとも会いました。山本君とは同じバスケットです。私、小中がバスケ部だったので。練習は週二回、夕方5時半から9時半。女子は10人で、試合ができるぎりぎりのメンバーです。体、動かして、本当に気持ちいいです。

## 大学の授業は？

朝9時から5時ぐらいまでが、授業です。今年からカリキュラムが変わって、1年生も実習が5月末から始まります。今は、化学、生物、物理です。試験科目でない物理が大変です。受験は個人プレイだけど、実験はチームプレイだから、しょっちゅう、友達と話合っておもしろいです。英語は週二回で、長文と医療系の単語やってます。後期からテストがあって、クラス分けがあります。

## どうして、医師になりたかったの？

両親が医師で小さい頃から医者なのかなあと思ってただけで、初めはなりたくなかったんですよ。忙しそうなので。でも、小学校の頃に、開業して地域の方々にお礼をされているのを見て、やっぱりいいなあと思って。

## 代官山 *MEDICAL* 入塾の理由は？

母がいろいろと資料を取り寄せて、食事付き寮を中心に探したんですけど、いいところがなかったんですよ。10校近く見にいったんですけど、いい予備校なくて。でも、現役受験の時、TOC（一次試験受験会場）で配布されていた「攻略本」読んで、ずっと気になってたんですよ。それで、ぎりぎりの時に説明会に行って、この日が最後というぎりぎりの日に決めました(笑)。他のところでは「まじめそうだ、まじめそうだ」と言われてたんですよ。でも、真面目じゃないから、浪人してんじゃないと思ってた。石井先生だけは「のんびり屋さんなんだから、ここに来て勉強すれば」っておっしゃってくれて、この先生について行こうと思いました。自分を本当にわかってくれてるなって思って。浪人して、強くなったと思う。薬学部受かってたんですよ。現役の時は。友達なんかは、メンタル弱いんだから、浪人無理って、薬学



部行きなよって、みんな言ってたんですよ。でも、浪人するって、決めて。

## 入塾して、勉強はどうでした？

最初の方はマンスリー悪くて、泣いてました。6月のマンスリーは本当に悪くて、たまたま数学が悪くて泣いている人が多くて、それで薄先生が授業中に語ってくれて、「泣いているぐらいなら勉強しなさい」って。それでももう泣かないって決めました。それからですね。絶対遊ばないと決めて、代官山 *MEDICAL* でも勉強、家でも勉強してたし、日曜も必ず来てた。

マンツーマンは高橋阿里先生でした。英語は危機的だったんですよ。我流でやってたのが、阿里先生に基本わかってないぞと指摘されて、それがよかった。時間的にはアップアップにはならなかった。テキストの復習を中心に、1日4科目やってみました。空きコマの予定を一日前に決めて、やってみました。週に全部決めるとできないことが多くなって未練残るんで、できる計画を立ててました。

## 成績はいつごろから伸び出しましたか？

8月ぐらいかな。8月のマンスリーでやっと200点超えたかな。*Weekly* は *Standard* だったから、満点当たり前と思ってやってました。*Monthly* の復習は基礎問題は完璧に復習して、応用問題はもう捨ててました(笑)。ランキングは一科目載るとうれいじゃないですか。同じクラスの人たちが載ってて自分が載ってないときなんか、悔しくて。次は絶対勝つと思ってました。負けず嫌いなんで。負けず嫌いは大切だと思います。

## 印象に残った先生は？

数学は薄先生と高橋典先生。先生たちは書きながら、説明してくれるんで耳からも入ってきてよくわかった。書くのが遅いんで。悩み、というか癒やしは高橋典先生のとこに行っていました。質問作って、聞いて、それで癒やされていました。化学は節田先生。一番前に座ってたんで、ノート取るの待ってくれたり、板書が色分けしてきれいなんです。やる気が出るんです。生物は緒方先生に質問してました。質問いつでも来てって言うてくれて、質問しやすかったです。

## 現役の勉強との違いは？

全然違う。現役の時はセンスがないからひたすら問題を解けて言われてそうしていたんです。いろんなものに手を出して。でも伸びなかった。代官山 *MEDICAL* では、テキストだけに絞りました。ノートは予習用と授業用に分けてました。予習はできるかぎり独力でやって、解けない問題はわりとすぐに諦めてました。復習は授業ノートに自分のコメント欄を作って、ノートの読み返し、解き直しの時に、そのコメント欄にいろいろ書いていました。復習しながら、たとえば典先生の授業のノートに、ここは薄先生も重要だと言ってた、とか書いたり、ここでこの公式忘れてたとか、書いたり。どうして間違っただのか理由とかも書いていました。

夜、寮に帰るとき、1限目から7限目までの授業の反復を頭の中でやってました。それで、歩きながら、思い出さなかったら、部屋に着いて、ぱっと図説やノート広げたりして確認してました。

## 一番伸びたのは？

英語と数学が伸びました。岩手医科と聖マリは数学



解けなくて、英語で合格したと思います。英語はやっぱり石井先生のおかげです。授業に緊張感があって。音読と写経やれって、言われて、それを守りました。6月のマンスリーで30点台取っちゃって、それまで音読20回ぐらいやってたんですけど、朝岡先生に相談すると、「音読は40回はやらないとダメだよ」って言われて、それからは音読を40回やって、「快速」を毎日、そして、1年間写経してました。石井先生の授業のテキストもひたすら、音読と写経をしてました。5月から始めて、並べ替えはずっと0点だったんですけど、写経やり始めて、とれるようになって、秋以降はずっと満点がとれるようになりました。

## 遊びたいと言う気持ちは起こらなかった？

それはなかった。できるだけ誘惑を避けてました。渋谷の方には行かずに、寮との往復だけでした。友人は作らないと決めてたから、でも後期からは石黒さん(東邦大医学部進学)と競い合って。二人とも負けず嫌いだから。でも同じ寮だったけど、一緒に帰らなかった。帰り道は勉強だから。二学期からは二人とも2号館に行けて、励まし合っていました。

## 2号館はどうだった？

最初は怖かった。みんな頭良さそうで。でも最初は1号館でよかった。たくさん質問に行けたし。それで後期に2号館で緊張感が増えてよかった。大学のガイダンスが夏にあるじゃないですか、そこでもらったパンフレットをいつも取り出して見て、やる気を鼓舞していた。ここに行くんだ！って。

## リフレッシュは？

特にしてません。一年で受かりたいのなら、外に出ない、遊ばないと決めてましたから。とにかく、自習室に座り続けることが大切です。やる気がなくなっても、疲れても、あまり外に出ない方がいいと思う。友達を作らないと決めていたし、国生さんもそう決めていたんですよ。今はそれでもものすごく仲良くなってます。友達同士の教えあいとかは、しなかった。先生に聞く方が時間的にも有効だから。粘って聞きに行くのがいいと思う。

## お勧めの勉強法は？ 苦手科目が多い人にむけて、どうですか？

私も全科目、まんべんなくできませんでしたからね(笑)。節田先生に相談したら、セミナーでできなかったことを書くより、授業で「俺が覚えろと言ったことを書け」って言われて、それを化学のハンドブックに書き込んでいました。んー、やっぱり一番よかったのは、帰りの徒歩で1限目から7限目までの授業を全部思い出そうとしたことかな。頭の中だけで思い出すと、結構、覚えてなくて、それを家でノートを読み直して、また覚えて。これが本当の定着につな



がりました。本当、お勧めです。とにかく全部、勉強時間にしようとしてました。11時半には絶対寝て、6時に起きて、寮の食堂でご飯さっと食べて、すぐ代官山 MEDICAL に来てました。

#### 代官山 MEDICAL でよかった点は？

先生との距離が近いのが一番かな。石黒さんがなんでも質問してて。「えっ、そんなことまで聞くの？」って思って。で、聞いたんですよ。「なんでそんなに質問できるの」って。そしたら、石黒さん、「私、バカと思われてるからいいの」って。それで見習って、このままじゃ、この子に負けるなって。で、質問に行けるようになりました。

#### 受験勉強で辛かったことは？

誰とも話さないと決めたことが辛かったかなあ。高校の友達ともメールしないからって宣言して。家族とも1、2ヶ月に一回ぐらいしか連絡しなかった。だから、スタッフの方が、「おはよう」とか「さようなら」って言うてくれたのが、本当によかった。癒やされていた。

#### 現役の時は？

完全になめてました。医学部行けるでしょって。逆に、浪人の時は試験会場では、周りの人を見ても、私より努力している人はいないと心の中で言い聞かせられたから、緊張しなかった。受験会場には、生物の図説、化学のハンドブック、石井先生のθ、薄先生のテキストをもっていった。

#### 前期の勉強でのアドバイスは？

前期は基礎の基礎ばかりやると思いますけど、この時期しかできないんですよ。だから、この時期の勉強を大切にしてほしい。*Monthly* よりむしろ *Weekly* を大切にしてほしい。クラス別のレベル別だから、絶対満点取るんだって。マンスリーは準備しようがないから、あまり気にしてもしようがないと思う。*Weekly* では、時間が余るときもあると思うんだけど、そんなことが本番でもあるから、その練習をしていた。6回ぐらい、見直して。終わったら、突っ伏して寝る人いるけど、そういう人は本番でもそう思うと思う。やっぱり、見直しする癖をつけないと点は伸びないと思う。授業もとにかく見直しして、コメントつけてました。全教科やりました。タメ語で「ダメジャン」とか書いて、そうすると頭に残りました。

#### 2次の面接対策はどうでした？

石井先生の対策でやったこと、全部当たってた。授業でやったことそのまま。石井先生が5月くらい言ってたことが、そのまま出たりもして、それをそのまま言えました。授業中にボロツとおっしゃって



たことが、そのまま出たり。みんなが応えた答えを最後に石井先生がまとめてくれるので、それをアレンジして自分用に作り替えていました。杏林は圧迫で、岩手医科では、そっぽ向いてた面接官がいたんですけど、じっと見つめて話し続けると、熱心に聞いてくれるようになりました。聖マリはみんな優しくて逆に怖かったです。

#### 最後に、今年の受験生に一言。

浪人時代は自分に厳しくやると決めてたことがよかったので、皆さんもそうしてほしい。最後は自分次第。でも、この3月は泣いてたんですよ。東医の補欠が回ってこなくて。それで母に「聖マリで上位とりなさい」って言われて、吹っ切れた。医学部はどんなに頑張っても第一志望に受からないこともあると思う。でも、やるしかない。だから、ただいだけじゃだめ。代官山 MEDICAL ほど恵まれた環境はないんだから、それをうまく「使って」ほしい。石井先生や、他のすべての先生、事務の方にできるだけ相談して、自分を高めていくことが大切だと思います。頑張ってください。

卒業生が語る

## 合格への軌跡 2016年

WAY TO SUCCESS

杏林大医学部 2次正規合格  
埼玉医科大 2次正規合格(前期)  
金沢医科大 2次合格

困難は、とにかく勉強することで  
乗り越えていきました。

杏林大医学部進学 今井ゆうかさん(茨城高校卒)



## 大学生活はどうか？

杏林大学医学部には、**代官山 MEDICAL** の同級生は8人います。百瀬君、津田君、大槻君、富田君、濱田君、女の子は新藤さん、山内さんです。みんなにはよく会います。授業は大教室で、皆同じです。外国語が小教室で。第二外国語はフランス語と中国語ですけど、とってません。英語は入試の点数とテストで4クラスに分けられて、私はBクラス。なんか成績とは関係ないみたい。Aクラスは先生がネイティブなんで、日本語がわからないんで、帰国の人が活躍するらしいです。大学は、チョー楽しいです。バレー部に入りました。週3回、練習です。杏林はのんびりした雰囲気です。派手じゃなくて。東医の新歓なんか派手でお金かけて、バーを貸し切ったり、屋形船でやったりするらしいんですが、うちらはガストとかサイゼリアとかで、和みます(笑)。

## 代官山 MEDICAL に通い始めたのはいつから？

高3の12月からです。推薦がだめで、焦って、マンツーマンとかとって、結局、間に合わなくて、そのまま本科に入りました。最初はA4でした。自分ではできないとわかってたんで、妥当なクラスかなと。勉強してなかったんで、勉強さえすれば伸びるという自信がありました。事務の方にはいろいろ相談しました。もう過呼吸にもなって。いろいろ話できて、はき出せたからよかった。2回目のマンスリーで、2号館行けなくて、ライバルが行けて、もうどうしようもなく、家帰っても泣きながら吐いちゃって。それで「泣



きながら吐く」を調べると、初期の鬱症状って出たんで、なんかおもしろい動画見ようと。笑ってどうにかしました。逆にそこで2号館に行けなかったからこそ、がんばれました。もうこれ以上できないとおもっていたけど、まだまだ頑張れて、もっとやった。行けなかったから、逆によかったかもしれません。

## 成績はいつぐらいから安定した？

夏の河合の模試で英語が69、数学が10UPして60で、理科はどちらも20伸びて、それからは、まあ、うまくいったかな。でも、先生たちは褒めてくれなくて、まぐれまぐれって。褒めると調子にのる人だからと思われていて。実際、そう。平野先生なんか、「これは奇跡、おまえじゃない」とか。最後の模試なんか、68で、東大行く人たちよりとれてたらしくて、「これはおまえじゃない、気にするな、勉強しろ」だって。ひどいですよね。平パン大好きなんです。数学はマジ、平パンで、マンツーマンと取ってました。とにかくけなされて、けなされて、負けなと思って、ぐっーと伸びた。ダメなところをズバツと伝えてくれて、本当によかった。生物は緒方先生が図説丸暗記と言われたんで、いつでも図説見てました。春からマンツーマンとってて、1学期、2学期と続けました。

## 時間の使い方とか切り替えはどうしてた。

朝を利用してた。日曜日に全部やって。切り替えをうまくやってた。リフレッシュはお風呂に塩入れて、浄化とかやってた(笑)。アロマに岩塩入れて。寝る前に家族に電話して、家族は何も言わなくて、それもよかった。こっちが言いたいことをガツーと言って、聞いてくれるだけ。何もあれこれ、言ってこないんですよ。わかってくれてるなあ。本当に感謝しています。

## 代官山 MEDICAL は楽しかった？

楽しいとは違う。楽しさというのとは違う。ベクトルが違うというか。けど、今振り返れば、この1年間、本当にキラキラしていた。本当に充実した1年だった。事務の人がつらいときに、クラスとか余計なことを考えるのは、集中してないからだっていつてくれたりして。それで、切り替えて、次こそは、2号館に行こうと目標を立てて頑張った。

## マンスリーとか、ウィークリーとかは、どうでした。

復習してました。ウィークリーはクラスごとに問題が違うから、ランキングに載るチャンスがあって、それで2位になって、本当にウィークリーを頑張っ



て、それがよかった。マンスリーはすぐには結果に出ないんで、最後は載るようになったんで。数学は少しずつ点が上がって行って、それがよかった。

## こだわりの勉強法は？

英語は写経。英語の構造をつかむのは意味ないと思っていたんですけど、石井先生のθの写経を毎日やってて、構造とかもわかるようになって、それがよかった。数学はうっかりがひどかったんで、薄先生から「うっかりミス・シート」をもらって、「早とちり・足し算引き算のミス・訳のわかんないミス…」とか、それを使って自分のミスをチェックしていくと、こういうところでミスするかが自覚できて、それからミスが少なくなった。理科は間違った問題に付箋貼って、それを図説に一問一答のメモして、いつも見ていく。絶対大丈夫なら、はがしていく。図説はみんながびっくりするぐらい、ポロポロになって。化学はテキストだけで他にセミナーやってました。春に重要問題集2回やって、それでわからないことがどこか自覚して、基本的なところをもう一度セミナーを解いて、あと板書のノートを拡大カラーコピーとって、それを髪乾かしながらかいたり、隙間時間で暗記してました。拡大すると簡単に見えるんですよ。予習は空き時間を割り振って、前日にやってました。あまりきちきちにやるとできなくなるんで。時間割の余白に、今週やりたいことを書き込んで、できたら消して行って。

## 計画は達成してましたか？

無理にでもやってた。日曜日が大切。日曜日に来ない人なんで信じられない。日曜日に総ざらいをして

た。7時半にきて、6時まで代官山でやって、そのあと寮で11時までやってた。負けず嫌いで、それにみんなそうだから切磋琢磨できた。友達じゃなくて、よきライバルを見つけるのが大切だと思う。私の場合、石黒さん(東邦大医学部進学)とか。

## 現役と浪人時代の違いは。

180度変わった。熱意とか、頑張りとか全く違う。高校は一夜づけていいじゃんとおもってたけど、どうせやるんならと、死ぬ気でやろうと心を入れ変えた。コツコツ型にして、もう全力でやった。

## 印象に残っていることは。

**代官山 MEDICAL** の思い出の先生は、平野先生。平野先生にお尻たたかれて、怒られたから、受かったとおもう。「悩む前にやれよ」とか、「落ち込んでる場合じゃないっしょ」って。先生は生徒に合わせて、対応してくれて、本当に私のことを考えてくれてた。伸ばそうと色々言ってくれた。石井先生は神。もう心読めてるんじゃないかって。ちょっとクラス上がって、気がゆるんだときがあったんです。そのとき、石井先生が授業中に「大丈夫ですか、今井さん」って。なんでわかんなくて。先生は、生徒一人一人を受からせようとしてて、愛を感じました。メンタルの面で本当に救われました。

## 現受験生にメッセージとして、これだけはやろうと言うことがあれば。

自分の限界を突破すれば、絶対に緊張しない。ここまでやったんだから、もういいと思えた。そしたら、ほんとう、悟ったという感じで、まったく緊張しなかった。全力でぎりぎりまだやると言うことを伝えたいです。ぎりぎりまで頑張ってください。英語は写経が本当によかった。Aクラスのときは、いつも2号館に行くことを考えて勉強してた。もちろん、本館もいいし、本館でも受かるんだけど、2号館に行く目標を持つのがいいと思う。実際、行くとやっぱりよかった。みんな最上位の大学を目指しているし、やる気が違った。



卒業生が語る

# 合格への軌跡 2016年

WAY TO SUCCESS



**東京女子医科大学進学**  
**中澤菜月さん**  
**(山梨学院大学付属高校卒)**

|         |      |
|---------|------|
| 東京女子医科大 | 2次合格 |
| 杏林大医学部  | 2次合格 |
| 北里大医学部  | 2次合格 |
| 金沢医科大   | 2次合格 |



**杏林大医学部進学**  
**新藤夏帆さん**  
**(都立青山高校卒)**

|            |            |
|------------|------------|
| 杏林大医学部     | 2次合格       |
| 日本大医学部     | 2次正規合格     |
| 帝京大医学部     | 合格         |
| 埼玉医科大      | 2次正規合格(前期) |
| 愛知医科大      | 2次合格       |
| 岩手医科大      | 2次正規合格     |
| 藤田保健衛生大医学部 | 2次正規合格(前期) |



**杏林大医学部進学**  
**山内優美さん**  
**(秀明高校卒)**

|            |        |
|------------|--------|
| 杏林大医学部     | 2次正規合格 |
| 藤田保健衛生大医学部 | 2次正規合格 |



## 進学先を教えてください。

新藤：杏林大医学部に進学しました。

山内：同じく杏林大医学部です。

中澤：東京女子医科大です。

## 今日は授業はあったの？

新藤：5時15分までは授業があつて、今週から実習が始まります。これから7週間です。

山内：物理の授業がエグイ。予習が大変なんです。日大の友人なんかから聞くと、まだ杏林の方がましかなと。

新藤：まあ鉛筆もつ時間へったし(笑)。

中澤：うちらは、カエルの解剖とかやった。ここ、もつと切んなきゃとか。

新藤：授業で金髪の男子が教授に怒鳴られていた。病院近いし。医師としてのマナーを守れて、厳しい。まあ軽めの茶髪はいいみたいですけど(笑)。

## 将来像は？

新藤：二つ考えています。一つは父が総合診療やっているので、地域に寄り添った地域医療に興味があります。もう一つは、在学時に海外に行ってみたいな、と。将来働くかはわからないけど、海外で医療に従事することも視野に入れています。杏林の留学制度は2ヶ月ぐらいで、5・6年次にあると思います。それを利用したいと思っています。

中澤：産婦人科医になりたいと思ってます。祖父が産婦人科医をやつて、その影響が大きいです。女性の医師として、女性の抱える悩みを心から打ち解けて相談してもらえる女医さんになりたいと思っています。産婦人科はすごく大変で減ってきていて、それにも応えたいなと思います。おじさんも産婦人科医なんですけどお産はやってなくて人工授精なんかをやっているんです。でも、私は命の誕生に出会えるお産、一緒に感動を味わえる体験のできる産婦人科医に進みたいと思っています。

新藤：病院実習で私、産婦人科に行った。双子の帝王切開や、自然分娩とか立ち会わせてもらいました。本当、お母さん、尊敬。

山内：私は杏林大で救急医になりたいと思っています。東日本大震災のとき、救急医が治療だけでなく、心のケアも行っている姿をメディアなんかで見て、本当に素晴らしいなと思ったからです。杏林大は救急医の養成に力を入れているので頑張ろうと思っています。

## 大学は楽しいですか？

一同：メツチャ楽しいです。

山内：サークルは硬式テニス。

中澤：ゴルフ部とダンス部。

新藤：水泳部とESS。留学するときに少し有利らしくて。留学生のお世話とかするらしいです。水泳は練習大変です。一日3キロ泳ぐんですけど、今はまだ体力なくて、2キロぐらい。先輩たちはみんな尊敬できる人たちで。

看護の人たちとも分け隔てなく、先輩も6年生も合宿とか来てくださって。本当に楽しいです。

中澤：ダンスは実質、9月からで。バレエをずっとやってたんで、先輩からも勧められて。ヒップホップとかジャズダンス系とかやります。ゴルフはおばあちゃんがうまくて、絶対入ってって。でも、全然当たらずで(笑)。

山内：テニス部は12人入って、女子が7人で、私だけが初心者で、私用のメニューを先輩が作ってくれて、先輩たち本当に優しく、先輩後輩ほんとうに分け隔てなく仲良くて。楽しいです。部活に入っていない人でも、ご飯に誘ってくれたり。

(杏林は**代官山 MEDICAL**の先輩、多いよね?)

山内：須長さん。佐藤遼さん。松田先輩。君塚さんとか他にも。君塚さんは秀明の先輩でもあるんです。

## 授業は？

中澤：女子医では、物理はゴールデンウィーク前に終わった。ベーシック生物は物理選択の人は大変。

山内：杏林の英語は四段階のABCDに分かれて。テストと希望で決まるんですけど、私、Dなんです。しかもクラス女子3人だけで。でも、映画見るだけなんです。めっちゃ楽ですよ。「プラダを来た悪魔」とか。普通に寝てます。

中澤：見ろよ(笑)。

新藤：井の頭キャンパスができて、きれいなんです。授業はディスカッションが多い。他学部の人と一緒に。総合政策から1人、外国学部から1人、法学部から1人、医学部から1人出て、今年からなんです。[プレチュートリアル]とかあって、私のグループはみんな真面目だから、ディスカッションは盛り上がり充実した時間になっています。



中澤：女子医の英語は1週間に2コマで、1コマがネイティブで、もう1人は日本人で。でも日本語禁止で。ネイティブはSpeaking中心で、自己紹介とかまあ難しいです。日本人の先生は教科書を進めて行く感じで、時事的なニュースとか扱っています。

## 代官山 MEDICAL の授業はどうでした？ 楽しかったこと、辛かったことは？

山内：1浪目よりは2浪目の方がずっと勉強してた。1浪目はYMSに行ってたんですけど、ほったらかしで、でも**代官山 MEDICAL**ではテキストだけやれば、絶対、力がつくじゃないですか。先生から「これだけやれば絶対伸びるよ」って言われて、本当に伸びて、**代官山 MEDICAL**に来てよかったと感謝してます。

中澤：現役の時は、山梨という地方のせいもあるんでしょうけど、なにをやればいいのかわかんなくて。特に私立の医学部情報とか皆無。で、浪人して**代官山 MEDICAL**にきて、もう情報量が全く違ったし、先生たちのサポートもしっかりしてて、友達も朝から勉強を競って、本当に環境がよかった。**代官山 MEDICAL**は医学部合格者が多いじゃないですか〜、だから、他の大学とも人脈ができて、ほんとう大学に来てからも**代官山 MEDICAL**でよかったなあと考えてます。本当、**代官山 MEDICAL**に来てよかったです！(笑)

新藤：高校3年生の後半からお世話になりました。高2の時は、10ヶ月ぐらいアメリカに留学してたんです。それで、もう高校の時は全然勉強してなくて、クラスで最下位ぐらい。本当にゼロからの出発でした。結局、合格まで2年かかりましたけど、本当にゼロからの出発だったんで、合格できて感謝しています。だから、今、下位のクラスにいる人とか、全然できないと思っている人とか、思うような結果が出てない人とかに言いたいです。先生たちのおっしゃったことを素直に聞いて、今日やったことはその日に覚えて、復習して、次の日には前日の自分よりも進歩しているということを日々実感していけばいい。その生活を淡々と繰り返せば、受かるんだなとわかったんで。ここで、勉強のリズムを作れば、絶対に伸びます。秋からは仲間と、このメンバーと畑君(昭和太医学部進学)とかと朝のゼロ時間に過去問の解き合いをやってました。今でもその仲間とは会いたくなります。受験だけで終わらない仲間ができたと思います。本当、**代官山 MEDICAL**に来てよかったなあと考えてます。

## 代官山 MEDICAL での勉強法は？

山内：1浪の時は、復習がその日にできなかったけど、今度はその日のうちにレビューや夜間で絶対復習しようとしていました。その代わり、家では勉強しないと決めました。テレビ見たりして。そのかわり、ドライヤーかけているときに、単語覚えたりしてた。

中澤：数学が本当に苦手だったので、その日の夜間指導で復習してた。私は家で勉強したいというタイプだったから、家でもやってた。生物なんか資料集なんかコピーしてトイレとか貼って覚えていた。



たから、家でもやってた。生物なんか資料集なんかコピーしてトイレとか貼って覚えていた。

新藤：私は寝ないダメな人だから、7時間は睡眠ほしいので、でも4時間ぐらいになってたことも多かったかな。家では母といろいろしゃべってストレス解消していた。食事はちゃんと三食とったほうがいい。優先順位つけて、できないものはできないとわききって、昨日よりは今日をと思って頑張ってた。私も自分でまとめたノートのコピーをトイレに貼ってた。今もあるんですけど、そろそろはがさない。移動時間は長文を読んだ。

山内：友達に恵まれた。同じ方向を向いている人がいるから頑張れた。試験の最中とか、みんなで励まし合って、人がネガティブになっているとこつちが励まして、むりやりポジティブになれた。私なんか、最初の四つの大学がだめで、それで杏林に挑んだから、もうメンタルボロボロで、でもそれでもできたんで、それからその後は調子よくいった。

新藤：ライバルを作って、吉田匠君(日本医科大進学)に勝つぞって。でも一回も勝てなかったけど、がんばれた。

山内：私も数学だめで。薄先生の授業に感動してできるようになった。

新藤：中村先生にも初めから教えてもらった。化学は三上先生のマンツールでお世話になった。本当にお世話になった。松永先生の授業もおもしろくて。先生に言われると覚えられて。マンツールマン取ってよかったと思うのは、入試に向けていろいろとアドバイスしてくれたり、それにこつちも応えようとして、ほんとうによかった。日常生活から化学の話をしてくれたんで。先生が話してくれたことがそのまま入試に出るんですよ。



中澤：緒方先生にお世話になった。基礎的なこともやさしく答えてくれるんで、質問しやすい。会ったときも「あれ、わかった」とか、言ってくれて。

山内：緒方先生いなかったら、生物死んでた。2浪のときも英語数学ばかりで、生物やってなかったけど、二学期でガッツとやった。「やれるでしょ」の一言でがんばれた。

新藤：先生の一言とか大きいよね。薄先生とか「新藤、受からなかったら、だれが受かるの」とか言ってくれて、安心できた。朝岡先生とか、「おまえ落ちたら坊主になるから」とか言われて。

中澤：東医の推薦も受けたんですけど、現役の時、落ちたときの落ち込みがひどかったんで、もう今回は「落ちて当たり前」でやってたから、メンタルは大丈夫だった。物理、趣味でやってますって言ってた(笑)。

新藤：2浪はもうこれで落ちたらしょうがないぐらいやったんで、メンタルは大丈夫だった。愛知から始めて、ずっと受けてた。やっぱり、年内に完成させることが大切。早めに完成するのが大切。先生と相談して、マンツーマンで完成させた。

山内：そう冬なんかマンツーマンでバンバンに埋めてた。

中澤：そう夏で後悔して冬にマンツーマン入れた。

新藤：マンツーマンいれなかったら、結局、だらだらする。授業なかったら、自習室にずっといるわけだから、結局はできない。先生と相談して、この時間はこれやりたいんですけどどうですかって、相談してた。

### 代官山 MEDICAL で伸びた科目は？

一同：全部伸びた(笑)。

山内：特に数学が伸びた。1学期のテキストが大事。絶対伸びる。

中澤：数学と生物。後からじゃ間に合わない。前期のテキストをやり直すのが大切ですね。

新藤：スタンダードを繰り返せば、それで合格する。応用できないと受からないじゃなくて、基礎できないと絶対受からない。

中澤：女子医、本当に行きたくて、平野先生によく言ってて、数学は数学オリンピックやっている人が作ってるらしくて、良問が多くて、過去問を解くのも役に立った。

新藤：持丸君(埼玉医科大進学)も解いてた(笑)。

### 石井先生の授業はどうでした？

山内：私は、石井先生の授業ははじめてから毎回、一番前で受けてた。本当にためになった。

新藤：私はどこに座っても当てられた。和訳、絶対来るから。英作だったら、何点とかって言うてくださって、嬉しいじゃないですか、石井先生に褒められると、自信になった。

中澤：自信満々の顔していると、逆に当てられなかったり(笑)。

### 後輩に向けて、これだけはやっておけとかありますか？

中澤：高校の時って、先生に質問に行くっていう習慣がなかったんです。何を質問にしていかわかんないし。でも代官山 MEDICAL に来て、ああ質問にいけないなと思ってたんですけど、一回行ってみて、本当に丁寧に答えてくれて、見えてないところも見えてきて、本当によかった。代官山 MEDICAL だと規則正しい生活ができるんで、それを守れば絶対伸びると思う。

新藤：私は基礎が大切ということを言いたい。夏までにやる。ちょっと不安なことがあれば、それをやりなす。先生に言われたことは素直にやる。疑うこともあると思うんだけど、それはやめた方がいい。真っ白な人はすーと入ってくるんだけど、ちょっとできると我流でやりたがるけど、危ない。やっぱり先生の言うことを素直に聞くのがいい。伸びている人はそういう人だよ。

山内：受験は辛くて、嫌と思うときあると思うんですけど、それは受験の間だけ。今、辛くてしゃべったりして、ごまかしている人いると思うんだけど、受験の間だけなんだから、今辛くても、やる。本当、人生かかっているんで、ここが大切なときだからと思って頑張ってたほしい。

中澤：医師になりたいという思いがしっかりしてないときついと思う。そこを忘れないでほしい。

新藤：他学部の友人とか、楽しそうでうらやましくなるときもあると思うんですけど、医師になるという職業選択が早く来ているだけなんで、大変なのは当たり前。くじけずに頑張ってたほしい。先生方の言うことさえ聞いていれば、絶対、成績は伸びるんで。



## 卒業生が語る 合格への 軌跡 2016年 WAY TO SUCCESS

埼玉医科大 2次合格(前期)  
金沢医科大 2次合格

全クラス中、一番下からスタート。  
勤勉に過ごした結果、合格！

埼玉医科大進学 持丸浩太郎君(獨協高校卒)



## 大学、どうですか。

入学式から一週間は友達できるかなってブルーでしたけど、部活は行ってメッチャ楽しいです。アメフト部に入りました。高校は歴史研究部ですから。だいぶ跳ねました。アメフト大好きになりました。今、太れって、言われてて。飯バカス力食ってます。予備校時代は、コイチのカレー 400グラムが限界でしたけど、この前、700行けて。食えました(笑)。1回2時間ぐらいで、週3回練習してます。

## 代官山 MEDICAL の同級生は？

メッチャ多いです。えーと。林泰輔、林将平、内野君、三好君、小川さん、高沢さん、斉藤チナ。全部で9人。多くてやりやすかったです。林泰輔もアメフトで同じ部で、今、一番仲いいです。三好はフットサル部と軽音部で、軽い方に流れました(笑)。

## 代官山 MEDICAL の生活は辛かった？楽しかった？

んー、どっちもですね。辛かったけど、楽しかった。勉強しているときは、辛かったけど、成績が上がったり、クラスが上がったりすると、それを上回る喜びがありました。

## 現役の時は？

勉強しなかったです。予備校も行っていなかったし。全然やってなかった。それでも1浪で受かったんですから。母親がいろいろ調べてくれて、先輩の紹介もあって、**代官山 MEDICAL** に決めました。

## 4 月はどうでした？

最初は慣れなくて、朝も早くこれず。未だに覚えているのが、最初のクラス分け試験で、8階に自分の時間割なんかをもらいにいって、A10クラスの時間割の色が灰色だったんですよ。他のクラスは紫とかオレンジとかカラフルなんですよ。ああ、これが一番下のクラスかと。衝撃でした。下のクラスは色も灰色かぁーと(笑)。最初の石井先生の授業も衝撃でした。朝早く来なさいみたいな勉強態度の話だったんですけど、もうその通りしようと決意しました。

## B コースだったよね。

### 1学期のマンツーマンはどれぐらいとってたっけ？

かなり入れました。家の人も、できないんだから、最初にできるだけ詰め込めって言ってくれて。週5つ入れてました。正直きつかったけど、僕みたいに全くできない人はマンツーマンでパンパンにするのもいいと思うんです。でも、ある程度、やり方がわかっている人は、もう少し絞った方がいいと思います。

## 朝、来られるようになってから、勉強は変わりましたか？

最初は何も決めずにやり残したののやってて、だんだん何曜日には何と決めるようにしてました。夏期とかは復習できてないものを朝やってというふうに臨機応変にしました。

## Weekly とか Monthly はどうでした？

正直、1学期は Weekly はさぼってました。やばいんですが。解き直しだけはやってました。2学期になるとわかってくるんで、授業の復習さえ完全にすれば、*Weekly* 対策になるんで、それで復習を完璧にしようとしてました。マンスリーは対策のしようがないんで、復習を大切にしていました。

## 坊主にしたのいつだっけ？

4月にしたんですけど、これは、気合いとかじゃないんです。寝癖がひどくて、時間がもったいなくて、いらぬ時間だと。無駄時間をなくそうとしたんです。お勧めしたいですよ。医学部受験生はみんな丸坊主だと(笑)。人生の中で、1年ぐらい丸坊主でもいい。

## 最初に伸びた科目は？

生物です。生物は夏前にランキングにのって。英語と数学は徐々に伸びていきました。化学がなかなか伸びませんでしたね。科学は第1回目のマンスリーが3点だったんですよ。100点満点で、ですよ(笑)。夏過ぎて、秋ぐらいにドンと伸びました。

## やっても伸びなくて悩んだときはあった？

悩んだときはなかったです。やる気がなくなることにはなかった。夏やっても伸びなかったんです。でも、これは夏に、小島としゃべりすぎたという原因がわかっていたんで、秋以降は、しゃべらずに集中した。高め合う関係を作ることが大切だと思います。

## マンツーマンは誰先生だったっけ？

1学期は数学が高橋典先生、生物が緒方先生、化学が節田先生、英語が朝岡先生、今考えると、そうそうたるメンバーなんです。オールスターってやつです。

1学期はへーって、やってましたけど。2学期以降は緒方先生がとれなくて…残念。節田先生は大好きです。ツンデレなんですよ。厳しいんですけど、いい成績とれると喜んでくれるんですよ。あの「3点の持丸君がいまや偏差値63です」とか。本当にわかりやすいんですよ。おもしろくて。いじってくれて。先生方はやってこない人、努力しない人に厳しかったですよね。数学はいろんな先生にお世話になりました。五十嵐先生、長澤先生、力丸先生、お勧めですね。英語は朝岡先生の他、岩瀬先生、高橋阿里先生。全

然わからないときに、朝岡先生が丁寧に教えてくれて、次に岩瀬先生が覚えるべき文法を渡してくれて、最後に高橋先生に長文を多量に読まされて、できるようになりました。石井先生の英語はもう空気が違いますから。ピシツとして、一番あててほしくないときに、「はい持丸君」と。えーっ、なんでここ、と(笑)。石井先生の一言一言を大切にしました。1回目の石井先生のお話で、人間が変わった気がしましたね。7時半に来ることを守りましたから。

## 面接対策は？

石井先生がやってくれたんですけど、**代官山 MEDICAL** の面接対策はよかったですね。他の人の答え方を聞いて、それを自分の答え方に取り入れたりしました。

**代官山 MEDICAL** で本当に変わりました。1年間努力して、成績が上がることを知ったことが一番よかった。成績が上がるという体験をしたのは、初めてなんです。自信ができました。どんなにできなくても努力すればできるようになると知ったことは大きい。だから、こんども、やったことのないアメフト部に入ったんですよ。やればできるようになるって知ってますからね。

## 友達関係は？

自習中にコンビニ行こうぜ、なんて言ってくる友達は断る。「勉強しているときはやめてくれ」と言ってる。逆に、休み時間は、「一緒に行こうぜ」とか言ったり。勉強にとってよい関係というのをお互いに作っていくのが、一番に考えるのがいい。まあ、友達は予備校では一人いればいいんじゃないかな。一人きりでの勉強は無理なんで。石井先生が授業中に言ったた



んですけど、この予備校で今は友達になったとしても友達とは言えないよ。受かって偶然一緒の大学にいった友達と真の友達になれるんだよ。って言われて、その時仲よかった友達の事大好きだったんで意味を理解できなかったんですけど、結局その時ほとんど喋ったことなかった座談会の時に隣に座った林泰輔とすごく仲良くなって、今は、結果石井先生がおっしゃってたことが理解できた。ここで友達ができたりとかして今は楽しかったりするかもしれないけど友達というより話し相手くらいという関係性にして、今はやるべき事をきちんとやって、大学に合格したら真の友達を見つけて欲しいなあと思います。

## これだけはやった方がいいという勉強法はありますか？最後は何クラスでしたか？

最後はA3でした。A10からスタートして(笑)。2号館も目指しました。目標は高く持つことがいいと思う。何より、二学期前までに理科学科目を完成させる。理科が足を引っ張るならどこも通らないと思う。覚えて覚えて覚えまくれば、大丈夫。特に中堅を狙っている人は基本を覚える。マンスリーテストは毎回、やり直す。現実を受け止めて、反省して、改善策を考える。時間が足りなかったら、どこで時間がかかって、どうすればよいかを考える。

上のクラスの人たちは、上の方の大学でしか出ないようなマニアックなこともやらなくてはいけなくて、それも覚えるのって本当に大変だと思うのですが、基本的なことができていないのは本末転倒だと思うので、大変だとは思いますが、基本的なことからマニアックなことまで全てを網羅してもらいたいと思う。基本に穴があると、バカにしていたような大学にも受からなくなると思います。やり始めたことを、すぐ方法変えたり、こんなの出ないから無駄じゃんとか、中途半端に辞めたりしないで、決めた方法をひとつに絞ってちゃんとやり遂げた方がいいと思う。最後は体力と精神力。

## 最後に、下の方のクラスの人が合格するために必要なことはなんでしょう？

自己流をやめることですかね。先生の言うことを素直に聞くこと。朝、早く来て、当たり前のことを一生懸命やることです。別に朝5時に起きろとか言ってるじゃないんで。下のクラスのままだと、落ちるんで。恵まれた環境にいるんだから、**代官山 MEDICAL** って、本当に滅茶苦茶いい環境じゃないですか。他の予備校に言った友達とかにも聞くんですけど、全然違うんですよ。本当、親とかに感謝しています。



卒業生が語る

合格への  
軌跡 2016年

WAY TO SUCCESS

埼玉医科大

2次合格(後期)

自分の時間を大切に！  
をモットーに勉強は  
できるだけ一人でやりました。

埼玉医科大進学 高沢理沙さん(水城高校卒)

代官山 MEDICAL に来るまでは  
何をしていましたか？

都の公務員試験に合格して都職で栄養士卒で、荒川区立第5中学校という都立の中学校に派遣されてそこで3年間給食作ってたんですけど、2年目の後半くらいに、ちょっと退職して医学部もう一回挑戦したいって親とその職場の上司に相談して準備を始めました。退職する準備をして、年明けの1月くらいからこのマンツーマンにこらせていただいていたって、数英理2科目をとってました。

医学部は、高校の受験の時にチャレンジはしたんですけど、いわゆる一番ダメな生徒のタイプで、赤本を当日まで全く見ていなかったっていうタイプの…絶対に落ちるのになぜか受けに来ているやつ卒の人間でした。判定もDとかEとか。かすりもしない状態でした。

## 大学の授業で大変なのは何ですか？

カリキュラムが今年から変わったんです。昔は6限目なかったのが今は週3回6限まである。代官山 MEDICAL で鍛えられたので、時間的拘束は大丈夫なんですけど、物理が全然わからなくてどうするんだこれ？って感じです。あと、カリキュラム変更で前倒しに成る部分もあって、短期間にめちゃくちゃやらなくちゃいけないことが多い。私は大学で一度論文を書くことを経験しているんですけど、それ以外の学生は、国語的なユニットで一から論文作れっていうのは難しいだろうなあって思います。

今、大学の授業は、大人数に向けて話す授業だから、淡々と自分で気をつけなければいけない事をマーカーで拾う作業が続くので、授業時間は代官山 MEDICAL より20分くらい短いのに辛いんですよね。代官山 MEDICAL の少人数授業は、分かりやすいし丁寧だったなあと改めて感じます。

## 代官山 MEDICAL はどうでしたか？

代官山 MEDICAL に選んだのも、ある程度開放感があって、先生にも色々質問しやすい環境で、でもやっぱり時間もきっちり守ってっていうのがすごくあったので、これくらい制約をしてもらわないと、多分逃げるタイプなので私にとっては相性が良かったです。パンフレット色々読んだんですけど受験合格率とかを一番まともに話してたのはここだけだったので、ここに来ました。

高校の時から、頻繁に先生に質問とかも行けるタイプでしたけど、ここの方が聞きに行った回数が多いです。まず自分でもある程度やってみないとどこをどう聞いていいかわからない時があったから、ある程度詰めて煮詰めてから本当にわからないってなってから行っていました。

この塾が他の塾と違うっていうのは授業中でも先生の説明の合間にぱっと手を挙げて質問ができたのが一番良かった。周りがなんでこいつ質問してるん

だっていう空気が全くなかったんで、そういう意味ではすごい画期的だなって思った。

それまで授業を受けたことのない先生でも聞けば教えてくれたり受験会場に先生持参で行きたいと毎回思いましたが、結局そんなことは不可能で、自分自信との戦いですよね。成績がどんどん伸びていくのを感じられて、もちろん辛い時もあったけど良かったです。でも、実際五反田の試験会場に応援しに来てくれた先生もいましたね。山室先生とか。

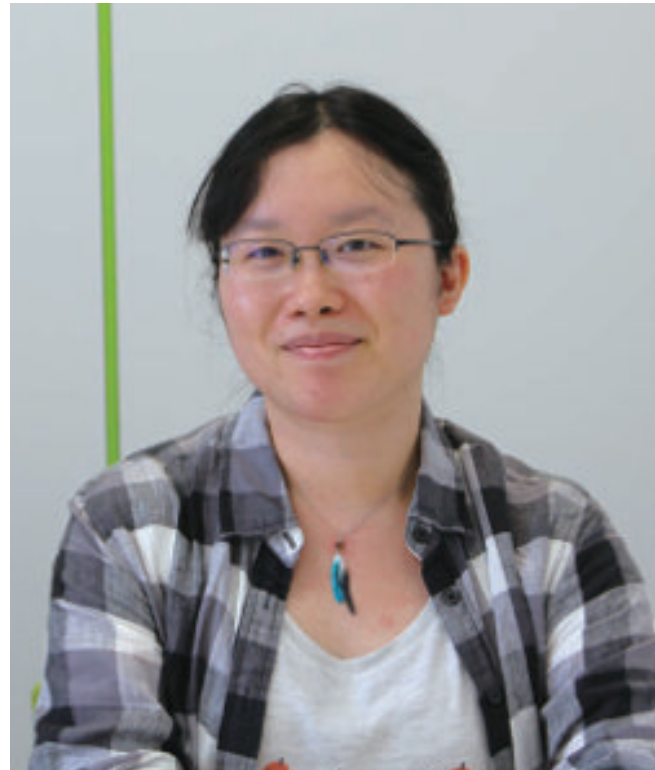
## 印象に残っている先生はいますか？

いろんな先生にお世話になっているけど、英語で印象に残っているのが石井先生。石井先生の授業は、事前に読んでおかなければ全く対応できないし、事前に読んでおけば自分の解釈違いに気づけた。それを定着していったらだんだんわかるようになったし、石井先生のこれ大事だよ。の部分聞きに行けばだいたい教えてもらえて、英語の文全体をどう見るかどう読むかなどすべての構文ということに関しては全て石井先生に教えてもらったようなものだと思う。他に英語に関しては、単語、文法は岩瀬先生。特殊な動詞は田村先生など教えてもらう先生をすみ分けしていた。

この先生たちは少人数なので、生徒の全体を結構把握していて、ランキングで成績が良かったりすると、下のクラスの子の名前を上のクラスで言ってくれたりして、刺激になったりしたし生徒のやる気を出させるのうまいなあと思った。







### マンスリーテストとか 校内テストはどうでしたか？

私は生物が底辺からランキングが最終的には1位まで上がった。  
化学が低くて一桁点だったんですけど、一応最後の最後にマンスリーでも50ちょっと～60点には行くようになった。上に上がる喜びっていうのを得られればすごく楽しくなりました。

### 隙間時間の活用や集中力の持続は どうしてましたか？

私は空いてる時は、最初単語帳をパラパラやっていたんですけど、量がすごすぎてWIZだけに絞ってパラパラ見ていました。得意な生物とかは、授業の合間合間にやっていました。  
私せっかく自習室をあてがってもらったのに、自習室で一人でガリガリやってるとどうすると寝ちゃうんで、途中から必ずラウンジか空き教室に行くか、空いてる時間は少しやったら下の先生にいかどうか確認して、聞きにくくようにして、人と触れ合うようにして起きるという工夫をしてました。さすがに最後の方は、そんなこと考えずに起きてましたけど…。自習室ではよくいろんなスタッフの人に起こしてもらってました。あとトイレに行ったり動いて、ちょっと歩くと目がさめるから。  
高校の時にビデオ式の授業の東進ハイスクール行ってたんですけど、私は生身の先生、生身の人間とこう話してないとどうも集中力続かないみたいで、実際にここで一人で自習してる時も思ったんですけど、誰かしら前にいてこう時々相談できる状態じゃないと集中力が続かないので、ビデオ式が無理でしたね。

### 勉強法とか授業選択に アドバイスありますか？

得意な科目とか伸ばしたい科目はマンツーマンをつけるのであればお気に入りの先生を見つけた方がいいと思います。  
馴れ合いじゃなくて、本当に質問がしやすく自分の性格とその先生の勉強方針が合ってる先生を見つければ、多分すごい伸びると思います。私は石原先生に見ていただいてすごい伸びましたので。生物自体が女子栄養大学に通っていたので割と入りやすかったです。でも、自分の高校生の時と内容が随分変わっていたので、プリントを先生からもらってひたすらやってました。苦手ですって言ったらそしとかやらないとかしていました。  
マンツーマンでは、小テストを毎回やってもらってました。それをやると勉強にハリが出るのと復習もやろうという気になりました。  
数学だと、薄先生は公式を使わずに、まずこうやって考えてというのを教えてくれて、その後、それを公式に当てはめてくれるので覚えることができた。公式を丸覚えだとすぐ忘れちゃうからそれは、余力がある限り「なんで？ どうして？」って疑問を持って、理解しながら進めていったほうがいいと思う。  
勉強の仕方では、それぞれあると思うんですけど、セミナーの使い方を柳先生に教えてもらって、そのやり方でやってました。問題の基本問題とか基礎問題には手をつけずプロセスをやって、用語を覚えたら基礎問題をやって、基礎問題をやり尽くしてもう大丈夫と思ったら発展問題に進んでいた。発展問題は難しいイメージなんで基礎が出来てなければ進むのは抵抗があるんですけど、赤本が発展レベルなんでわからないことは先生に質問してやっていました。  
上の方のクラスに行けば行くほどいろんな問題に触れることができるようになるから、是非上の方のクラスを目指して欲しい。下のクラスでいいと思っていれば、学ぶチャンスが減ります。

### メンタルはどうやって保ってましたか？

ちょっと落ち込むことは、たまにありましたが、激しい落ち込みもなくやっていました。ただ、受験中と言えば1月のは一次もかすりもせずで、埼玉の後期の3日前石井先生と両親と三者面談をしたんです。もう、どん底でした。両親に泣いて八つ当たりして帰ったんですけど、吹っ切れて埼玉後期受験に受かったのかな？とも思います。  
落ち込んだ時話したりして、張り合える友達はいた方がいいと思うんですけど、愚痴とか悪口ばかりになると気分が萎えてきちゃうので、授業後もこの問題どうやって解くんだろう？っていう話ができる友達がいたら、自分も伸ばせると思います。

卒業生が語る

## 合格への 軌跡 2016年

WAY TO SUCCESS

|           |      |
|-----------|------|
| 杏林大医学部    | 2次合格 |
| 聖マリアンナ医科大 | 2次合格 |
| 岩手医科大     | 2次合格 |
| 愛知医科大     | 2次合格 |
| 帝京大医学部    | 合格   |

数学と英語が苦手だったので、  
マンツーマンで徹底的にやり  
成長しました。

杏林大医学部進学 大槻幹太君(栄東高校卒)



### 医師像について聞かせて下さい。

親族に医者がありますが、俺はブラックジャックに憧れて医者を目指したので(笑)、救命救急科に進んで総合診療医になりたいです。

### 杏林大、どうですか？

杏林は代官山 *MEDICAL* 生が多い！今年の同級生だけでも8人いますね。授業も全員で受講しているので皆と毎日顔合わせます。英語はA～Dクラスまであります。部活はハンドボール部と軽音楽部を兼部してます。ハンドボール部でキーパーがいなくて俺やりますよって言っちゃったら、試合の相手が強豪でボールのスピード上げつない(笑)。野球やってたから何とかなると思ったんだけど。

### 代官山 *MEDICAL* での生活どうでしたか？

授業がびっしり入ってるから余計な事考える暇もなく、たんと勉強してました。その方がストレス溜まらないし充実する。自分の自習机もあって、同じ環境で同じ目標に向かっている人たちというから話も合うし、先生にも質問に行きやすい。最初の頃は要領がつかめないから自習時間が上手くまわなくて、授業多いうって感じてたけど、もし空き時間が多かったら、怠けてたと思うから結局良かったと思う。夏で1学期の総復習をしました。2学期はもっと忙しくなるので。俺は復習の時間を多くとってました。校内テストも夏前までランキングに全く載らなくて、でもクラスが変わったとしても自分の本来いるべき場所に行くだけだとポジティブに考えてました。テストで間違った問題の解き直しもこれ全部やったら満点とった人と同じ学力だなんて考えて、俺はこんなもんじゃない！と思ってたし、テストの点数もこれは俺の実力じゃないと思ってた。

### 科目別にはどうでしたか？

英語は栗原先生。受験英語の幅でとどまらずに熟語の成り立ちとか英語の本質から教えてくれました。豆知識とか教わると純粋に英語に興味がわくし、そこから自分で調べるようになって積極性が出てきて楽しく学べました。数学は山室先生と啓寿先生と平パン。山室先生は演習量とテクニックがすごい。裏技を成り立ちから教えてくれて、生徒側が燃えるような挑発の仕方をしてくれるからその気になって勉強してました。啓寿先生もテクニックが凄いいし授業が楽しかった。俺は数学すごく苦手だったから平パンの生徒を気にかけてくれる空気は感じてた。夏の授業で集中的に指されたけど全然答えになくて、本当にやばいよって言われて、一時期平パン恐怖症になった(笑)けど、その後も声をかけてくれてメンタルケアがすごい。石井先生は面白い！よくいじられました(笑)。授業中もよく指されました。長文の内容から派生して色



んな面白い話もはさんでくれて、スイッチの切り替えができた。80分集中できました。理科も伸びた。偏差値で言うと15～20くらい上がった。化学は節田先生の授業で習ったテキストを何度も繰り返して問題と解法全部覚えめました。先生が授業中言った詳しいこととか、実験の前提知識とか、単純に問題を解くためではなくて知っていれば解きやすくなる知識とか頭に入れて、繰り返しやってたら自分の中ですごく伸びたなあと。12月が一番伸びた。生物も知識を入れるようになって伸びてきた。理科は入試で武器として使えるまでになりました。現役時は数学ができると思い込んでそれで勝負してたけど、浪人して数学以外が伸びたから一番苦手になった。1日4教科はやるべき。例え朝の時間だけでも継続する事は大事。

### 気持ちの切り替えはどうしてしてた？

以前通ってた河合塾も環境は悪くなかったけど、先生と週1回しか会えないから聞きたいことあっても来週まで待たないといけないのがもどかしくて…、代官山 *MEDICAL* は先生がいつもいるからすぐ質問できる。個別の専用自習席をもらったときはめっちゃ感動しました。家から参考書をどさっと持ってきて並べてはしゃいでました。そこでモチベーションがすごく上がりましたね。

### テストはどうでしたか？

*WeeklyTest* は自分の苦手を探して解き直して活用してました。*MonthlyTest* の解き直しは今の自分の力で解けなきゃいけないものだけやってました。もちろん受験直前にもう一度、今度は全部解き直してましたよ。俺は井上(井上瑞木・久留米大学医学部

進学)がライバルだったから毎回どっちが順位が上がってました。全体の順位を気にするより負けたくないライバルがいました。井上は真面目で向上心が強いし、将来の目標も同じだから一緒にいて刺激されました。

### 最後に、これから受験を目指す人へ。

12～1月にかけて自分は一番伸びたので受験前だからってそわそわしたりテストの結果が出ない～って余計な事考えてる暇あるなら、今まで通りに勉強したほうが良いと思う。例えば4～5月の1ヶ月より、冬の1～2ヶ月の方が内容が濃いし、それまで結果出てなくても挽回できる時期だから心を折らずに頑張ってほしい。俺は赤本には手をつけないで今までの代官山 *MEDICAL* のテキストの復習をひたすらしてた。結果それが良かったと思います。





卒業生が語る

合格への  
軌跡 2016年

WAY TO SUCCESS

|           |        |
|-----------|--------|
| 東京医科大     | 2次正規合格 |
| 日本大医学部    | 2次正規合格 |
| 愛知医科大     | 2次正規合格 |
| 東海大医学部    | 2次合格   |
| 聖マリアンナ医科大 | 2次合格   |

忙しかったけど、  
授業をペースメーカーにして、  
完璧に予習復習した！

東京医科大進学 牧野成真君(北嶺高校卒)

## 将来の医師像について聞かせて下さい。

僕はスポーツで怪我して苦労した経験があるので、整形外科になりたいです。

## 東京医科大学はどうですか？

東医は基本クラスごとに授業を受けます。医療心理学とかは全体で受講しますね。実習が始まったら大変になりそうです。バスケ部に入部して今はボール出しとかタイマーばかりだから厳しいけど、先輩たちは優しいしなんとかやってます。

## 代官山MEDICALでの1年はどうでしたか？

授業が楽しいから頑張れました。節田先生とか薄先生とか朝岡先生とか飽きなくて凄く分かりやすかったです。1日12時間は慣れますけど最後の2時間分はやっぱり疲れましたね。化学はすごく苦手で予習しても合ってるのか分からないから授業聞いて理解して、夏で1学期の範囲は完璧に復習しました。夏は化学に時間を費やして入試では武器になりましたね。とりあえず与えられたものをしてました。1日4科目は意識してました。授業がつまっても日曜日とか使えばまわせます。感覚を鈍らせないように毎日定期的にこなしてました。苦手科目をなくするのはもちろんだけど、自分の適性を見つけて伸ばしたい科目を決めるのもいいと思う。

## 気持ちの切り替えはどうしてしてた？

1浪までは北海道の河合塾にいました。予備校がどんなものかあまり分かってなくて周りが通っている大手を選びました。勉強してたけど自分が何をやってたか覚えてなくて、できない関係なくとりあえず問題解いてた感じ。模試も良くなかったけど、医学部クラスで周りも医学部目指してる子の中でやってたし環境は悪くないと思ってて。でも1年通して勉強に集中してたかと言われると、やりっぱなしというか…復習もしてなかった。先生に質問するのが苦手で友達に聞いて解決してました。正直、東京の予備校に通う気はなくて行くとしても同じ河合塾の校舎かなって。でも2年に1回しかテキストが変わらないからまた同じのやるのは嫌で。知り合いだった林泰輔(埼玉医科大学進学)が代官山MEDICALに入るって聞いたから、話を聞きに来ました。ここでやってみて授業が少人数だから勉強に取り組む姿勢がより強くなるし、先生の説明も分かりやすいから、自分からやろうっていう積極性が出てきました。

## 科目別にはどうでしたか？

英語は朝岡先生の授業受けてたからよく質問に行きました。一番は石井先生ですね。今まで自習のときに英語って集中できなくて…、石井先生の授業は特に授業中にどれだけ考えて取り組むのかが自分の中の課題でした。指されたときや他の人が当てられた



時も自分ならこうかなって考えてました。石井先生の授業は、そうやって他の人の思考も参考になって刺激だったし。英語に慣れるっていう意味で自習で問題解くときも意識できたので良かったです。数学はいろんな先生にお世話になった。もともと計算力には自信があったけど、薄先生が丁寧に教えてくれてやっと伸びてきた。10～11月頃に数学が完成して、その時最初のクラスで使ってたテキスト解き直すと結構できましたね。数学は今まで我流で、計算用紙汚くて自分でも読めない字があるくらい(笑)。山室先生に見直しできないからもっと丁寧に書けって言われて最後は直ってきました。山室先生は褒めて伸ばしてくれるし、苦手分野は徹底してやってくれて受験直前に穴を見つけてくれました。高橋典先生にはよく質問にいきました。色んな解法が身について対応力がついて考え方も変わってきました。面接も大事だけど、小論文の過去問はよく見て大学ごとの傾向を研究しました。

## テストはどうでしたか？

Monthly Testでは自分の位置より、周りがどのくらい出来ているのか気になってました。自分だけできなかったのか、周りもできなかったのか。難しい問題もあったし普段は納得いく結果はなかなか出ませんでした。解き直しは難しい問題は飛ばして確実にとれるのだけ。無理やり、全部解き直そうとする途中ですつづいて悪循環になるので。

## 最後に、今年の受験生に一言。

日医慈恵を目指す人は上のクラスの内容を完璧にしなきゃ厳しいと思う。東医昭和は難しい問題はみんな解けないから、基礎的な力で差がつく。医学部行きたいなら1学期の基礎テキストを完璧にすること。難しい問題は受験前で充分。あと、自分は悔やんだんですけど英語は絶対やったほうがいい。上位校受かりたいなら英語数学は落とせない。



卒業生が語る

合格への  
軌跡 2016年

WAY TO SUCCESS

昭和大医学部 2次合格(Ⅱ期)

全部落ちて  
半ば諦めていましたが、  
先生に励まされ全力でⅡ期の  
テストにいどみました。

昭和大医学部進学 鄭裕華さん(雙葉高校卒)

## お姉ちゃんが目標でありライバル

第一志望は昭和でした。寮を一回経験したかったのと、学費が安くて上位校で。あとはオープンキャンパス行って雰囲気や庶民感があつたので。学生は、地域枠があるので現役生多いです。気が合う人たちがばかりです。

将来は女性と子供に寄り添った女性らしい医者になりたいです。

代官山 MEDICAL に決めたのは、お姉ちゃんが通ってたからです。入学前から話を聞いたり、お姉ちゃんが受験する姿を見てました。

高2の1月に入ったんですけど、何か違うっていうか。最初は生物だけだったんですけど、自習をすると周りに浪人生の方がいるので、やばい！って。高卒生とか他の人が自習してるのが見えるっていうのが、とくにここは医系予備校で目指すところが同じだから、私ももっとやらなきゃって。ライバルっていうか、目標っていうか…は、お姉ちゃん。石井先生からもお姉ちゃんが何時に来てたって聞いていて、その時間には行くようにしたりとか。マンスリーテストのデータも残ってたので、この時期には何点取りたいとか。

先生達がちゃんと見てくれている。  
細かい質問にも丁寧に答えてくれる。

高3の1年間、気持ちは張り詰めてました。精神的な支えは、最後の最後は石井先生。節田先生は言わなくても分かっている感が凄くて、いざとなったら言ってくれました。緒方先生はマンツーマンで励ましてもらってました。マンツーマンは1対1で見てもらえるっていう良さと、精神的な安定剤っていうか、入試前になればなるほど重要性が分かってきました。数学はハイレベルのクラスで、少人数制でやってたので、凄くレベル高かったです。高橋典先生の授業だったんですけど、授業中も途中で止めて質問してました。薄先生の授業は、楽しくて、厳しいことも言うんですけど、ギリギリになって精神的に不安定だった時は「大丈夫」って言ってもらえました。本当に面倒見いいなっていうか、授業もやって、休み時間に行っても色々教えてくれたりするから。生物は入塾するのが遅かったんで、金谷先生に最初から説明してもらいました。高校が午前中に終わるので、終わってからすぐ行って、お昼に金谷先生に質問行って教えてもらってました。基礎は全部金谷先生にやってもらって、マンツーマンで緒方先生にハイのところをやってもらいました。生物はだんだん伸びたんですけど、化学はギリギリまで伸びなかったです。でも、試験で伸びたって感じで。みんなの話を聞くと、二学期から伸びたってのは早い方で、本番でやっと出せたって人が多い気がします。入試までは不安でしたが、心折れると辛いんで、鋼の精神で頑張りました。メンタルは、自覚はなかったんですけど、弱かったんだなって思います。数学は夏に伸びて、



その後下がって、どうしようって思ってた。とにかく計算ミスで安定しなかったです。どうすれば計算ミスが減るのか分からなくて。

それで、計算ミスを防ごうと思って、解き方をまず変えました。それまでは全部バアーツで解いて、時間あつたら見直すみたいな感じだったんですけど、何回目かのマンスリーから変えて。必ず1ページ解いたら見直すようにして、早く次の問題を解こうとしちゃうからいつも計算をミスっちゃうから、すぐに見直すようにしました。時間が無くなるかもと思って不安でしたけど、その問題を確実に解かないと点数もとれないので、細かく見直すようにしました。意外に冷静になって見てみると、「なんでこんな間違いしたんだろう」っていうのがあつたりしますよね。マンスリーテストは難しいので、時間配分は気にしてました。理科なら、最初に生物やるって決めてたりとか、化学は計算問題からやるとか、正誤は最後とか。

高校と違ってランキングの掲示があつたので新鮮でした。2回目のテストで英語が1位になって、でも3回目でランク外になって、落ち込んで…。でも、次の時また上がって。生物は途中から載って、化学は最後まで載らず、数学はちょこちょこ載った感じでした。ほかの現役生も、佐藤くん(東邦大医学部進学)とか坂本くん(埼玉医科大進学)とか載ってて、気になってました。ランキングに載ったり載らなかったりなのを先生方も見てて、たまに言われました。授業だけじゃなくて、成績も見えてくるっていうか。質問は、友達には聞かないタイプだったんで、先生にけっこう行きました。自分でやってても行き詰ったりするので、たまに聞きに行っていました。他に質



問してる人がいない時を狙って行っていました。こんなこと聞いてもいいのかっていう小さいことでも、先生たちは何でも答えてくれるから、良かったなつて。

### 代官山 MEDICAL の良さは？

代官山 MEDICAL のメリットというか良さは、まず、朝から晩まで勉強できること。友達に聞いても、6時半に開いてる塾なんて他にはないって。自分の場所があつて、自分で勉強できて、自分で予定立てて出来るので、あと、質問にも行けるので。なので、勉強は基本的にここでやって、家に帰ったらリラックスしてみたいな。次の日に響いちゃうので、12時半には寝るようにしていました。朝は、満員電車でカバン開けられないので、家です時から図説を持って出てました。座談会で先輩の話聞いたり、合格体験談読んだり、あとはお姉ちゃんもいたので、いろいろ聞いてやってました。お姉ちゃんから、夜更かしして勉強しても効率悪いから寝るように言われたり。あとは、女の子的には清潔感。他には、2号館だったので、静かでした。

### 一番伸びた科目は？

…なんだろう。化学は最後に伸びて、生物はだんだん伸びて、数学も最後に伸びた感じです。最後に一気に伸びて、言われた通りでした。最後まで頑張ってみてみたいな感じで言われてて。石井先生も言ってくださいましたし、節田先生も。節田先生はマンスリー全然載らなかったの、最後まで待ってって言われて。で、やっと昭和2期で伸びた感じでした。先生



の言ったことを受け入れて、実行してました。もう全部鵜呑みにして。図説も、昭和狙ってたので、緒方先生に「ここは何ですか」って細かいところも聞いて。試験始まってからは、用語のチェックみたいな感じでバアツって言ってもらって、それを全部覚えてました。現役生は知識量で浪人生に負けるって言われてて、とにかく時間が無いので、学校行っても自習しかしてなかったですね。寝ないで自習して、その時に知識を詰め込んでみたい。集中力がなぜか高3だけ続いて。執念ですかね。集中できる環境があつても、人が集中しないと意味がないんで。立ってブツブツ言ったり、トイレ行ったりもしました。コンビニには行かないようにしていました。

### 受験期はどうだった？

朝は弱かったんですけど、試験会場には早く行っていました。図説見たり化学のノート見直したかったの。代官山通信に地図とか載ってて、当日は人の波に乗って迷わず行けました。東医だけちょっと難しかったです。日医が全然できなくて、落ち込んで。昭和志望だけど、もっと上を目指さないと受かんないよってお姉ちゃんに言われてて。一番辛かった時期は3月、2月…3月ですね、やっぱり。入試始まってからも、勉強のサイクルは崩さないようにしていました。試験が終わっても戻ってきて自習して。3月31日に繰り上げの連絡きたんですけど、それまで生きた心地はしなかったです。

### 石井先生の授業

石井先生の授業は、予習してました。でも、テキストのコピーはしませんでした。暗記するくらい読み込みたかったの。書き込むためにコピー取ってる人が多かったんですけど、落としたら意味ないし、バラバラにしちゃいそうだったし、断固としてコピーはしませんでした。授業中は、ここ分からないのになんで当たるんだろうって。ちょうどそこ!? って。一つ前なら分かったのになって(笑)。石井先生の話で印象に残ってるのは、歴代の先輩の話。自習時間に席を立たない先輩とか。私もそれ聞いて立たないようにしました。二次対策の話は石井先生の授業で聞いて、そういう知識を入れといて。面接の本番はちょっとは緊張したんですけど、面接官が優しいめの女の人だったんで大丈夫でした。とくにどぎつい質問もなくって、岩手で他どこ受けてるの? って聞かれたくらいでした。圧迫とかだと厳しいですね。東邦は変わってるって聞きました。4ステージくらいあるって、面接。認知症のおじいちゃんにどう説明するかみたい。で、蓋開けたら、その人、実は教授でしたみたいな。

### 現役生ならではの困ったこと

現役生ならではの、これは困ったっていうのは、圧倒的に時間が足りないっていうこと。あと、岩手の面接でグループがあつたんですけど、制服が一人だけだったのがちょっと怖かったです(笑)。時間がないうっていうのもあつて、まずは苦手科目をなくすっていうことですかね。入試始まって、最初の方は全然受かってなくて、自信を無くし、二期も受かってないって思っていました。9か10校受けたんですけど。スケジュールは冬の面談で結構削りました。わざとぶつけてくる大学とかもあつて。

### 現役合格にはこれが必要！

ストイックになること。ストイックさです。あとは、現役にこだわってたので。あと1年は絶対に考えてなかったの、その思いですね。精神的にガクッてなることもありましたが、高3で決めるっていう思いはぶれずに来れました。家族の存在とか、自分の思いで。

### 後輩たちへ

英語は、単語を何回も。一回やって、少し時間たつてまたやって。数学は計算ミスをなくす。自分がどこが出来ないのかを把握する。化学は、最後までやり続ける。生物は、図説を、昭和だったら万遍なく見る。隅から隅まで。先生に言われる前に自分からやらないといけません、追いつかないので。





卒業生が語る

合格への  
軌跡 2016年

WAY TO SUCCESS

東邦大医学部 2次合格  
北里大医学部 2次正規格  
埼玉医科大 2次正規格(前期)

先生たちにめちゃくちゃ聞いて  
何やった方がいいか  
指示もらってやってきた。  
聞けば解決できるから。

東邦大医学部進学 佐藤祐輝君(新潟明訓高校卒)

## どうして代官山 MEDICAL に？

俺は…代官山 MEDICAL から杏林大学へ行った佐藤先輩の家系と幼稚園の頃から仲良くて、それで、彼が浪人しているときに俺は高校生で東進行ってたんですけど、東進は医系じゃないから…国公立ならまだセンター勉強して、つてなるんですけど、私立だと特殊だったので情報もないし勉強の仕方わかんなくて、色々教えてもらってこっちきて、授業受けてみてよかったんで来ました。

## 入る前の自分の成績はどんな感じでした？

最初来た時は数学が一番できて…英語がもう全然…嫌いだったしできなかつたし。あんまり手を付けていませんでした。英語も理科も。科目の偏りはかなりありました。数学だけ高2の早くにぱっと終わらせて。模試とかの点数ではあまり差がなかったんですけど、適当にやってたんであんまり理解できていませんでした。

## いつから来てましたか？

高1の冬ぐらいに始めてきて…とりあえず授業受けてみようみたいな感じで、マンツー、五十嵐先生とか三ツ橋先生とかうけました。その中で1コマだけ石井先生のマンツー受けました。超レアです(笑)

## 模試の解き方とかはどう？

わかんない問題は速攻飛ばして、分かるところを解いた後で戻ってくるって感じでした。出来ない問題にあたっても俺は結構楽観的な人間なんで、次出来ればいいかなって。思っていました。



## この先生のここが良かった

英語とか三ツ橋先生ばかりだったんですけど。三ツ橋先生いいですよ。優しいし、知識もあるし。ひとつの単語に対して広がりがあるっていうか。派生語がこうで、この言葉はどういう語源から来てて…っていうのを教えてくれるから医系単語でも覚えやすくて。授業が楽しかったです。五十嵐先生はずっと持ってもらってたんで愛着あったし。すれ違うたび色々話しかけてくれてたし。まあ数学好きだったし。プリントとか色々くれました。プリントやって、間違えても全然怒らないでおちよくってくる感じなのがいいですね。あと一回山室先生に教えてもらって、今まで出会った人の中で一番頭いいなって思いました。やばかったです。積分とか。ちょう頭いいなって。めっちゃ衝撃を受けたんですけど、そのあと五十嵐先生にするか、山室先生にするか悩んだんですけど、その後結局五十嵐先生にして。でもその後も山室先生に小論文とか願書とか見てもらったんです。山室先生は医学部の情報とかそういうものの書き方とか知っているので、授業中とかにも教えてくれたりして面白かったです。化学は高橋龍先生でした。若くて…しかもイケメンじゃないですか。クールだけど意外と話しやすくて、授業も分かりやすくて。面白かったです。物理は田山先生でした。物理が一番苦手っていうか、進捗が遅かったんですけど、それでも公式のどうして、とかから全部教えて下さって。最終的にいろんなプリントをくれたし、最後赤本を解いてわからなかったところとか授業で解説してもらったりしてやりがいがありました。かなり手助けになりました。定期的に見てもらってたから、その時に指示もらってました。あと遠方なんで、教務のスタッフ経由で FAX とかでも指示もらってたね。こっちに来てない時はその指示通りと、あとは自力で勉強してました。

## ここにきて一番伸びた科目は？

現役だったんで、理科はゼロからスタートだったんですよ。化学とかはめっちゃ伸びたけど…でも最終的に一番頼りになったのは英語ですね。最初は苦手だったんですけど。引っ張ってってくれたっていうか。数学得意だと思ってて、あんまりやらなかったら、最終的に微妙になっちゃって…自習してる時もバランスは考えてやってましたよ。

## ここに来る前の自分と変わったところは？

そもそもここに来る前、そんなに勉強してなかったです。ここにきて授業受けてめっちゃ面白くて、すごいやる気だつていうか。地元帰ってもやった問題復習できるし、解いててすごい面白くて。ここにきて、勉強に対してすごくやる気が出ました。与えてもらう課題も授業でやったものの例題とか類題とかだったからいい問題だったし。



## ここにきてよかったことは？

先生がフレンドリーな所です。大学もだけど高校の先生も…学校の先生は質問しづらいというか距離があるというか。だからわからなくても自分で解決しようとしていたんですけど、こっちは聞きやすいし聞いた方が分かるし楽しいし。

なんとなくやる気が出ない時とか  
どうしてましたか？

11月ぐらいにそういう時期がありました。結局そのまま行きましたね。代官山に來ればやる気になるんで。平日の学校でなんかやばいなーとは思っていたんですけど、土日には代官山行くからそこでスイッチ入れようかなって思って。来てた期間は基本的には夏休みと冬休み春休みとかだったんですけど、高3の時は学校さぼってきてました。1週間ぐらい。学校意味なかったんで。(笑)

## 後輩に向けて一言

勉強のやり方わかんなかったら、とりあえず先生に聞いた方がいい。俺は新潟にいたからわかんなくて、先生たちにめちゃくちゃ聞いて何やった方がいいか指示もらってそれやってきたし。聞けば解決できるから。あとは…楽観的な方がいいです。神経質になるより。まあ失敗しても「落ちたな…」ぐらいで。俺はもともと適当な人だったんで。まあしかもマンスリーとかで取れてたら絶対自信つくし。そのためにめちゃくちゃ勉強して頑張ってマンスリーで取ってこの大学余裕だし、って思えるぐらいのメンタルをマンスリーで培っていけばいいと思います。



東邦大医学部

2次合格

先生との距離が近くて  
手厚い指導  
ありがとうございました！

東邦大医学部進学 高安涼太君(成田高校卒)



## 大学はですか？

東邦は入学して少ししたら TOEFL でテストして成績順にクラス分けされました。全部で6クラスあります。選択の語学もあるんですけど、自分は取ってないです。

## どうして代官山 MEDICAL に来ましたか？

僕は高校3年の夏から、っていうか部活が終わってから受験勉強を始めて、最初は地元の個人塾へ行ってたんですけど、マンツーマン制で…先生が大学生だったんですよ。教え方もへたくそだったんで、やっぱり東京の医系の専門予備校に行こうかなって親と相談して、それでこの近くの塾とか片っ端から説明会に行って、最終的に、ここがいいかなって決めました。

## 入る前の自分の成績はどんな感じでしたか？

全部底辺でした。生物が少し出来てたぐらいですね。でもマンスリーの順位表には載らないぐらいです。浪人生なんて、勉強してなかったらただのニートじゃないですか。勉強してなかったら存在価値が無くなっちゃうって思っ。ここにきて気持ち切り替えて、頑張ろうって、1年で決めようと思って。その気持ちは1年間途切れませんでしたね。モチベーションはずっと高いままだった。落ちそうになるのはマンスリーテストでだめだったときぐらいで、それも(マンスリーが)終わったらすぐに下(6階)に降りてきて教務の人とかに喋って、それではい終わり、って切り替えてたから。お尻たたいてもらってました。



## いつぐらいから代官山 MEDICAL に来てましたか？

2月から来てましたね。春のさきどりも受けてた記憶があります。1～7限までみっちり授業が入るのにうわっ！とか思う人もいるかもしれないけれど僕は別に…ここに入る前にモデルの時間割とか見てたし。自習でやるよりも授業があつて拘束された方が勉強できると思っていました。塾に行ったらもうずっとやる、家ではやらないと思ってました。朝は割と早く来て、21:30に帰ってました。時々遅くなって教務の人が迎えに来てたりしましたね。

## 予習復習はどんなふうに回してた？

やったやつをすぐに復習するって感じで、出来るまでやってましたね。隙間の時間を使ってやりくりしてました。先生からもこと細かく、やったところの課題もらって、きっちり提出→添削→提出→添削って感じでやってました。

## マンツーマンって取ってた？

マンツーマンは青葉先生と原先生以外取ってないです。春は1個も取ってなくて、夏休みの後半から青葉先生のマンツーマン取って。僕があまりにも英語できなさ過ぎて、石井先生に相談したら青葉先生を紹介されて、ためしに取ってみたら神だったの(笑)どんどん人気の先生になっていって取り合いになってましたね。「俺について来れば受かるから！」って言われてついていたらマジで点数が上がったから。考え方をまるっきし青葉先生のやり方にさせられたので。あとは WIZ の単語テストやってました。最初は週3とかで。あんなに単語テストやってた人他にいないぐらいやってました。春は週3で。夏ぐらいからちょこちょこさぼり始めて。でもずっとやってましたね。

## 一番伸びた科目は何ですか？

生物？かな。ここだと資料集よく使うけれど、高校では使わなかったですね。何なら教科書も使わなかった。ここでは資料集使い過ぎて表紙が破れてました。どんどんボロボロになっちゃって。みんなそうでしたけどテープで貼って使ってました。

## 自習する科目のバランスはどうでしたか？

バランスよくやってたつもりですけど…日によってはバラバラでした。ちゃんとし始めたのは秋からですね。春夏はもう、生物が楽しすぎて。先生がみんな面白いんだよね。緒方先生はストーリーで教えてくれるんですよ。それを自分で言えるようになったら人にも教えられるし、質問しに行っても分かりやすく教えてくれるし。金谷先生と柳先生はたまに出る生物関連の雑談がほんとにおもしろくて。金谷先生は授業中に流れて指してくるんですけど、間違えても笑いに变えてくれるんです。優しいです。どの

先生も質問に行っても優しく。手厚く教えてくれるんですよ。紙に書いたりして。柳先生が一番覚えているのは、鯨の死体があったから包丁持ってバイクで内臓を取りに行った話。大学のサークルが研究とかで、鯨とかが打ちあがったら取りに行くらしいんですけど、それも内臓とかが先着順、早い者勝ちで。首切り包丁みたいな？鯨用の大きな包丁をリュックに入れてバイクでかつ飛ばしたら、警察に捕まって、リュックの中見せなさいって言われたら包丁出てきて…ていうので爆笑しました。

## ここに来る前の自分と変わったところはどこですか？

やる気出ました。やっぱここに来て、一番やる気が違いましたね。周りのやつも勉強してたし。高3で部活引退してからずっと勉強漬けだったんで、ちょっとは出来るかなって思っていたら、浪人になって最初のマンスリーで全然できなくてやばいって意識は生まれましたね。あとは、勉強方法。最初から身についてなかったのが結局ゼロからスタートだなんて思いながら授業でやったことを繰り返してましたね。だから勉強法自体は変わってないですが、やる内容は濃くなりました。あとはスマホからガラケーにしました。絶対いじっちゃうからって。

## 合格座談会とかで意識変わったりしましたか？

何回かに分けて座談会ってあるんですけど、僕が聞いた時は寮に入っていた先輩が多かったです。で、家帰らないでカフェとかマックとかで夜1時ぐらいまで勉強してたって話を聞いて、そんなこと出来るわけじゃないじゃないか！って思いましたね。だから出来るだけ朝早く来て、帰りはさっさと帰って、その合間の時間で、ここにいる間に濃密にやればいかなって思っ。あとは夜とか…。家からは電車で1時間20分ぐらいかかりました。電車乗りっぱなしで。朝は座れないですけど夜は座れます。電車の中ではなるべく単語帳(快速とか)、時々生物の資料集とか開いて読んでました。声に出して。ほそほそと言っていました。青葉先生に「音読しないと無理だからね」って言われて。あと先輩もそんな話してたので、やりました。

## ここにきてよかったなと思うことは何ですか？

先生がフレンドリーな所ですね。大学の先生は質問しづらいです。聞きに行く事に最初は抵抗があったんですけど、距離が近いから聞きに行きやすかったです。扉がないのは大きい。あと先生も声をかけてくれるので。

## 最後に後輩に向けて一言！

僕はどっちかというとなガティブです。マンスリーテストでやばかったときに廊下で自殺したいって言うてましたし。あれだけ1か月やってさ、全然成績上がってなくてさ…もともと勉強なかったらニートって思ってるぐらいの人だから。それで出来なきゃもう…死ぬ！って感じだったんで。まあやってもやっても数字で出てこない時期はつらいけど…でもやるしかないんですよ。打開策考えつつ、わからない時は先生に聞いて。でも何でもかんでも先生に聞くと考える力が無くなっちゃうなって。記述が解けない時にそう思っ。ある程度自分で考えてから、本当にわからない時に先生に聞くべきかなって思いました。生物でも最初わかんないなって思っても資料集ちゃんとみて流れに沿ってみると結局分かるんで…そういうのすぐに先生に聞きに行くと、緒方先生とかそういうの分かるんで、もうちょい自分で考えとかよく言ってくれるんです。オープンスペースで聞きやすくはあるけど、ある程度自分で考えてから聞きに行っの方がいいですね。いつでも助けてくれるけど。最初は聞きに行き過ぎていて、夏とか記述解けねえ！自分で考えてねえじゃんって感じで。ただの暗記作業になって。穴埋めだとパツと答えが出るんですけど、記述とか自分の考えをだすやつになると急にできなくなっ。だからちゃんと自分で考えようって。あとは先生にいじられてる人の方が愛されてるというか…ありがたい事だから。平野先生とか怒られてるみたいに感じて落ち込む人もいるかもしれないけれど、いじってくれている間は自分に合うペースで授業を進めてくれるから。あと一番前に座るべきですね。僕はいつも一番前に座っていました。一番前だと分かっていない時の顔が先生に伝わるから。あとノートに書いている内容も見るし。薄先生とかもだけどすぐに気づいてくれるんです。で、わかんないよなって言いながら最初から説明してくれますから。





卒業生が語る

合格への  
軌跡 2016年

WAY TO SUCCESS

日本医科大  
岩手医科大2次合格  
2次正規合格先輩のたくさんいる日医に  
合格できてよかった!!

日本医科大進学 蘭田大二郎君(上田高校卒)

## ここに入ってくるまで成績はどうでしたか？

長野の公立の高校だったので授業でやる事と行ったら国立の対策のものがほとんど。現役では数学は独学でもまあできてセンターで9割はとれて、化学と生物は苦手でよくて8割。国語がすごく苦手で学校の成績で1とか2とかがつくくらいだったのがセンターでは7割5分位運良くとれて日本史とか英語が全体で8割そこそことれて福島県立医大出願できたという状況でした。プラスαで私立11校うけて獨協の1次が受かったんですけど2次落ちました。現役の時はいつも国語とかは半分くらいしかとれない感じだったんですけど本番がたまたまよかったです。波がすごくて安定しなかったです。生物に関しては、考察も知識もないし過去問も解かないし、問題演習をする習慣がなかったので、解くスピードが全然遅かったです。

代官山に入塾した時は  
国立と私立を迷っていましたか？

浪人が決まって、親が国立じゃなくてもいいって言ってくれて。国語がだめだったっていうのと安定していないのをわかっていたので、私立一本で行こうと決意しました。私立なら医専だと思い、親と一緒に説明会を聞いて、代官山で行こうと決めました。

## 入ってから一番伸びたのは？

現役時と比べて、浪人して時間が出来るので、理科に重点をおきました。その上で、化学とかの一番の問題が、入試化学の全体像が全く見えてなかったという事です。節田先生と小椋先生に沢山問題出してもらって、全体像を把握して、夏に節田先生のマンツーマンをとって苦手分野を強化してもらって、苦手分野を克服できた。生物とかは全然考察も解けなくて悩んだんですけど、授業の時に予習はしっかりやって、臨んでました。緒方先生の基本的なものはきっちり押さえるようにしてました。マンスリーも当初30点くらいだったんですけど、7割近くとれるようになってました。英語については現役のときに長文ばかり読んでたので英文自体に親しみがあつたので平均的に波もなくとれていました。

数学については、できてると思ってたんですけど、確率が苦手で、確率は現役のときには全然できなかった。確率は暗記で解くものだと思ってたんですけど、マンツーマンで高橋典先生に確率は考え方次第で面白い世界になる事を教えてもらった。ここで考えて解くものだと知れてすごく大きな進歩になった。数学はマンスリーは9割取ったりした事もあったのに、圏外に飛んだりもしました。でも落ち込まないで、授業の問題はちゃんと予習して、自分の解法を典さんや啓寿先生に見せて確認してました。最後までマンスリーでは数学は低めに終わったんですけど、数学に関してはちゃんとできるという典さんと確認したり予習したりしてて、できるんだという確信があつたので自信を持って入試に向

かいました。

マンスリーの点数が悪い時とかは  
どうしてましたか？

点数が悪い事は、ネガティブに考えないで、何ができないのかという事を考えてやるようにしてました。気持ち的に波がない方か？と言われたら、波はかなりおこるんですけど、何も考えず無心でやると意外と波が起こっちゃうんで、ポジティブに意識してやるようにしてました。

## 入試本番はどうでしたか？

1年やってきた成果が出てるのかって言うのが自分では分からなかったんですけど、杏林と岩手の一次が受かってほっとしました。杏林の2次がすごくだめだったんで、ダメージをかなりくらったんですけど、それでその後の試験を受けるにあたっては、緊張感がありました。とはいえ去年よりは、慣れはありましたね。

## 勉強はどのように進めてましたか？

僕はノートをつくらない殴り書きするタイプで、A4の紙に殴り書きしてたんですけど、試験前にいったい自分は何を得たっていう証拠がなくてちょっと不安になったりしたんで、殴り書きのA4の用紙に穴をあけて保存するようになりました。朝早く来て自習する勉強法を夏朝一番に来て試してみたんですけど、僕の場合は、朝早いのは向いてなかったみたいで、これは、人によると思います。自分は自習でできるって思ってたんですけど、浪人したから勉強法にちょっと自信がなかったんで、マンツーマンを入れたりしました。マンツーマンでは、分からない事は徹底的に聞くようにしてました。





卒業生が語る

合格への  
軌跡 2016年

WAY TO SUCCESS

聖マリアンナ医科大 2次合格

自分に向き合う  
必要な2年間でした!

聖マリアンナ医科大進学 伊藤葵さん(愛知淑徳高校卒)

## 聖マリアンナはどのような学校ですか？

聖マリアンナは第一志望だったし、校舎もきれいで、立地もよく、新宿とかもすぐ出れるし快適です。授業は60分×6で、ここより短くてもう終わり？って感じでなんてことないって感じです。

部活はサッカーが好きなんですけど、野球部のマネージャーをやってます(笑)。洗濯したり、ドリンク作ったりボール拾いしたりしてます。先輩達はすごく優しい。練習もあまりやってないのに優勝したりしててすごい強いし魅力的です(笑)。

実習は、5月から毎週病院で先生について回ったり救急車に乗って助けに行ったり、色んな科に出て行ったりしています。

希望する科とかは、まだはっきりしませんが、スポーツ医学とか小児科とかにひかれています。私はサッカーが好きなんですけど、マリアンナはFIFAの公式の病院だからスポーツ医学いいかなと思ってます。長く続けるならちょっとでも興味が無いとだめかなと思って。多浪生も沢山いて、最初は気にしてたんですけど、子供がいる人とかいろんな人がいて居心地がいいです。

## 予備校には入学してすぐに馴染めましたか？

予備校を決めるにあたり、パンフレットみてここが一番信用できるなって思いました。大学は首都圏がいいなって思ってた予備校もこっちがいいなって思ってた。愛知にも医専とかあるけど、情報量が格段に違って。上京して最初、結構寂しくて。友達もいないし。だから先生と話してるうちに生活に慣れた。誰かが質問に行くのが見えたり、ドアが無いから質問に行きやすかった。

さきどりゼミを受けてたので4月の授業の前に自分のレベルってこんなもんだったんだっていうのも分かってたり、ペースをつかんだりできました。さきどりゼミでやらなきゃっていう気持ちが生れました。

## 代官山 MEDICAL に来てよかったと思うことってなんですか？

浪人生活って社会的にはあまりいいとされているものではなく偏見もあると思うんですけど、先生達の面倒見がすごくよくて、授業もすごく楽しくて、勉強生活が全然苦痛じゃないっていうのがめっちゃメリットだと思う。いつでも質問に行けるし、綺麗だし。今まで行ってたところが暗くて、先生がどこにいるのかも分からないしって感じで。ここは明るいから気持ちも暗くならないし。環境も友人にも恵まれました。真面目で見習いたいと思う子も多かった。

## 授業はどうでしたか？

ここの生物の先生はすごくて、担当してくれた三人の先生がそれぞれ違うから、どこから攻められても大丈夫に知識が固まるのがよかった。

私は、小テストにめっちゃ気合い入ってました。すぐ



採点してその場で見られるから、小テストでは満点とろうって思って勉強してました。知識系の生物とか英語とかそれでどんどん伸びていきました。緒方先生の授業の内容が小テストめっちゃやるんですけど、生物の表の穴埋めとか、文で説明とか穴埋めなんですけど、どこが出てもいいように全部丸暗記してました。はまっていったん楽しくなりました。

マンツーマンの先生には、できないと申し訳ないという気持ちで、グループの授業とかでは、マンツーマンでやったことは間違ったらヤバイ!と思って頑張りました。高橋阿里先生は優しいので、小テストとか勉強やらない子いるんですよ!でも、ここで100点取ったらかつこよくない?!とか思って毎週100点取ってたんです。そしたら、受験期に阿里先生の授業でやった単語にめっちゃ出会って、小テスト大事にしてよかったと思った。夜間のテキストって夜間しか使わないみたいになってると思うんですけど、私やってないものって極めたいとか思っちゃって…。この夜間のテキストを一問一答形式でぼろぼろになるまでやってたんですよ。分厚くもないし、単語帳みたいな感覚でパラパラってできるし。内容が凝縮されてて濃いんです。夜間のテキストもめっちゃいいよって言うことは伝えたいです。ここをしらみつぶしにやって分からないことを聞きにいくと結構頭に残ります。

## 先生に質問とかはよくしに行っていましたか？

「大丈夫」と「分かりました」は、ヤバイと思っていて、分からなかったら分からないって言うべき。ここの中の世間体とか周りからの目とかは今後何にも響かないから捨てて、できないことはできないって言わない



とだめ。それは重要だと思う。  
自分は、全然質問とかできるタイプじゃありませんでした。でも、入学当時、野崎君(東邦大医学部進学)が先生にすごく質問しに行くのを見て、野崎君は授業中の発言とかも賢いんです。賢い人は質問に行くんだと思って真似していくようになった。  
2浪とかになって先生のところに行かなくても先生から「生物やって無いでしょ」とか見抜かれて…。先生の方から声とかかけてくれて、ホント、こんなのかなかなか無いことだと思う。それだけ一緒に生活してる感があるから怠けなくてよかった。今でも**代官山MEDICAL**が懐かしくなっちゃう。

### 1 浪目と2 浪目は何が違った？

1浪目は、このほぼ休みも無く拘束されてたから、そりゃこんな長時間椅子に座ってたら受かるでしょ。みたいな意識があって、勉強の質とかあんまり考えてなくて。座る、来るそれだけ。それだけで自信を持ってたって言う感じでした。受験の直前に赤本解いて全然できなくて、そこでやっと焦り始めて、結局今年もまただめか…。みたいになっててどんどん負ける意識になってました。でも、自分と同じクラスのA3の子とか受かるの見たとき、自分でも受かる可能性があったのかもしれないって気付いたらすごく後悔した…。  
心入れ替えて2浪目に入りました。受験直前にどうせこのクラスだしとか思わないで後期でも何でもえり好みせず受けていこうって思うようになったし、体力どうこう言う子もいるけど、ここで体力使わなきゃ何のための1年間なの？って思えるようになった。自分は体力もメンタルもめっちゃ弱いけど、ありったけの大学受けたし、沢山落ちたけど、マリアンナ受かったから。受けれるだけ受けて下さい。

### 2 浪目のメンタルはどうだった？

夏の時期は、まだ受験が見えなくて単調な毎日をすごすんですよ。それでクラスの編成の時期が来るとクラスも落ちるかもとか思っちゃったりして思い詰めちゃう時期なんです。夏は大事ですよ。周りがよく見えたり、後ろ向きになることもあるけど、とにかく前向きに頑張ってる自分に誇りを持ってやるようにしてました。  
後は、私は2号館の中でマンスリーが本当に悪い方でした。それで、キツイ！ってなって、何をしたらいいのかが分からなくなってしまって。そういう時期のメンタルを緒方先生と三上先生に見て貰いました。マンツ一取ると安心感とモチベーションが安定して、知識を教えてもらうのは勿論なんですけど、気持ちと両方ないとだめで、私にとってマンツ一大事でした。

### 印象に残っていることとか なにかありますか？

2浪目の4月に三上先生にめっちゃおこられたんです

よ。「本気で受かる気あるの？」って。気持ちが緩くて一生懸命教えてくれてるのに失望させてしまって…。  
そっから、自分はめっちゃぬるいなって思って、そこから自分に甘えないとか色々我慢してスタートしようと決心して4月のスタート切れました。  
あと、マリアンナの試験の前日に、杏林と愛知と岩手の結果が出たんです。2号館の子達は、ほとんど、このどれかに受かってるって言う状態でした。私はどれにも受かってなくて、めっちゃ悔しくてすごく辛い日だったんですけど、その日に緒方先生のマンツ一で、めっちゃ泣いちゃって。すごいいろんな言葉で励ましてくれて、サッカーの例とかまで出してくれて、そのときの言葉とか今でも書き留めてお守りみたいにしてるんです。マリアンナに行くときもこれを持って、各教科を受ける前に読んで自分を震いたたせてました。絶対空欄を作らないと思ったし、最後の1秒まで見直して間違えに気付いたりしました。手が震えながらも直して食らいついて食らい付いてやったのが聖マリアンナだった。

### マリアンナの入試の手応えはどうでしたか？

正直全然だめかな？と思いました。自分の中で筆記の手応えからして、二次頑張らないとだめだなと思ったんです。マリアンナは二次の比重も多いので、面接小論対策のマンツ一 4回くらいとってやりました。私の試験の前日に吉田仁美ちゃん(日本大医学部進学)がマリアンナの二次受けに行って、「漢字が出なかった」っていうのと、「題名を付ける問題と要約が出た」っていう有益な情報を聞いたんです。次の日のバスの中で受験生が漢字を見てるのをみて「出ないのに」と心に余裕も持てたし、その面接小論対策では時間配分まで決めて見事な小論文と面接が本番できました。

### 集中力はどうやって持続した？

私全然集中力続かない方で。マンツ一の先生とかに、次はこれをやってきますとか宣言してやってました。やって行かないと先生を失望させてしまうから、逃げられない状況を作りました。ライバル的な存在を勝手に作って、その人がやってる！と思ったら自分もやるとか。  
あと、2浪から昼の時間をずらして勉強してました。昼の自習室とかすごく静かで集中できるので気に入ってました。あと、昼の時間に昼を食べると丸々お昼の時間をしゃべって使ってしまうので、ずらすのは効率がよかったです。  
友達とも、いい距離感を保って受験が終わってから楽しもうと思って我慢しました。

### 朝は早く来てましたか？

8時前には絶対予備校に着くようにはしてました。すごく朝は弱いんですけどちゃんと来てました。他の人も沢山来ててそれは刺激でした。朝はすごく眠くて、



ちょっと高めのジュースを買うとか、これは朝の時間の間に絶対終わらすとか目標たてて対策してました。

### 後輩にこれだけはやっておいた方がいい ということはありませんか？

メンタルがやられた時は、私は恵まれてると思うようにしてました。健康だし、医学部専門の予備校に通えてるし、ご飯もちゃんと食べられてるし、人より遅れているのは勉強面だけで、他のことはすごくいい！と思ったら辛くなくなりました。自分で自分を苦しめるように追いつんで自分は人より遅れてるとか思わないようにしました。これだけ、環境を整えてもらってちゃんとできないのはだめだって思いました。  
大学の勉強はこの問題集を解けばいいとかなくて、プリントを見て自分で理解できなくてはいけないんです。問題がどこから出るかなんて分からないです。それに比べると受験生って、この問題集をやればいいのか、出題範囲とか過去問とかあるし単純明快。ちゃんとやればちゃんと知識もついてくるから勉強もしやすいと思うので、コツコツと与えられた課題をやって下さい。第一志望をつくり、執念持ってやれば不思議な力も出るのかな？なんて思うのでそういうのも大事なと思います。気持ちが入るところを見つけて下さい。私はマリアンナは補欠番号が70番だったんで、お母さんは本当に回るのかってすごい不安そうでした。他学部に入金しようとしちゃってたんですけど、石井先生が、「必ず回る」って言ってくれて、私はそっちを信じました。そしたら本当に回ってきて。困った時は石井先生に相談に行ってみて下さい。



卒業生が語る

合格への  
軌跡 2016年

WAY TO SUCCESS

岩手医科大

2次合格

まず合格圏外から  
合格圏内に持っていく事を目標に  
先生の言う通りやろうと  
決意しました。

岩手医科大進学 種田宙君(獨協高校卒)

## 現役、一浪と代官山 MEDICAL で過ごして

現役の時は受かる気がしなかったですね。まあ、ずっと野球部だったし…。とにかく、どれか一科目だけでも仕上げるみたいな。それで、浪人してみても最初のクラスがめっちゃ下だったんで、A9だったんで(笑)、どうやったら上に上がれるかなって考えて。とりあえず、数学から仕上げていこうと思って。得意科目を伸ばして、英語が一番ヤバかったんで、数学でカバーしようかなみたいな。その分、薄先生にはお世話になりました。薄先生は先生と生徒なんだけど、近い感じがして。けっこう親切に教えてくれるんで。それが良かったですね。「こんなのもの分からないの?」とか言わずに、そういうのを飲み込んでやってくれるのが薄先生。だから、勉強の仕方も教わりましたけど、精神的な支えっていう面が大きかったですね。マンツーマンでは、薄先生のプリントをずっともらってやってました。何回も復習して、分かんないところを質問しに行くみたいな。

予習は授業が詰まってる日もあって、ちょっと考えて難しい問題はすぐ捨てて、授業でしっかり聞いて理解して復習する、みたいな感じで。復習は時間かけましたね。数学はやった問題をとにかく復習して、飲み込むまでやれて言われてました。物理は、予習メインでやってました。分からないとこだけを復習するみたいな。化学は全く分かんなかったんで、復習だけやってました。

朝は7時とか7時半くらいには来てました。途中で8時位になっちゃいましたけど。でも、朝は来てました。

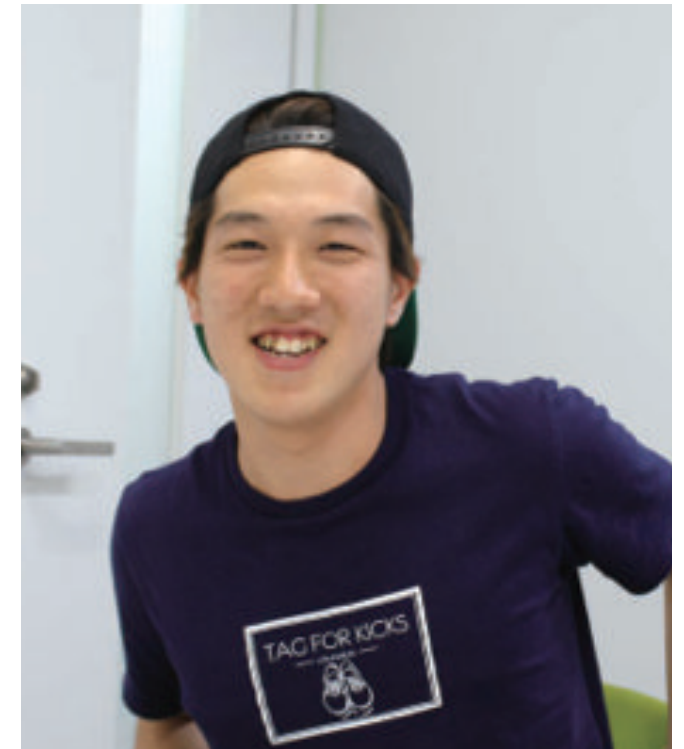
## 寺澤先生から元気をもらいました

一番楽しかったのは寺澤先生の授業。めっちゃ元気で、落ち込んでられないですよ。ついていけない! ってなりますよね。モチベーションもあがりました。現役の時はメンタル的なことも結構言うてくれました。「まだ伸びないけど、最後の方でグツて伸びるよ」とか。物理は点とるの難しいから、現役の時なんかは特に落ち込みますし。このままやってもダメなんじゃないかって。それでも諦めずにやれ! って言われました。

## 一浪で決める!

先生方みんな心配してくれて。でも、ほんと、うまく滑り込めました。現役時代に通って、友達受かって悔しくて。一浪でどうにか受かるしかない! って勉強してました。現役の時は学校の友達と遊ぶ方が楽しくて。ここ来ても疲れてると授業出なくていいかなあって。でも、浪人してからは、真面目にコツコツやるうって思ってやってました。もう少し現役の時に厳しくても良かったかな、もうちょっとだけ…(笑)。

浪人してから、マンスリーとかウイークリーとかテストあって、それが自分を勉強の方に向かせるのに



結構役立ちました。マンスリーのランキングが全然載らなかったんで、とりあえず数学だけは絶対載ろうって決めて、モチベーション保ってました。ランキングに載っても載らなくても、次のマンスリーはやってくるし、マンスリーはまずは挑むのが大事ですよ。マンスリーは本番じゃないって挑んで、最後の本番でベストが出せればいいなって思っていました。数学は点の取り方も言われました。小問は絶対取れ! って。大問は(1)が取ればいいよって。物理は、全部の問題見て、一番簡単なやつからやれて。マンスリーを通して実践的なことを教えてくれるから、大きかったですね。結果も、モチベーション高かった時は結果が出て、点数取れたかなって。逆にこれじゃまずいなって時もありました。こういうふうにやったら落ちるんだって。焦燥感も味わえました。

## 将来はスポーツ医に

将来はスポーツ医になりたいです。スポーツ選手を治したいです。自分がケガをした時にいろんな先生にお世話になって。こういう仕事がいいなあって。



卒業生が語る

合格への  
軌跡 2016年

WAY TO SUCCESS

|        |        |
|--------|--------|
| 日本医科大  | 2次合格   |
| 日本大医学部 | 2次正規合格 |
| 杏林大医学部 | 2次正規合格 |

皆が点数をとるところを  
落とさなかったことが  
合格につながった。

日本医科大進学 吉田匠君(都立青山高校卒)

## 将来どんな医師になりたいですか？

外科です。おじさんが脳外科なので脳外科医になろうと思ってます。

## 大学生活はどうですか？

日医楽しいですよ。授業は英会話の授業もあって2クラスあります。あとオリエンテーションでは井上佳弥乃(日本医科大学1年生)といましたね。自分はバドミントン部なんですけど主将が門屋さん(日本医科大学4年生)です。鄭知華さん(日本医科大学4年生)にも会いました。めっちゃ仲良くしてくれて。日医は代官山MEDICALの先輩が多くて安心。皆さんによくしてもらってます。

## 代官山MEDICALでの浪人生活はどうだった？

すごく良かった。今の生活と比べても断然代官山MEDICALの方が授業数多くてハードでしたけど。でも鍛えられました。日医の授業が70分で周りは長いって言ってますけど、代官山では80分だったから俺は短いって感じますね。薄先生には生活態度を改めろって怒られて(笑)、言われて身が引き締まったので良かったです。節田先生が結構好きでしたね。結構厳しいし俺はよく言われてた。まだ出来ないの？って煽られたりしたけど俺はそうハッキリ言ってくれるところが合ってた。

大森先生には1浪目からお世話になってて、先生は何でも知ってるから凄い！何聞いても答えてくれる。俺は結構追求型だから生物に対して根本から興味を湧かせてくれました。本当にマンツーマン楽しかったです。図説は超書き込んで使い込んでました。生物がずっと苦手だったけど途中から考察が解けるようになって、いつの間にか出来るようになってました。夏から追い込みかければいいやって思ってる人



いると思いますけど、絶対1学期からやってないと間に合いませんよ。先生方が添削してくれたり、答案見てくれたんで、間に合ったって感じです。出来るようになって好きになってきた教科です。おかげで一番生物が自信になったし、模試でも一番偏差値高かった。

夜間個別指導が一日の最後にあったから帰れない状況で、逆に良かった。やらないといけない環境で。皆勤賞ですよ。典先生とか平パンとか好きな先生ばかりだし割と好きな授業でした。

石井先生には俺は一浪目から結構お世話になりました。相談に行くというか他の先生と変わりなく話してくれる。授業中はよく当てられてた。鈴佳さん(長岡鈴佳・東京慈恵医科大学2年)が端の席だったからあやかろうと座ってたけど、先生に指摘されて最前列で授業受けました(笑)。

## 代官山MEDICALでの勉強法はどんな感じでしたか？

2浪目は、俺はずーっと勉強してました。でも9～10月は勉強したくないなと思う時期があって、高校の友達と会ったりして少し息抜きしてました。先に大学に通ってる友達から次はないぞって煽られるとやらなきゃなんて思うし、それを楽しみに頑張れました。自習が回らないっていうのは復習前提で予習しているからじゃないですかね。予習で一発で当てるくらいの勢いでやらないと。1学期のテキストは3周はしました。2浪決まった時は髪もチャラチャラしてたけど、マンスリーテストの点数が悲惨で…その日に黒に染め直して切り替えました。解き直しは先生に言われた所やポイント絞ってやってました。



卒業生が語る

合格への  
軌跡 2016年

WAY TO SUCCESS

杏林大医学部  
愛知医科大2次正規合格  
2次合格合格に不可欠なのは、  
繰り返し、繰り返し正確に  
覚えること！

杏林大医学部進学 百瀬利一君(松本深志高校卒)

## 杏林大、どうですか？

楽しいけれど、忙しいです。勉強しない人も多い。授業聞かず、ノートとらないし。二極化がすごいかな。勉強する人としらない人。スキー部と柔道部に入りました。ノリで入りました。夜先輩と食事行って、1年いないらしいので、かわいそうになって入るといいました。部活に入らないと、情報回ってこないんで。今年からカリキュラムが変わって、3年でやってた統計学が1年になったり、2年次の解剖が1年次後半にやったり。物理の授業も大変です。津田も初心者には無理と言ってた。

## 代官山 MEDICAL は何年だった？

2年ですね。1年目の方が、どっか受かるんじゃないかと思ってた。2年目の方が実力は上がっていたんですけど、逆にどこも受かんないじゃないかと危機的だった。自分のレベルがはっきりわかんないと、上のレベルがわからないから、まあ行けるんじゃないかと思ってしまう。でも、自分のレベルや上のレベルがわかるとまだ達していないと客観視できるんで、この分野が足りないとか、より具体的に穴が見えてしまって、不安になった。

## 代官山 MEDICAL の前は？

地元の予備校に行っていました。理系コースでしたけど、授業数が少なくて拘束されなかった。人数も多いので、クラスの中であいつ来てないとかかわからないし、先生との触れ合いもなかった。顔も覚えてくれないし。代官山 MEDICAL にきて拘束されるようになって、勉強できるようになった。自習ブースも1人一台あるし、あれは大きい。出欠もとられて、タイムカード押して。そう、最初来たとき、いきなり「百瀬君」とか言われて、授業始まる前からスタッフがもう顔と名前、覚えてくれていて、ある意味怖かった(笑)。

## 席はいつも一番前だったね。

死守してた。ノートを先生が見てくれて、自分の理解度をわかってくれるじゃないですか。質問もできるし。朝早く来ることも守ってた。時間割をコピーして、ゼ口限を作って、これをやると決めて毎日やってました。これは先輩の井上佳弥乃さん(日本医科大学進学)がやってたんで、それを座談会かなんかで聞いてまねしました。よかったですね。日曜日も来てた。二学期からは宮田君(近畿大医学部進学)と赤本解く競争してた。数学は2人とも得意だったんで、過去問を研究するという感じだった。苦手は化学で、2浪になってから化学始めたんで(物理生物選択だった)、三上先生と節田先生のお陰です。三上先生がマンツーマンで、節田先生の集団。それがすべてです。覚えるんじゃなくて、理解させるという授業でした。三上先生は「覚えるもの」と「理解させる



もの」という区分けをしてくれたんで、やりやすかった。できないものは覚えるということで割り切ってたんで、簡単だった。

## 石井先生の授業は？

最初に代官山 MEDICAL にきた時に、一番後ろに座ってたんですよ。すると「後ろに座ってるなんてやる気感じないぞ」って、言われて前に座るようにしました。それで英作の授業なんかで、ノートをヒュッととって見てくれるんですよ。他の授業もそうですけど、前に座るのはいい。やっぱ集中できたし、頭にも知識はよく残った。ほんと、死守してましたよ一番前(笑)。

## 他の授業は？

栗原先生にもお世話になりました。栗原先生は覚えるとは言わないんですよ、理論というか、理屈を話してくれるんですよ。理解した上で覚えるんで。夏なんかは節田先生のは全部とった。パンクしなかった。節田先生に夏のコマを相談にいったんですよ、すると、「まあ欲を言えば、全部かな」と言われて、悩んで全部取りました。結果、よかった。とる必要のない授業はないですよ。だいたい自分でやれるんなら落ちてない。とるかたらないに悩むんだったら、取った方がいいに決まってる。自分で80%できたとしても、プロの力を借りて120%できるようになった方がいいに決まっている。授業をうけるとわかんと思うんですけど、マンツーマンで本当、リーズナブルだなと正直思います。



## 2浪目からの化学の克服はどうやってた？

石井先生に相談して物理を化学に変えて、マンツーマンでまず補強した。クラス授業でわからないところをマンツーマンで解説してもらった。1浪目は我流、2浪目もやや我流。覚えろと言われても、理解しようとしていた。「知識を考察する」って言って、笑われていました。その転機は袴田君(帝京大医学部進学)。俺と全く違うタイプ。それで1年目で彼が受かって、俺が落ちた。袴田はとにかく覚えるタイプだったんです。俺は考えて解くタイプ。彼は、数学は公式全部覚えるし、生物も出そうにないことも全部覚えていた。彼は沸点融点全部覚えてましたからね、で、考え方をかえた。とにかく覚えるということを徹底した。こっちの方が速いはずですよ。ウィークリーは波はげしかった。化学とか6点あるし。マンスリーの復習は小さなノート作って復習してました。

2年目は知識は全部わからないといけないんだから、と全部覚えるつもりではいた。日曜日もずっとやってきて、まず、得意な数学からやっていた。まず宮田君(近畿大医学部進学)と勝負して、それから授業。2年目はまじめに勉強して、日曜日の夜だけは友達と反省会と称して息抜きしてました。1年目は国立も視野に入れていたんで国語も受けてた。小論文も本当のためになる。受ける必要がある。

## テキストの利用法は？

数学は山室先生のマンツーマンをとって、1年間冬まで教わってた。数学はパターンで解くやり方と考えるやり方の二つがあると思うんだけど、山室先生は考えさせるやり方。先生は生徒によって教え方

変えてくれるんですよ。僕には、解き方をなかなか教えてくれないんですよ。こっちが考えるしかない。でも、積分できずに去年は捨て問にしてたんだけど、今年は1学期からやって先生のおかげで積分が得点源になった。数学は自分に合った信頼できる先生に任せるのが一番だと思いますよ。

## 面接とかの2次対策は？

初っぱなの面接は杏林だったんですけど、楽でした。愛知も楽だった。大阪医科も楽だった。圧迫やってほしいなと思ってたんですけど、なかった。小論文の選択で医療じゃない方を書いて、「医療を書くのは当たり前だから、医療でない方を書いた方が素の自分が出ると書いて書きました」って言ったんです。

## 後輩にこれだけ入っておきたいことは？

では、5箇条でまとめますね。①朝、早く来い。②高みを目指せ。③諦めるな。④質問しろ。⑤繰り返せ。以上、です。



卒業生が語る

## 合格への軌跡 2016年

WAY TO SUCCESS

北里大医学部

2次正規格

現役の時、  
医学部なんて程遠かった僕を  
5校(一次)受かるまでに  
育ててくれた先生、スタッフには  
感謝の気持ちでいっぱいです。

北里大医学部進学 渡部宏毅君(函館ラ・サール高校卒)



## 大学はどうか？

大学は楽しいです。実習はまだ始まっていなくて、実験は始まっていますが、実習に関しては解剖学くらいです。講義とかだと、医療系の生物等は大きな教室に入って講義をみんないっぺんに受けたりはしますよ。  
ここの卒業生の湯原と吉野とかと会ってよく話しますよ。  
部活は、サッカー部に入っていますが、高校ほどは練習もきつくないです。同学年はあまり入りませんでしたがサッカー経験者が多いです。部活は週2日です。  
週1日中学生に塾で勉強教えてます。

## 入塾のきっかけは？

親とか、自分がもらったパンフレットを渋谷に絞って4件くらい回って決めました。  
大手とは違って職員室もないから聞きやすいと感じたのと自習室があるのも大きかったと思います。  
自分は春のさきどりから塾に入っていたのですが、4月からいきなり本科で入るよりは準備もできたり環境にも慣れたり、先生ともコミュニケーションとれててよかったかなって思います。

## 授業はどうでしたか？

一番伸びたのは英語で高い点数がとれるようになりました。朝岡先生の授業は面白くて集中力を持続することもできましたし、英作文も丁寧に見て貰えてよかったです。  
勉強方法も変わりました。長文は今までは完璧に訳そうとしていましたし、訳せれば解けると思っていたけど、結局それではできなくて。石井先生や朝岡先生、栗原先生に言われて、文構造に注意して解くようになった。文法も重要だということは、春のさきどりの時点で気付きました。英語が本当に苦手だったので、さきどりの授業でさされても変な回答をしていて、ヤバいと思って石井先生に質問しにいきました。医学部受験に英語の必要性を言われ、このままだとヤバいとも言われました。多分5月頃だったと思うんですけど、ここから勧められた参考書を何回もやりましたし、英語中心に勉強をするようになったのを覚えてます。  
一応毎日4科目、ちょっとでも全部やりました。一日が全て授業で埋まっている日で自習時間が取れないようなときは次の日の朝少しでも見て確認したりしました。日曜日は絶対に1週間の復習や確認をしていたので、授業でおいていかれたりということはありませんでした。朝は弱いのですが、普段は朝は7時半には来るようにして日曜は少し遅めにして睡眠時間を確保していました。  
数学はどの先生も分かりやすいし丁寧だったんです



けど平パンは特に面倒見がいいというか、プリントで類題くれたり、過去問くれたりしてよかったです。面白いし(笑)。五十嵐先生は変わった問題を与えて、できたらみんなと差がつくものとか、基礎的問題のプリントをくれたり、すぐ次の日とかに問題持ってきてくれてすごくよかった。英語とか理科はやり込むようなことはしなかったんですけど、基礎的なことができないと発展はできないと思っていたので、数学はやり込みました。数学に重点を置いている学校も多かったので、徹底的にやり、友達の質問にも答えられる位になりました。  
化学は三上先生の授業で発展問題をやったのが昭和で出たりとか、ラッキーでした。質問も丁寧に教えてくれるのはよかったです。節田先生は雑談やりながら面白く進めてくれましたね。池永先生はプリントも沢山演習問題くれて、その演習問題が最初簡単なものからちょっとずつ難しくなってくるので気付いたら難しい問題ができるようになってたりしました。物理は寺澤先生と小澤先生が真逆のタイプだったんですけど、どちらも分かりやすかったし、成績も伸びました。春のさきどりのときから教えてもらって物理選択者が少なかったせいか、少人数授業で、面白かったです。勧められた参考書の類題や苦手分野を中心にやりました。

## 1 学期と 2 学期で何か変わりましたか？

2号館は小さいので友達同士が仲良くなるって言うのがよかったですね。絶対合格するって言う意識が高い人たちが多かったし頑張れましたね。  
夏頃に友達がクラスが昇格して行ったりするとヤバいなと思ったり悔しさはありましたね。

夏期は、数学と英語は復習をずっとやって夏までに伸ばしました。英語は夏に文構造の見方を学んでグンと伸びました。1学期は予習をできる余裕が全然なくて。予習をできるレベルに無かったです。でも2学期は余裕ができて、少し楽になりました。化学だけは8月まで全然伸びなくて、有機無機はなんとかあったんですけど、理論が全然分からないのに手も付けなでいたりしていました。さすがにヤバいと思ってやり始め、パターンがあったりするんだなとか気付いて授業の予習もできるようになりました。

## マンスリーとかウィークリーテスト どうでしたか？

ウィークリーテストは、やってはいたのですが、科目によってそれに重きを置くことは無かったです…英語とかは同じ問題が出る可能性もあるのでやってはいたのですが、物理化学は同じ問題が出ることも無いだろうと思ってチャレンジのような存在でした。マンスリーは、最初は、ランク外だったし、クラスもA3でした。数学なんて行けると思ったものが39点とかだったし、計算ミスしたり公式忘れてたりしてて…物理はまあよかったんですけど、このままじゃヤバいと思って勉強しました。2学期くらいからは、自分の思う点数がやっとなるようにになりましたね。1学期は、成績が不安定で、ランクに入るとか悩んだりなんてしなかったんですけど、2学期になってランクに入ったら先生に褒められたして嬉しい気持ちとかあって、マンスリーはさらに頑張るようになりましたね。

## 集中力の持続はどうしてましたか？

集中力は全く続かないタイプですが、フラフラするとかいうことは無かったです。集中力無くなったら友達とご飯食べるとか、トイレに行ったりとあえず動くとか、違う科目をやってみるとかして、クリアしてました。在学中特に辛かったこととか苦労とかいうのは無かったです。結構充実した時間を過ごしていました。

## メンタルが不安定になることは ありませんでしたか？

元々メンタルが不安定になるタイプではない方なんですけど、受験期間の2週間目がヤバかったかな？岩手が一次受かってたんですけど岩手二次は北里とかぶってたので、石井先生に判断をあおいで、北里を受けることにしました。実質的な合格が無いという状態で、受けた帝京がヤバかったり、チャレンジの日医もだめで精神的には崩れました。その後、立て続けに1次合格をいくつかもらって安定しましたけど…  
岩手から日大までの受験期間が、大体1ヶ月くらい

あるんですけど、もう1ヶ月だから勉強しても大して伸びるわけないって…その後は神頼みって…受験期間の1ヶ月予備校とか来て友達と話して自分を落ち着けたりしてました。直前にコロコロやり方変えたり、参考書いろいろ買ったりとかすると、自分の時間がなくなってしまっ、グループの授業の復習に手が回らなくなったりします。それじゃ意味なくなるんで、最後はプリントとか授業復習で十分でした。

## 最後に、ここで勉強している後輩たちへ お願いします。

夏が一番、暇というか、切羽詰まってないと思いますし、墮落してしまうところです。そこが一番精神的に難しいと思うんですけどそれを乗り越えられないと受からないと思います。  
過去問とかは受けないところも沢山やって、数学は特に9月頃からやり始めて、最後の方は友達と一緒に時間を計ってやって点数出して、勝負したりして刺激にしていました。  
夏頃は明確な目標大学を設定しづらいところがあります。夏の時点で、合格とか考えることよりも、マンスリーで上位に入ることを考えた方がいいと思います。医学部合格への道がマンスリーの順位表に載ることだと思ったりしてやってました。そうやってモチベーションをあげていくのが大切かなって思います。合格した時に、OBとして話せる立場で戻って来れることを目指してみてください！





卒業生が語る

合格への  
軌跡 2016年

WAY TO SUCCESS

埼玉医科大  
獨協医科大2次合格(後期)  
2次合格

事務の方々がとても親切だったことも  
とてもよかったです。  
勉強以外のこともとても親身になって  
相談にのって下さいました。

埼玉医科大進学 林泰輔君(立教新座高校卒)

## 埼玉医科大は実習とかどういう感じですか？

1学期からもうやっていますよ。もう。実習も1回病院行きました。

病院は選べないので3つ病院の病院の中でランダムに分けられちゃうんですけど、最終的には3つとも回れるようになってます。行くのは国際医療センターとか、総合医療センター、川越にあるところです。授業で実習的なことでいうと、解剖は2年生からで、1年生は講義で習ってるところです。実際解剖始めると泣いちゃう人とかいるらしいですよ。女子とかで。

## 代官山 MEDICALでの生活はどうでしたか？

埼玉医科では、アメフトで疲れてるのか寝てしまっていることもあるんですけど、ここでの授業は本当真面目に受けてました。

英語と数学はまあまあできたんですけど、理科科目が全然ダメでした。

ここには、3月くらいから来てたんですけど、家が遠くて慣れるまでそれは大変だった。通学が長いから隙間時間で勉強しようと思ったんですけど、電車混んでるし続かなかった。帰りは座れたら寝てました。でも、学校ついたらきちんと起きてやりました。電車の隙間時間は勉強するより睡眠に当てようと思ってました。

高校まではわからなくても、特に聞きに行ったりしなかったのですが、ここでは先生が好きでわからないことはよく聞いてました。

大学で講義とかわからなくて寝てしまったり、レポート提出もなかなか進まないことも多いんですけど、代官山 MEDICALにいた時は、本当楽しかった思い出というか、すごく充実してた。とにかく、勉強にだけ集中できていた。

現役のとき、高3のころ、ここ来る前はトライで週4コマとかしか取ってなかったんで、他はずっと自分でやってたし復習も予習もめっちゃ効率悪かったです。ほぼ独学でした。浪人して代官山にきて、めっちゃわかりやすいし、伸びましたね。

## 印象に残っている先生とかいますか？

授業は、原先生が好きでした。ただただ優しい。直前で全然わからなくても丁寧に教えてくれるんですよ。面白いし。最初なんか静かな人かなと思ってたんですけど、後期くらいメキメキとこう力をつけて(笑)なんか人気になっちゃって。夏くらいからは大人気でした。後期ももうマンツーマン取れなかったですよ。

三上先生もよかったです。怖いというか、ズバツと言うんです。厳しいっていうか人からの目とか気にせず言う先生なのでいろんなことをズバツと言われた気がします。

力丸先生は、授業持ってもらったことがないので



が、たまたまラウンジで食事してたら人生相談乗ってくれたり、マンスリーで貼り出してある順位にはその時載ってなかったんですけど、自分の順位を大体把握してくれてたから、この人見てくれてるんだなあって感じましたね。

小島先生もわかりやすいのと、プリントくれるのが使えた。確認テストをしてくれるのが良かった。あとは、朝岡先生がマンツーマン取ってないけどプリントとかくれたり、これ一問やったら持ってきた。とかって面倒見てくれて助かった。

## マンスリーとかウィークリーどうでしたか？

今まで結果が貼り出されるという経験は全くなかったです。

貼り出されて嫌だということを感じたことはなく、俺は本当、最下位まで出してほしかった。自分の順位とか見たかった。

最後の方はチョット載ったりしましたけど、ほぼ載りませんでした。

マンスリーの予習とか復習に関して言えば、最初の方はマンスリーの復習とかほとんどしてなかったんです。でも12月の試験の直前に全部今までのものを持ってきて全部解き直しました。数学とか全部解いて復習しました。

## 集中力持続とかどうしてましたか？

ラウンジで勉強したりしてたんですけど、ラウンジは眠くならないのはいいんですけど、友達と触れ合う機会もすごく多くなるので、そこは強い意志を持ってやらないとダメだと思っていました。ネガティブな人と話していると、お互い落とし合うようなことに



なるので気をつけたほうがいいと自分でも自覚はありました。

年間通して、勉強が手につかない時期とかはなかったんです。一年で終わらせたいという気持ちが強くあったのと、勉強はしたら成績が上がるので嬉しかったです。この浪人時代は他にすることがないという環境にいたし、授業も先生も面白くて苦痛だと感じる事がなかった。

#### 志望校の決定にアドバイスはありますか？

医学部は入ってから厳しいと思う。どこの大学も。楽になると思ってたら甘い。2回留年して放校になってる先輩とかもいるから気をつけたほうがいい。

代官山 MEDICAL の医学部ガイダンスとかも活用できる。質問ありますか？と言われてもすぐに何を聞けばいいかわからないと思うし、その時間いても、忘れちゃうけど、大学の雰囲気を知りたいなら朝何時に始まってどう進むのか？とかテストの内容やどのくらいの科目数があるのかって聞くとある程度雰囲気がつかめると思う。今ならそれが聞きたかったかも？

#### 得意科目不得意科目ありましたか？

理科がとにかくできなくて、なんで受かったんだろな。と思うほど、最後まで理科はダメでした。物理に「良問の風」をやってもらって復習してもめっちゃ焦るんですよ。マンスリーだとこのレベルの問題が全然出題されないんですよ。それで、もう1個上に「名問の森」っていうのがあって、これが、全然できないんですよ。それで小澤先生に質問にあって丁寧に教えてもらってました。めっちゃ優しいんですよ。すごくお世話になりました。

英語は復習とかしてない割には、結構得意でした。もともと、受験科目の中ではできるっていう自信があったせいか、特別に何っていうことをしなく余裕を持てるところがあった。受験の3ヶ月前くらいからは、わからない単語はノート作って長文にできた、わからなかった単語をまとめてました。

#### オススメの勉強法とかありますか？

俺は朝派だったんで、朝一番に来て勉強してました。7時に本館は、開くんで来れるなら朝来たほうがいいですよ。石井先生も朝来る人は受かるって言ってました。2号館は6時半に開くんですけどすごく早く来てる人とかいましたけど、自分は朝がすごい弱かったし家も遠かったんで大変でしたけど、そこはめっちゃ頑張りましたよ。実際に朝早く来てた人は大体受かってたと思う。家遠いんですけど夜も9時半とかまでやってましたし、日曜も来ていました。日曜は来ないと予習復習のサイクルが回らない。日曜は絶対来ることをお勧めする。朝一番早く来ることによって、自信にも繋がったし、俺が受からなきゃ誰が受かるん



だくらいの気持ちでやっていかないとダメだって思ってた。

あとは、復習は授業後すぐやる。数学に関しては授業後すぐ解いて、もう一回日曜に解き直すサイクルを徹底してました。いろんなものに手を出すよりはテキストだけを何回も解き直したほうがいいと思う。1学期の時期は繰り返したほうがいい。

受験期は、落ち込んでないでここ来て意見交換して、本当ポジティブに向かっていったほうがいい。ここだとみんな医学部っていう同じ方向に向かってやっていってるから、受験期は、不安になるくらいなら、顔出して来て話すだけでもいいと思う。

最後はメンタルとやる気!!

## 卒業生が語る 合格への 軌跡 2016年 WAY TO SUCCESS

帝京大医学部

合格

英語と生物が覚えられない人は、  
ただ図説を見ることや  
ひたすら音読する、  
写経することを勧めます。

帝京大医学部進学 浅谷ひとみさん(鷗友学園女子高校卒)



## 帝京大学での生活はどうか？

代官山の人も多いし、楽しいです。同じ1年の吉川君や佐久間君と石川さんと、あと北濱さんと早川君もいますね。先輩にも代官山生の方がいっぱいいらして。英語のJIMSAという英語の弁論部と中国語の部活に入ってます。グローバルに活躍できる医師を目指してということです。

大学でも朝7時半にはいって、授業の始まるまで勉強してます。朝型は貫いています。大学で勉強している人もたくさんいますよ。帝京、レベル上がっているというのは本当で、朝食堂で勉強している人も多い。国家試験を本当に意識してて、授業ごとに復習テストあるし、先生に質問しやすいし、8人に1人教授がついてくれて、しかも、全体を見る先生もいて。本当、大学とは思えないほどの面倒見のよさです。

## 代官山 MEDICAL に決めた理由は？

私、ずっと家庭教師だったんですけど、それで大手の予備校は無理と思ってたんで、少人数制で探しました。代官山のマンツートか本当よかった。化学の三上先生には本当にお世話になりました。

自習室も毎日、朝早く夜遅くまでずっとやっていたね。帝京の繰り上げは日大薬学部の授業を受けてる際に電話かかってきて、本当びっくりしました。英語と生物は偏差値70越えてたけど、他がダメだったんですよ。だからこうなってしまいました(笑)。数学がなかなか伸びなかったです。化学がなんとか戦えるようになったので、帝京は通ると思ってました。

## 英語や生物など、なかなか覚えられない人にアドバイスは？

私は図説をひたすら見ていた。とにかく何回も何回も見ていた。覚えるつもりはなくても読むだけでいいんですよ。

化学は三上先生には何度も聞いて、でも絶対に怒らずに教えてくれて、助かりました。特別な課題も出してくれた。最初はこんなものもできないという感じて、怒ってましたけど、それからは私の力を見定めて粘り強く接してくれて本当に感謝しています。数学は村上先生が空きコマとかに教えてくれたり、証明問題も見てくれたり、色々私に合わせくれた。私は進学校でやれることは全部やってきたつもりだったのに、他の人に抜かされて、悔しい思いをしました。数学ではマンツートと授業の復習で精一杯でした。でも、テキストと授業だけに絞った。それがよかった。

石井先生の授業は本当に楽しみでした。他の人はああ、ここが間違えるんだとか、自信がもてました。石井先生にはよく質問していました。みんなも行った方がいい。本当。私たちはA3だったんですけど、内田君(獨協医科大進学)とか三好君(埼玉医科大進



学)とかみんな受かった人は、朝型だった。斉藤知菜(埼玉医科大進学)も朝早く来てた。受かった人は朝型だった。生物は考察より知識の方が得意だった。知識はやればどんな人でもできるから。普段の授業が詰まっているのが本当よかった。自習だけだったら、午後二時ぐらいまでしかもたないと思う。でも夜間指導があればあると辛くて、板書を写すだけで、自分で考えることができないこともあった(笑)。でも、スケジュールがつまっているからこそ、時間の使い方を工夫する。

## がんばっていったのは、家族や家庭環境の影響なのかな？

家族全員が朝6時には起きてて、みんなで朝ご飯食べて。両親が医者で兄も日本大医学部5年です。みんなの理解は確かに大きいですね。感謝です。友達のおしゃべりがストレス発散でした。稲葉さんとか高木君とかと話してた。

## 面白かった先生とか印象に残る先生は？

私が頼ったのは石井先生です。石井先生に突撃しました。受験のことは石井先生が一番詳しいと思って、全教科、石井先生に聞いてました。反省点は復習のサイクルをうまくつくれなかったことですかね。*Weekly*が終わるとほっとして、肝心の復習ができなくて。村上先生に相談して、マンスリー対策とかもう小問しか解かない作戦とかたてて、小問満点を狙っていました。現役の時はSEGだったんですけど、難しい問題しかやなくて、私立医学部向けじゃなくて対策にならなかった。1浪でしたけど、5月までは慣れなかった。うちの高

校はすんなり駿台の一番上のコースに行けるんですけど、あえてここにしました。以前、**代官山 MEDICAL**でお世話になった兄の勧めと、少人数制という点です。校舎きれいだし、事務の方も親切で、他の生徒さんもいい高校から来てて、ここならやれるなって決めました。駿台だったら、国立の人と争って、自分を見失ってたと思う。

## 4月に入って繰り上げ来て、本当に良かったですね。

受けたときも、受かったと思ってたんですけど、なかなか回ってこずに、受験票は捨てずに机の奥にしまってたんです。日大の葉にあきらめて行ってる、なんか違うな—という感じで、やっぱり医学部じゃないと、と思ってたときに電話来て、本当に感激でした。本当にうれしかったです。(笑)解剖学が1年から入るんで楽しいです。解剖も1年からあるらしいんですよ。医学部に入ったという実感があって、わくわくしてます。みんな前にぐっと来るんです。本当、帝京は自分に合ってたと思う。





卒業生が語る

合格への  
軌跡 2016年

WAY TO SUCCESS

杏林大医学部

2次合格

苦手な数学が  
マンツーマンのお陰で  
偏差値46→63に！

化学は偏差値73を超えました！

杏林大医学部進学 濱田泰彦君(世田谷学園高校卒)

## 予備校探しは？

最初、2校で迷ってたんですけど、石井先生の話聞いて、「あ、ここだ！」ってすぐ決めました。印象的というか、惹きつけられたというか。入塾時の成績は、どの科目もだいたい同じ位の成績で、抜きんでたものはなかったですね。偏差値は50いかないくらい。得意科目は図工でした(笑)。

現役の時は小さな塾に通ってて、分からないところがあったら聞きに行くみたいな。完全に独学になってましたね。でも、質問しに行くことに抵抗はなかったです。**代官山 MEDICAL** は開放的だから、意識せずにすぐに質問に行けました。山室先生と大森先生にはよく質問に行きました。あとは、緒方先生、節田先生。

高校の時の友達で、一浪で受かったの僕だけなんです。医系予備校行つたの僕だけで。他はみんな大手の予備校に通って。担任の先生に一番受かりそうにないやつが受かったって言われました。自分でも**代官山 MEDICAL** 来なかったら、杏林無理だったと思います。だって現役のときは、理学部も落ちてましたから。

## いつから来てた？

2月の中旬くらいから来てて、英語だけ春のさきどりゼミ取ってました。4月からは1限から7限まで入ってて、きつिकाななって思ったんですけど、体力には自信あったんで、全然問題なかったです。朝は得意でした。30分くらいの通学時間だったんで、きつくはなかったですね。通学時間は、分からないところをメモしたノートを見ながら来てました。覚えるべきものとか、しっかりチェックしながら。

## 科目ごとの話を聞かせて。

英語は石井先生と丸山先生にお世話になりました。丸山先生の英語は数学っぽいところがあって。語学っていうよりは、理系の人間が解きやすい英語っていうか。初めて見る解法で、僕に合っていました。斬新でした。集団もマンツーマンも、課題とかはなくって、とにかく復習をしっかりやれって。小林さん(日大医学部進学)とかは鬼のように宿題出たって言ってたんで、生徒に合わせて言ってくれてたのかなって思います。

石井先生の授業は、当てられるのが好きでした。抵抗は全然なかったです。高校の時はそういうのなかったんですけど、先生に意識されてるのかなって、それが嬉しい感じで。見てくれてるなって。当てられた問題はだいたい答えられたんですけど、どうでもいい問題が当たったりして。他の人はけっこう分からないところに限って当てられるって言ってたんですけど。石井先生は人の心読めちゃうんですね。数学は山室先生と典先生ですね。山室先生は暗記数学なんです。他の先生と真逆で、「なんだ、この解



法は!？」っていうのを覚えていって。数学が苦手だった僕にはそれがフィットして。積分の問題、150問くらい答え覚えてるくらいでした。それくらいやらされました。マンスリーなんかで出ても、数秒でパッと出来ちゃうくらいでした。なんというか、テクニックが凄いです。みんなが使わないテクニックでやってましたね。数学は得意じゃなかったけど、安定して点が取れるようになりました。

典先生は、考えさせるって感じて、それが好きでした。こっちの考えがダメだったら、こっち行くみたいな。そういうのをやらせるみたいな。いろんな解法があるっていう、いろんな解法を使う楽しさっていうか。入試では解き方の選択肢が増えて、杏林もそれでいけた感じですね。

生物は覚えてました、資料集。高校のときは使ってなかったんで、これ全部覚えるの？って思いました。高校の時はピンポイントでここだけって感じてやってて、全部覚えてるやつは落ちるみたいに言われてたんで。医学部志望じゃないやつが多くて、他の学部は教科書覚えていけば受かるけど、医学部はそんなじゃなくって。全部覚えないと…でした。緒方先生も大森先生も資料集使ってました。大森先生は論述。高校の時は、生物は覚えるものじゃなくて考えるものだって教わってて、知識は全然入ってなかったですね。感覚でやってました。秋くらいに暗記だになって。スーッと入ってきました。

化学は、苦手だったんですけど、好きでした。やっぱり、みんなと違う解法でやってたんですけど、例えば構造決定、有機の。あれも40～50個覚えてて、じゃあ問題やってみようって出されたときに、僕だけ10秒以内に解き終わってるみたいなこともあつ



て。嬉しかったですね。みんなは考えてるんですよ。僕は知ってるからパーッて。節田先生の化学は好きでした。偏差値がたしか73くらいまで伸びました。夏の模試ですね。80まで行きたかったんですけど。冬は食中毒で…笑。昼くらいに手が震えてきて、動けなくて。どれも60くらいしか取れなくて、石井先生に「これどうしたんだ!？」って言われて。生物とか2問くらいしか出来てなかったんですよ。さきどりでやってたんで、夏で結果出せて。2月と3月は大事ですよ、やっぱり。そこで差がつかますよね。入って分かるんですけど、春のさきどりゼミの先生って、人気の先生が多くて、Mクラス持つような。良かったです。

### 自習室はどうだった？

あの環境は大好きでした。両隣が頑張ってる、ヤル気もらってました。集中力は続かない方だったんで、席立って気分転換してました。続くタイプと続かないタイプがいると思うんですけど、僕は続かないタイプでした。気持ちが強くないと、自習室にはいられないですよ。クラスはずっとM2だったんですけど、M1M2で、凄いなって人もいて。こんな問題出来るんだっていう人もいて。隣にそんな人がいるんだって。でも、競うことはやってなかったです。ライバルは自分。

### マンスリーテストやウイークリーで名前貼りだされることに抵抗はあった？

いや、もうバンバンやってもらっていいです。大好きでした。お祭りでした。成績は安定しないときもあって。最高で総合2位、最低で40何位っていう。だいたい11～13くらいをフラフラって感じです。他の人の成績は気にしないで、自分のだけ見てました。あとは、自分より上のやつは誰だみたいな。

### 勉強しなきゃいけないんだけど手につかないっていう時期はあった？

なかったです。勉強が好きになったんで。得意ではなかったですけど。考えてるのが好きでしたね。時間を忘れられるっていう。夢中になれるっていうか。メンタルの波もあんまりなくて、安定して過ごせました。マンスリーとかあると安定して過ごせる感じでした。ウイークリーは無視してました(笑)。気分転換に解いてました。2学期から難しくなっていくんですよ。たしか、平均が数点の時ありましたよね、英語で。石井先生がみんなちゃんとやってんのかな？って。いやあ、はつきり出てましたよね。やってないのがばれちゃいました。

### 現役時の受験と心の持ちように違いってあった？

ありました。現役生の時は、全部受かるだろ！って

いう自信があって、全部落ちちゃったって感じですね。気楽に受けて、ああ…って。医学部全然知らなかったですね。**代官山 MEDICAL**で1年間やって、変わりましたね。他人を意識しなくなったのもそうですけど。誰かと競うんじゃなくて、誰かと一緒に頑張るっていう気持ち。生物選択のM1M2って僕と藺田君(日本医科大進学)しかいなくて、一緒に頑張ろうぜ！っていう雰囲気ありましたね。口で一緒に頑張ろうって言ったことはないですけど、気持ちはありましたね。

受験会場には、自分が間違えたところを書いたノート持って行ってました。筆箱とかは持って行かなくても配ってるんで大丈夫でした(笑)。チョコとか食べ物も貰えますし、お茶も…できるだけカバン軽くして行こうかなって。服着て受験票持っていけばいいって気持ちで行ってました。夏の数学の授業でやった問題が出て、ちゃんと復習してて良かったって思いました。

### 私立医学部のこと、代官山 MEDICAL 来てたくさん知れた？

高校の時はホンっとに知らなくて。めっちゃ教わりました。勉強の仕方もそうなんですけど、裏情報っていうか。石井先生の授業中に語ってるじゃないですか。あの話がかかなり有益でした。二次対策とか面接対策の話とかも。実践しましたよ。役に立ちました。面接は得意だと自負していました。面接官とお友達になりましたよ。全部受かってるかなと思ったんですけど、全部は無理でした。

岩手の面接が変わってましたね。まともに目を見てなかったり、多分わざとやってるんでしょうね、少し圧迫というか。嫌味な言い方して。面接官2人と僕1人。片方の人は僕の目をずっと見てて。両方の人が質問してきて、威圧的に。でも、友達になろうと。2人ともドラマのあまちゃんが好きだったみたいで、なんで岩手なの？って聞かれて、あまちゃん観て、岩手が好きになったからですって。そんな答えた人が他にいなかったみたいで、記憶に残るかなって。2人とも「おっ!」て顔してたんですけど、ダメでしたね。受かると思ったんですけど。なんなんですかね…ま、多分、点が足りなかっただけなんですけどね。小論は、杏林は凄く自信がありました。褒めて育てるについて書いた気がします。医療とは関係ない内容でした。やっぱり1学期からやってたのが良かったですね。

### 自習は何使ってた？代官山 MEDICAL の良さは？

テキストですね。このテキストは毎年内容というか中味も更新しているときいたし。

**代官山 MEDICAL**に来てからは、とにかく言われたことをしっかりやりました。先生の話をしっかり

聞こうって意識しました。なんていうか、先生が好きでした。だからこそ、話を聞こうって思ったし、いい先生たちがいっぱいいて聞かないと損するって思って。石井先生とか、いい先生にいつでも話を聞けるっていうのが良かったです。

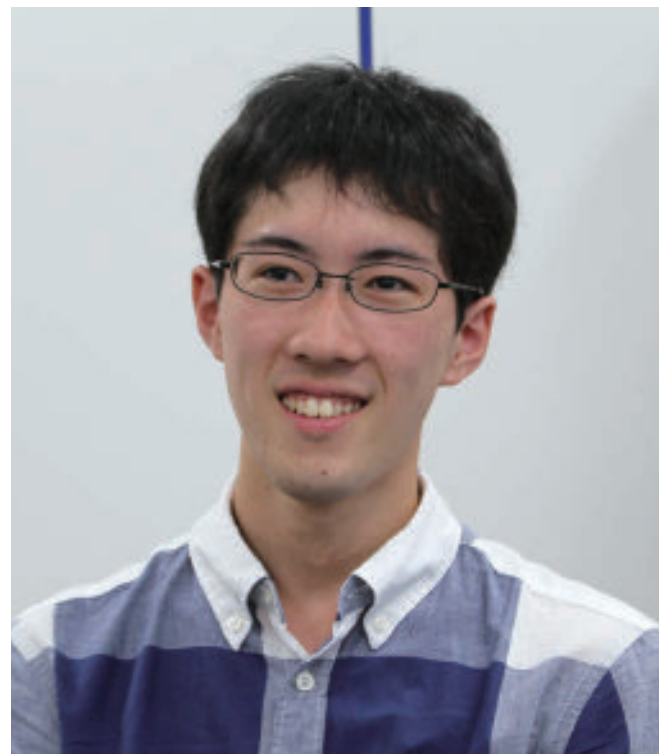
あとは、ランキングの貼り出しです。上位者だけでなく、全員載せてほしかったくらいです。ランキングに自分が載らなかった時、どの辺にいるのかっていう。

一年間、朝から晩までやって、辛いと思ったことはなかったですね。勉強しかやる事がないから、逆に。ここでしっかり勉強して、家帰ったらリラックスして。7～8時間睡眠時間とってました。あたまスッキリさせて次の日学校行くみたいな。

### 後輩たちへ

医学部受験ていうと、一見大変そうに思うかもしれないけど、「大変だ!大変だ!」って思うよりも目の前のことに集中すればいいと思う。いろいろ巡らせるよりも、まず勉強。しっかりテキストやれば出来るようになる。悩める人は、過去問よりもテキストを復習してほしい。

それから、周りを気にしない。誰々が1位取ったとか。自分のことは自分で管理する。今までの自分を打破して成長を!





卒業生が語る

# 合格への 軌跡 2016年

WAY TO SUCCESS

|           |        |
|-----------|--------|
| 帝京大医学部    | 正規合格   |
| 聖マリアンナ医科大 | 2次正規合格 |
| 岩手医科大     | 2次合格   |

先生方との距離が  
とても近いことが  
何よりもよかったです。

帝京大医学部進学 吉川嘉之君(淑徳高校卒)



## 帝京大学はですか？

高校のときのサッカー部が週4日だったので、もう少しゆるいフットサルにしました。授業後は部活よりバイトを結構やっています。

試験は、前期のテストの結果が分からないんですけど、またすぐテストなんです。テストが再試かどうかは、その都度その都度のテストの結果で分からなくて通年の合計なんです。だから、最後まで追試かどうか分からないんです。浪人の頃から花火大会とか行きたくても我慢してきたんですけど、今もテストテストで夏も結構遊ぶ暇がないです。授業はみんな一緒に大きい教室でやるんですけど、英語だけは3つに分かれていて、クラスは真ん中なんです。あっ、リアクションとりづらいですね。良くも悪くもなくって…。

## 代官山 MEDICAL にくるまではどんな感じでしたか？

現役の時は、英数は普通だったと思うんですけど、理科が全然駄目でした。ちゃんと現役の時も理科はやってはいたけど、分からないところにまで手が回っていなかったという感じでした。

春のさきどりゼミとから出てたんですけど、最初はめっちゃきつかったです。代官山にずっといました。拘束時間も長いし、宿題も多くて理科が分からなくてヤバかったです。最初はゼミとか取る余裕もないくらい慣れるまで大変でした。朝もすごく弱いので…。でも1学期になったら、そこそこ朝も来れるようになってました。

## どの科目が一番伸びましたか？

全般的に伸びたと思うんですけど、化学が一番伸びました。みんなも言ってたんですけど、河合模試の化学とか去年と難易度が違うんじゃないか？と思うくらい問題がスラスラ解けて、手応えが違いました。現役の時は、分からなかったものを放置したりしていたので、そこが浪人では変わったと思います。

## マンスリーテストやウィークリーテストはどうでしたか？

最初のマンスリーは理科がヤバくてやられた！という感じでした。マンスリーテストは、特定の誰かを意識するというより、ランキングに掲載されたいと思ってがんばりました。ランキングに載らないとやってきた事が無駄になる気がして、夏前とか成績が悪いと落ち込んだりしてました。メンタル的にコツコツやれるとかいうタイプじゃなくて、ムラがあって、やれる時はやれるんですけど、嫌になっちゃうと全然できなくなっちゃって、2号館にいたんですけど、夏までは成績が全然駄目だったので辛かったです。石井先生が、6月の面談の時に「吉川君は8月以降の



マンスリーで成績あがってくると思うよ」と言ってくれてそれを信じてやったら本当に8月のマンスリーから成績が上がってきて、すごく嬉しくて、そこからは結構頑張れた。落ち込んだ時は、大学行ったらとか合格したらとか楽しい事を考えて頑張っていました。

テストの勉強は、前回の反省点とか踏まえてやってたんですけど、マンスリー結構嫌でした。マンスリーテストは、順位も出るし、自分の位置とかこれくらい取ったらどの大学行けるとか分かるので、毎月目標にして勉強はしてきました。理科はテストの時間配分とかもマンスリーでつかむ事ができました。理科はいつも物理から先に解いてたんですけど、物理って分からないと泥沼にはまったり、癪に障ったりするんで、化学から先に解くようにしました。物理は解けるとさくっと行けるんで、物理の問題をちらっと見てできそうな問題があると解こうとしちゃったんですけど、マンスリーとかでも、結局解けなかった時があったので、物理は問題を見ないようにして、まず化学から先にやると決めてテストをやるようになりました。

## 勉強方法はどんな感じでしたか？

数学と英語は予習をできたんですけど、理科は復習に時間を多く割いてました。でも数学は予習だけじゃなくて、1学期のテキストを何周も復習して、分からない問題はないくらいになりました。自分に甘い性格なので、代官山に来てめっちゃ拘束されるんで、よかったと思います。とにかく代官山のテキストは徹底的に何周もやりました。理科は先生にもよく質問しました。物理は名問の森とかやりました。

化学はセミナーとテキストを何周もやりました。現役の時はテキストも色々もらってたんですけど、それだけをやるということではなく、不安になっちゃってあちこちに手を出してて何周もできるテキストはなかったと思います。

## 先生との思い出とかありますか？

石井先生は俺が、最初の面談で話した事まで覚えてくれてて、俺らの事良く見てくれてるんだなって感じたし、英語も細かくやってくれて分かりやすかったです。この一年があったのはホント石井先生のお陰だなあって感謝してます。薄先生には、メンタルも一年間支えてもらって、授業も分かりやすくて、感謝してます。啓寿先生の授業は楽しいし分かりやすいし大好きです。典さんは授業を当てられて分からないといじられてたけど、ホント優しさを感じてました。朝岡先生は要点をかいつまんで、無駄な事がなく俺らにでも分かるように説明してくれて分かりやすかった。自分が分からなくても優しくしてくれてありがとうございました。節田先生は、自分の化学の勉強方法に革命を起こしてくれたというか…現役の化学のテキストとかプリントは難しすぎて分からなかったんです。難しいプリントしかもらえなかったんで、理科が苦手でした。節田先生が、「こんな難しい問題が解ける必要はない、セミナーがきちんとできてれば十分通用する」って言うてくれて、セミナーとテキストを何回もやるようにしてたら化学はそれでだいぶ伸びた。講師室も区切りとかなくて聞きにいきやすかったし、みんなも聞きにいったから遠慮とかも全然しなかったです。聞きにいつでも先生みんなすごく優しくかったし、プリントとかもくれたり説明も分かりやすかったし、よかった。

## 受験期はどうしてましたか？

ここに来て赤本とか解いてました。対策授業受ける人もいたけど、みんなと同じ教室に集まって赤本とか解いてると、何点取れたとか言う話になって、できたやつとかがちょっとけなしてくるんですよ。やっぱ周りできる人が多いからなにくそっ！ってなって頑張っていました。ふつう友達作らない方がいいとか言いますが、ここの仲間はいいい奴が多くて、励まされたり、卒業しても結構連絡とるし、いい環境だった。

## 将来の医師像は？

うちは親族とかにも医者とか全くいないけど、漫画かドラマか忘れちゃったんですけど、医者をかっこいいと思って目指すようになったんですけど、今は、どんな患者さんも気軽に相談してもらえるような、話しやすい親しみやすい医者になりたいと思っています。





卒業生が語る

合格への  
軌跡 2016年

WAY TO SUCCESS

昭和大医学部 2次正規合格(Ⅱ期)  
愛知医科大 2次正規合格  
帝京大医学部 合格

一浪のときと比べて  
楽しかったです。

辛い思い出がないです(笑)。

昭和大医学部進学 畑貴之君(都立青山高校卒)

## 昭和の授業はどうですか？

他学部と合同の授業とか、選択の授業等があります。成績は、試験の結果と出席率とかで決められます。試験は今のところ、追試なしで全て通っています。昭和は、女子の比率が1:2で女子の方が多いです。

代官山 MEDICAL 入って  
どんな変化がありましたか？

数学に苦手意識があったんですけど、入った時はどれも成績は同じくらいでした。模試は英語は、他よりまだ安定をしていたという感じでした。成績は一番数学があがりました。河合の模試も数学の成績が一番あがった気がします。長期記憶が苦手と短期記憶が得意で、1浪までは単語捨ててたんですけど2浪からはちゃんと単語をやるようにしました。文法より長文ができるタイプだったので、単語とか分からなくてもこのままいけるかな？と思ってたんですけど、2浪からはまずいなと思って文法も単語もやるようにしました。代官山 MEDICAL に来て最初から、強制課題の速単を何周もしました。一からやり直したいな状態だったので、結構きつかったです。

## 代官山の良かった点は？

1浪に比べて楽しかったです。辛い思い出がないです(笑)。俺は授業が苦手なタイプですぐ寝ちゃうんですけどここの授業は楽しくて辛くなかったです。数学とかホント眠くならなくなった。よく指されるし。授業中に解かせてくれるんで、寝ないですね。授業が楽しかったのがホント良かったです。現役と1浪は駿台に通ってたんですけど、ここでの生活は全然違いますねえ。1浪の時は朝は同じくらいなんですけど、5時に帰宅して家では勉強はしない、という感じでした。2浪でここに来て朝から夜まで拘束されて、よかったんだと思います。

## どのように勉強を進めるタイプですか？

オレは、あんまり質問とかしにくいタイプではなくて、分からないと友達に聞く方で先生にはプリントをもらいにいく感じでした。分からなくても自力で解くというタイプです。自習の進め方としては、レビューと夜間以外は何をやるかは一応決めてました。今日は文法1日何個とか決めて最後まで続けて何周かテキストもこなしました。継続力は決めた事に対してはありました。あと、1週間の枠も大体決めてました。予習をやる日とか、この曜日は授業に対して復習するとか。復習と、予習の割り振りをきちんと決めて進めてやり残さないようにしていました。家では全く勉強しないので、ここでやって帰りました。それでも予習と復習は最低限やらないかと思っていました。眠い時は寝てました…。一回の眠りが浅くて短い夕

イブなので、布団に入って熟睡するまでに時間がかかってしまい、昼間に寝てしまうタイプだったので、眠い時は寝て、やる時はやるというふうにしてました。朝がすごい弱いので慣れるまできつかったです。朝はいつもギリギリの時間に来てました。でも日曜日はみんなが来ていたので、来ていました。合格者座談会で先輩も来た方が良かったと言っていたので…。

## どの先生の授業が印象に残っていますか？

薄先生と朝岡先生です。ホント全員よかったですけど。薄先生は教え方が上手なのですぐ分かりやすくて。すぐ分かるようになった。数学は薄先生のお陰でめっちゃ伸びました。薄先生のテキストもすごくよかったです。そこから普通に昭和の受験も出たんで。節田先生は授業話が上手だなあと思いました。石井先生の授業は、予習は必須でしたね。当たるとヤバいんで。質問されるというところを予想してちゃんと予習をしていました。小論で授業で、やったやつが昭和の入試で出たんでラッキーでした。願書も代官山で何度も書いたのは良かったです。

## テストはどうでしたか？

ウィークリーテストとかは結構点数とれてました。マンスリーは問題を物理からやってたんですけど、化学からやった方がいいと石井先生から言われて試してみたら、化学の方からやったら時間に余裕ができました。理科の時間の配分とかをマンスリーで試せて良かったです。マンスリーテストは、高校が一緒だった新藤(杏林大医学部進学)に負けるとちょっと嫌だなとか意識を少ししたけど、自分はメンタルはあんまり波がないんですよ。マンスリーとか1回だけ圏外とかあったんですけど、成績悪いとかあまり気にしない性格というか、悪い時もたまたまかな？と思うんで落ち込むとかはなかったです。

